AQUOS U

SHV37

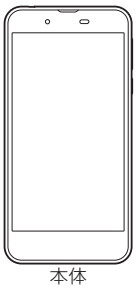
User Guide 取扱説明書 詳細版

ごあいさつ

このたびは、「AQUOS U SHV37」(以下、「SHV37」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に本体付属の『取扱説明書』『ご利用にあたっての注意事項』『設定ガイド』またはauホームページより『取扱説明書 詳細版』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体

- 取扱説明書
- ご利用にあたっての注意事項
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。
- microSDメモリカード
- ACアダプタ
- イヤホン
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

◎ 電池は本製品に内蔵されています。
◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『取扱説明書』『設定ガイド』

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[取扱説明書]
- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■『取扱説明書 詳細版』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版』は、auホームページでご確認できます。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

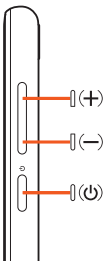
■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual, Notes on Usage and Setting Guide from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書(英語版)』『ご利用にあたっての注意事項(英語版)』『設定ガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/
Also, you can use the "Instruction Manual application" (English version) on the product to check operational procedures (available from approximately one month after the product is released).
また、本製品では、本体内で操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション(英語版)』を利用できます(発売約1ヶ月後から)。
On the home screen, "Apps Sheet" → [Basic Manual].
- To use the application for the first time, you need to download and install it by following on-screen instructions.

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

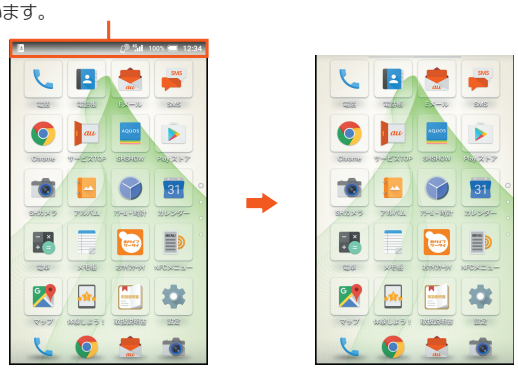
表記	意味
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話]→「141」を入力→[発信]	Feel Home画面をスライド／フリックしてアプリシートに切り替え、次に「電話」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「発信」をタップします。
(⏻)(2秒以上長押し)	(⏻)を2秒以上長押しします。

※タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽くたたいて選択する動作です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card 04を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。
記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



実際の画面　　本書の表記例

◎ 本書では本体カラー「ライム×ゴールド」の表示を例に説明しています。
◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
◎ 本書ではFeel Homeでの操作を基準に記載しています。「ホーム切替」などでホームアプリを切り替えた場合は、操作が異なるときがあります。
◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」「microSDHC™メモリカード(市販品)」および「microSDXC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎ 本書に表記されている金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™、®マークを省略している場合があります。

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、『安全上のご注意』をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、「トラブル診断」を行ってください。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[故障受付]→[トラブル診断]
または、以下のauホームページのauお客さまサポート「トラブル診断」で症状をご確認ください。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/trouble/

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE／WiMAX 2+／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- 本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、各ネットワークサービスは地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
  大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした静止画／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:シャープ株式会社

◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

目次

ごあいさつ……ii
同梱品一覧……ii
取扱説明書について……ii
本書の表記方法について……ii
本製品のご利用について……1
目次……2

注意事項……5
安全上のご注意(必ずお守りください)……6
取り扱い上のご注意……8
防水/防塵性能に関するご注意……10
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い……12
Bluetooth®についてのお願い……12
無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い……12
周波数帯について……12
電波障害自主規制について……12
各種暗証番号/PINコードについて……12
各種暗証番号について……12
PINコードについて……12
パケット通信料についてのご注意……13
アプリケーションについて……13
マナーも携帯する……13

ご利用の準備……15
各部の名称と機能……16
au Nano IC Card 04を利用する……16
au Nano IC Card 04について……16
au Nano IC Card 04を取り付ける……17
au Nano IC Card 04を取り外す……17
microSDメモリカードを利用する……17
microSDメモリカードについて……17
microSDメモリカードを取り付ける……18
microSDメモリカードを取り外す……18
充電する……18
充電について……18
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する……18
パソコンを使って充電する……18
電源を入れる/切る……19
画面点灯/消灯について……19
ロック画面について……19
データを引き継ぐ……19

基本操作……21
タッチパネルの使いかた……22
タッチキーの使いかた……22
Feel Homeを利用する……22
Feel Homeについて……22
ホーム画面のメニューを利用する……22
ホーム画面を編集する……23
アプリケーション一覧……23
ステータスバーを利用する……25
アイコンについて……25
お知らせ/ステータスパネルを利用する……25
マナーモードを設定する……26
アプリ使用履歴を利用する……26
アプリ初回起動時の確認画面から設定する……27
アプリ初回起動時の確認画面について……27
アプリの権限を設定する……27
電池の最適化……27
共通の操作を覚える……27
縦横表示を切り替える……27
利用できるメニューを表示する……27
チェックボックスを利用する……27

文字入力……29
ソフトウェアキーボードを切り替える……30
文字入力画面の見かた……30
文字の入力方法……31
文字を入力する……31
入力する文字種を切り替える……31
絵文字/記号/顔文字を入力する……31
音声で入力する……31
文字を切り取り/コピーしてから貼り付ける……31
文字入力について設定する……31
S-Shoinの設定を行う……31
ユーザー辞書に登録する……32
アプリ連携・引用(マッシュルーム)を利用する……32

電話……33
電話をかける……34
電話番号を入力して電話をかける……34
ダイヤル画面のメニューを利用する……34
通話中画面の操作……35
履歴を利用して電話をかける……35
お気に入りを利用する……36
ボイスパーティーで電話をかける……36
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)……36
電話を受ける……36
電話に出る……36
着信に伝言メモで応答する……37
着信を拒否する……37
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る……37
シンクコールについて……37
シンクコールを設定する……38
伝言メモを利用する……38
自分の電話番号を確認する……38
プロフィールを確認する……38
プロフィールを編集する……38

電話帳……39
電話帳に登録する……40
グループを設定する……40
電話帳の一覧を利用する……40
電話帳一覧画面を表示する……40
連絡先を統合する……40
電話帳一覧画面/グループ一覧画面のメニューを利用する……41
電話帳を設定・管理する……41
電話帳の登録内容を利用する……41

メール……43
Eメールを利用する……44
Eメールについて……44
Eメールの表示モードについて……44
表示モードを切り替える……44
フォルダモードでの画面の見かた……44
会話モードでの画面の見かた……45
Eメールを送る……46
Eメールを送信する……46
送信予約をする……46
Eメールにデータを添付する……47
D絵文字を利用する……47
本文入力中にできること……47
フォルダモードで本文を装飾する……47
Eメールを受け取る……48
Eメールを受信する……48
添付データを受信・再生する……48
添付データを保存する……48
差出人/宛先/件名/電話番号/メールアドレス/URLを利用する……48
新着メールを問い合わせて受信する……48
Eメールを検索する……48
Eメールをフォルダモードで確認する……49
Eメールをフォルダモードで表示する……49
Eメール一覧画面のメニューを利用する……49
Eメール詳細表示画面のメニューを利用する……50
フォルダ一覧画面のメニューを利用する……50
フォルダを作成/編集する……50
Eメールを会話モードで確認する……51
Eメールを設定する……52
Eメール設定をする……52
表示に関する設定をする……52
送信・作成に関する設定をする……52
通知に関する設定をする……52
個別の通知に関する設定をする……53
Eメールアドレスを変更する……53
転送先を設定する……53
バックアップしたEメールを復元する……53
メールデータを復元する……53
まるごとバックアップデータを復元する……53
迷惑メールフィルターを設定する……54
SMSを利用する……55
SMSについて……55
SMSを送る……55
SMSを受け取る……55
SMSを確認する……55
電話番号/メールアドレス/URLを利用する……55
SMSを返信/転送する……55
SMSを保護/保護解除する……55
SMSの電話番号を電話帳に登録する……56
SMSを検索する……56
SMSを削除する……56
SMSを設定する……56
SMS設定をする……56
受信フィルターを設定する……56

PCメールを利用する 57
PCメールのアカウントを設定する 57
アカウントを登録する 57
アカウントの設定を変更する 57
PCメールを送る 57
PCメールを受け取る 58
PCメール内容表示画面の見かた 58
Gmailを利用する 58
Gmailについて 58

インターネット 59

インターネットに接続する 60
パケット通信を利用する 60
Google Chromeを利用する 60
Webページを表示する 60
URL表示欄を利用する 60
Chrome画面のメニューを利用する 60
ブックマーク／履歴を利用する 60

マルチメディア 61

SHカメラを利用する 62
カメラをご利用になる前に 62
静止画／動画を撮影する 62
静止画を撮影する 62
動画を撮影する 62
撮影画面の見かた 62
撮影モードを切り替える 63
カメラを設定する 63
データを利用する 64
アルバムを利用する 64
データを表示／再生する 64
データを振り分ける 65
データの表示／非表示モードを利用する 65
あとからキャプチャーを利用する 65
コンテンツマネージャーを利用する 66
データを表示／再生する 66
データを移動／コピーする 66
コンテンツ表示画面のメニューを利用する 67
画像を編集する 67

アプリケーション 69

電子書籍 GALAPAGOSを利用する 70
Google Playを利用する 70
au Wi-Fi接続ツールを利用する 70
QR・バーコードリーダーを利用する 70
auお客さまサポートアプリを利用する 70
auスマートサポートを利用する 70
Lookout for auを利用する 71
Lookout for auについて 71
位置検索をご利用いただくにあたって 71
Lookout for auを利用する 71
リモートサポートを利用する 71
故障受付を利用する 71
安心アクセス for Android™を利用する 71
auサービスTOPを利用する 72
auスマートパスを利用する 72

ツール 73

モバイルライトを利用する 74
スクリーンショットを撮影する 74
長エネスイッチを利用する 74
クイック検索ボックスを利用する 74
「書」メモを利用する 74
ボイスレコーダーを利用する 75
メモ帳を利用する 75
メモ帳に登録する 75
メモ帳を確認する 75
カレンダーを利用する 76
カレンダーを表示する 76
予定を新規登録する 76
カレンダー画面のメニューを利用する 76
アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチを利用する 76
アラームで指定した時刻をお知らせする 76
世界各地の都市の時刻を確認する 76
タイマーで時間を計る 77
ストップウォッチで時間を計る 77
からだメイトを利用する 77
電卓で計算する 77
辞書を利用する 78
内蔵辞書を利用する 78
ネット辞書を利用する 78
ワイヤレス出力を利用する 78

端末設定 79

設定メニューを表示する 80
au設定メニューを表示する 80
音と通知に関する設定をする 81
ヒカリエモーションを設定する 81
ディスプレイの設定をする 81
便利機能に関する設定をする 82
便利機能の設定をする 82
ツイストマジックの設定をする 82
スクロールオートの設定をする 82
Clip Nowの設定をする 83
エモパーを設定する 83
通話に関する設定をする 84
通話の設定をする 84
伝言メモ／音声メモを再生する 84
着信拒否の設定をする 84
アプリに関する設定をする 84
アプリの設定をする 84
アプリの詳細設定をする 84
その他に関する設定をする 85
その他の設定をする 85
機内モードを設定する 85
位置情報の設定をする 85
ロックとセキュリティに関する設定をする 86
ロックとセキュリティの設定をする 86
見るだけ解除を設定する 86
シークレット設定をする 86
使用する言語や文字入力の設定をする 87
バックアップとリセットの設定をする 88
バックアップの設定をする 88
本製品を初期化する 88
アカウントを設定する 88
アカウントを追加する 88
データを同期する 88
アカウントを削除する 88
日付と時刻の設定をする 88
ユーザー補助の設定をする 88
印刷の設定をする 88
端末情報の設定をする 88

ファイル管理 89

本製品の保存領域について 90
ストレージとUSBに関する設定をする 90
ストレージとUSBを確認する 90
microSDメモリカード／USBメモリをフォーマットする 90
本体のデータをmicroSDにエクスポートする 90
microSDのデータを本体にインポートする 90
パソコンと接続する 90
USBホスト機能を利用する 90

データ通信 91

無線LAN(Wi-Fi®)機能 92
無線LAN(Wi-Fi®)機能について 92
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する 92
無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする 92
Wi-Fi®ネットワークに接続する 92
アクセスポイントとの接続を切る 92
Wi-Fi®設定画面のメニューを利用する 92
アクセスポイントを登録する 92
アクセスポイントを自動で登録する 92
アクセスポイントを手動で登録する 92
Wi-Fi Direct®を利用する 92
テザリング機能 93
テザリングについて 93
USBテザリング機能を利用する 93
Wi-Fi®テザリング機能を利用する 93
Bluetooth®テザリング機能を利用する 93
Bluetooth®機能 94
Bluetooth®機能の利用について 94
Bluetooth®を利用する 94
Bluetooth®を起動する 94
Bluetooth®機器と接続する 94
Bluetooth®でデータを送受信する 94
Bluetooth®でデータを受信する 94
Bluetooth®でデータを送信する 94
おサイフケータイ® 95
おサイフケータイ®について 95
おサイフケータイ®とは 95
おサイフケータイ®のご利用にあたって 95
リーダー／ライターとデータをやりとりする 95
おサイフケータイ®を設定する 95
おサイフケータイ®の機能をロックする 96
NFCを利用する 96
NFC機能を有効にする 96

Androidビームでデータを送受信する……96
NFCメニューを利用する……96
おサイフケータイ アプリを利用する……96

auのネットワークサービス・海外利用……97

auのネットワークサービスを利用する……98
auのネットワークサービスについて……98
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)……98
着信転送サービスを利用する(標準サービス)……98
着信転送サービスについて……98
応答できない電話を転送する(無応答転送)……98
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)……98
応答できない電話を転送する(圏外転送)……98
手動で転送する(選択転送)……98
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)……98
着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)……98
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)……99
発信番号表示サービスについて……99
電話番号を通知する……99
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)……99
番号通知リクエストサービスについて……99
番号通知リクエストサービスを開始する……99
番号通知リクエストサービスを停止する……99
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)……99
お留守番サービスEXについて……99
お留守番サービス総合案内(141)を利用する……99
応答できない電話を転送する(無応答転送)……100
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)……100
応答できない電話を転送する(圏外転送)……100
手動で転送する(選択転送)……100
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)……100
電話をかけてきた方が伝言を録音する……100
ボイスメールを録音する……100
伝言お知らせについて……100
伝言・ボイスメールを聞く……100
伝言の蓄積を停止する(不在通知)……100
伝言の蓄積停止を解除する……101
応答メッセージの録音／確認／変更をする……101
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)……101
英語ガイダンスへ切り替える……101
日本語ガイダンスへ切り替える……101
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)……101
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)……102
割込通話サービスについて……102
割込通話サービスを開始する……102
割込通話サービスを停止する……102
割込通話を受ける……102
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)……102
迷惑電話撃退サービスについて……102
撃退する電話番号を登録する……102
登録した電話番号を全件削除する……102
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)……102
海外利用……103
au世界サービスについて……103
海外でご利用になるときは……103
海外利用に関する設定を行う……103
ネットワークモードを設定する……103
データ通信を設定する……103
海外でVoLTEを利用する……103
データサービス・メッセージサービスの通信料……103
渡航先で電話をかける……103
渡航先で電話を受ける……103
お問い合わせ方法……104
サービスエリアと海外での通話料……104
海外で安心してご利用いただくために……104
海外でのご利用上のご注意……104

付録・索引……107

付録……108
ソフトウェアを更新する……108
故障とお考えになる前に……108
アフターサービスについて……109
SIMロック解除について……110
周辺機器……110
主な仕様……111
携帯電話機の比吸収率(SAR)について……111
CE Declaration of Conformity……112
FCC Notice……112
輸出管理規制……113
おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意……113
知的財産権について……114
索引……116

注意事項

安全上のご注意（必ずお守りください） 6
取り扱い上のご注意 8
防水／防塵性能に関するご注意 10
Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用の場合のお願い 12
電波障害自主規制について 12
各種暗証番号／PINコードについて 12
パケット通信料についてのご注意 13
アプリケーションについて 13
マナーも携帯する 13

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■禁止・強制の絵表示の説明

禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■本体、充電用機器、au Nano IC Card 04、周辺機器共通

⚠危険

禁止 **高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください
▶P. 10「防水／防塵性能に関するご注意」

禁止 **水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P. 10「防水／防塵性能に関するご注意」

分解禁止 **分解、改造をしないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水濡れ禁止 **水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P. 10「防水／防塵性能に関するご注意」

水濡れ禁止 **充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P. 10「防水／防塵性能に関するご注意」

指示 **オプション品は、auが指定したものを使用してください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

禁止 **落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **使用中や充電中に、布団などでおおったり、包んだりしないでください。**
火災、やけどなどの原因となります。

指示 **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。**
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
(NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)

指示 **使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。**
・電源プラグをコンセントから抜く。
・本製品の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止 **破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。**
落下して、けがなどの原因となります。

禁止 **湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P. 10「防水／防塵性能に関するご注意」

禁止 **子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。**
けがなどの原因となります。

禁止 **乳幼児の手の届く場所に置かないでください。**
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。

指示 **本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようご注意ください。**
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■本体について

⚠危険

禁止 **火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。**
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)でたたいたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。**
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
内蔵電池内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

指示

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障がいなどの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止

本製品内のau Nano IC Card 04トレイスロットやmicroSDメモリカードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、au Nano IC Card 04トレイスロットやmicroSDメモリカードスロット場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

指示

ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。

本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.8)をご参照ください。

指示

本製品の受話口(レシーバー)／スピーカー、アウトカメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告

禁止

指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

指定の充電用機器(別売)は、お風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。

感電などの原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止

本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **指定の電源、電圧で使用してください。**
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ:AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ:AC100V～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

指示 **電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。**
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタ本体を持って抜いてください。**
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。**
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示 **充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。**
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。**
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止 **コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。**
やけどなどの原因となります。

■au Nano IC Card 04について

⚠注意

指示 **au Nano IC Card 04を取り扱う際は指などの体の一部を傷付けないよう、切断面にご注意ください。**
けがなどの原因となります。

指示 **au Nano IC Card 04の取り付け・取り外しの際にご注意ください。**
手や指を傷付ける可能性があります。

■医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠警告

指示 **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。**
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。**
医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ面(ガラス部)	強化ガラス	防汚コート
ディスプレイ面(保護フィルム部)	PET樹脂	AFコート、ハードコート
ディスプレイ面の周囲	PA樹脂(ガラス入り)	塗装、ハードコート
背面	PC樹脂+ABS樹脂	UV塗装
電源キー	アルミニウム	アルマイト処理
音量UP/DOWNキー	アルミニウム	アルマイト処理
カメラパネル	アクリル樹脂	ハードコート
カメラ飾り	アルミニウム	アルマイト処理
モバイルライト	PC樹脂	なし
受話口/スピーカーメッシュ	SUS	塗装
外部接続端子(金属部)	銅合金+SUS	金メッキ、錫メッキ
外部接続端子(樹脂部)	PA樹脂	なし
au Nano IC Card 04/microSDメモリカードカバー	PC樹脂	塗装
au Nano IC Card 04/microSDメモリカードカバーのヒンジ部	エラストマー樹脂	なし
au Nano IC Card 04/microSDメモリカードカバーのパッキン	シリコンゴム	なし
au Nano IC Card 04トレイスロット	SUS	なし
microSDメモリカードスロット	SUS	ニッケルメッキ
au Nano IC Card 04トレイ	POM樹脂	なし
IMEIトレイ	PET樹脂	なし

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card 04、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりすると本体、ディスプレイ、内部基板などの破損・故障の原因となります。
  また、外部機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損・故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水/防塵性能(IPX5、IPX8、IP6X相当)を発揮するために、au Nano IC Card 04/microSDメモリカードカバーをしっかりと閉じた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に液体や粉塵などの異物を入れたり、充電用機器、オプション品に液体や粉塵などの異物を付着させたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでau Nano IC Card 04/microSDメモリカードカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
  - SHV37本体
  - au Nano IC Card 04(SHV37本体装着状態)

  お風呂場でのご使用については、「お風呂場でお使いいただく際の注意」(▶P.11)をご参照ください。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。

- 接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などでおおわれた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。
- 使用中、本製品が温かくなった場合、画面の明るさや一部機能を制限する場合があります。

■本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
  本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号含む)は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
  ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]→[認証]
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク 〒」が本製品内で確認できるようになっております。認証情報については、本製品内の電子認証内容でご確認いただきますよう、お願いいたします。
  本製品の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し発信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 受話口(レシーバー)/スピーカー、送話口(マイク)をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが誤動作することがあります。ディスプレイが点灯されたままとなり、誤ってディスプレイに触れると、通話が切れる場合がありますのでご注意ください。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。
- 本製品に磁気を帯びたものや金属製のストラップなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- au Nano IC Card 04/microSDメモリカードカバーを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。
- 通常はau Nano IC Card 04/microSDメモリカードカバーを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のau Nano IC Card 04トレイスロットやmicroSDメモリカードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口/スピーカー、送話口、イヤホンマイク端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

■タッチパネルについて

- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 市販の保護フィルムやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

■内蔵電池について

Li-ion00

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
  - フル充電状態(充電完了後すぐの状態)
  - 電池残量なしの状態(本製品の電源が入らない程度消費している状態)
  - 高温多湿の状態
- 内蔵電池はご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。充電用機器(別売)のケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■au Nano IC Card 04について

- au Nano IC Card 04の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au Nano IC Card 04を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card 04にシールなどを貼らないでください。
- au Nano IC Card 04に損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■カメラ機能について

- カメラのレンズが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■著作権・肖像権について

● お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

● 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

● ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

防水／防塵性能に関するご注意

正しくお使いいただくために、「防水／防塵性能に関するご注意」の内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、液体や粉塵が入る原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となります。
すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、「防水／防塵性能に関するご注意」に記載されている内容を守らずにご使用になった場合など、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

■本製品の防水／防塵性能

本製品はau Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーをしっかりと閉じた状態で保護等級（JIS C 0920）IPX5相当※1、IPX8相当※2の防水性能およびIP6X相当※3の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに本製品を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP6Xとは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

■本製品が有する防水／防塵性能でできること

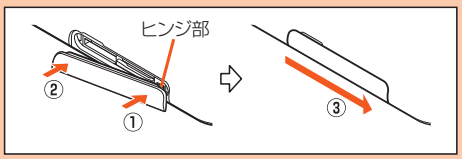
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 弱めの水流（6リットル／分以下）で常温（5℃～35℃）の水道水を使って本製品を洗うことができます。

■本製品のお取り扱いについて

- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーをしっかりと閉じてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。接触面に微細なゴミ（髪の毛、砂粒、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用しないで、電源を切り、お近くのauショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- 手や本製品が濡れているときや異物がついているときには、au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーの開閉は絶対にしないでください。
- 常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。常温の真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の真水・水道水で洗ってください。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる火災、やけど、故障の原因となります。

■au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーの閉じかた

au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーのヒンジ部を収納し（①）、本体とカバーにすき間が生じないように合わせ、矢印の方向に押して閉じてください（②）。閉じる際は、カバーをヒンジ部の方向へなぞるようにしっかりと押してください（③）。



■本製品の防塵性能について

- 本製品の防塵性能はIP6X相当の保護度合いを保証するものであり、砂浜などの砂の上に直接置くなどの利用方法に対して保証するものではありません。
- 塵埃が本製品に付着したときには、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

■使用時のご注意

- 水道水以外の液体（海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 砂や泥がきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本製品に傷が付いたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください。（キー操作を含む。）
- 本製品は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水（6リットル／分を超える）を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。本製品は耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かい場所へ移動するときは本製品が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- お風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 本製品は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。

・濡れたまま放置しないでください。寒冷地では凍結するなど、故障の原因となります。
・受話口／スピーカー、送話口の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。
・砂浜、砂場などの砂の上や、泥の上に直接置かないでください。受話口／スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
・au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。
・本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口／スピーカー、送話口などをとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、防水／防塵性能が損なわれる原因となります。

■お風呂場でお使いいただく際の注意

・湯船や温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水に浸けたり、かけたりしないでください。
故障の原因となります。
万が一、水道水以外が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流して、水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
・お風呂場では、室温は40℃以下、湿度は99%以下、連続2時間以内の範囲でご使用ください。
その後、必ず所定の方法で水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
なお、全ての機能の連続動作を保証するものではありません。
・高温のお湯がかからないようにご注意ください。
・急激な温度変化は、結露の原因となります。
寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
また、お風呂場で暖まった本製品に冷たい水をかけないでください。
浸水や故障の原因となります。
・カメラのレンズやディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
・お風呂場で、イヤホンマイクや外部機器を接続して使用しないでください。
・お風呂場では、充電を行わないでください。

■防水／防塵性能を維持するために

■ゴムパッキンについて

au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するために重要な部品です。次のことにご注意ください。
・はがしたり、傷付けたりしないでください。
・au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを閉めるときは、ゴムパッキンを挟まないように注意してください。また、au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーの隙間、イヤホンマイク端子部、外部接続端子部に、先の尖ったものを差し込まないでください。
ゴムパッキンが傷付き、液体や粉塵が入る原因となることがあります。
・防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回部品を交換することをおすすめします（有償）。部品の交換につきましては、お近くのauショップまでご連絡ください。

■充電時のご注意

指定の充電用機器（別売）やオプション品は、防水／防塵性能を有していません。
充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。
・本製品に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れた後は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込んでください。
・本製品または充電用機器（別売）に水滴や異物が付着している状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。
本製品は防水／防塵性能を有しておりますが、充電用機器（別売）は防水／防塵性能を有しておりません。濡れたり汚れたりしている状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本製品やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱、焼損、火災、やけど、故障の原因となります。
・濡れた手で指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
・指定の充電用機器（別売）およびオプション品は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。

■本製品の洗いかた

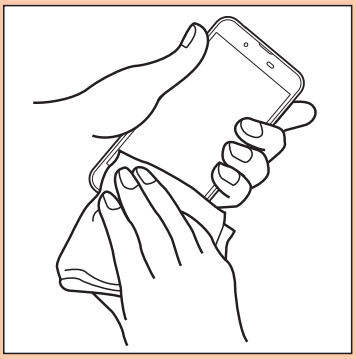
本製品の表面に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流（6リットル／分以下）で常温（5℃～35℃）の水道水を使い、蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。
au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。
・au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーがきちんと閉まっていることを確認してから、洗ってください。
・洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
・イヤホンマイク端子部、外部接続端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようにしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は、十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
・イヤホンマイク端子部、外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど火災、やけど、故障の原因となります。
・乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品を発熱・発煙・発火させたり、回路部品を破壊させる原因となります。
・乾燥のために、ドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本製品の変形・変色・故障などの原因となります。

■水抜きのしかた

水に濡れた後は、必ずイヤホンマイク端子部、外部接続端子部、受話口（レシーバー）／スピーカー部、送話口（マイク）部、キー部などの水抜きをしてください。

1 本製品表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

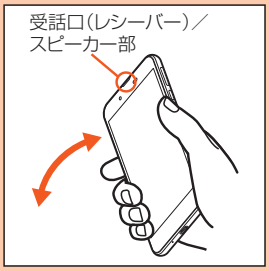
ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。



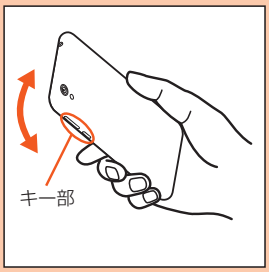
2 本製品をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

周囲の安全を確認して、本製品を落とさないようにしっかり握って振ってください。



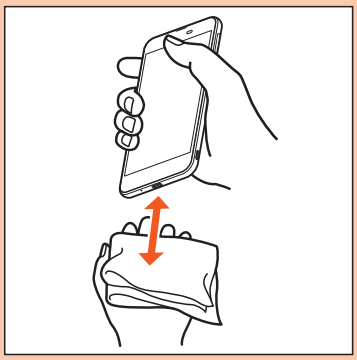






3 各部の隙間に入った水分を、乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当てて拭き取る

各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出し、水や異物が入っていないことを確認してください。



4 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置し、乾燥させる

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
隙間に溜まった水を、綿棒などで直接拭き取らないでください。

■水抜き後のご注意

水滴が付着したままで使用しないでください。
・通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
・イヤホンマイク端子、外部接続端子などがショートし、火災、故障の原因となるおそれがあります。
・寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

Bluetooth®についてのお願い

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。
本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報をご確認いただくことができます。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]→[認証]

- Bluetooth®機能:2.4FH1/XX4



本製品は2.4GHz帯を使用します。
FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
XX4はその他方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。
本製品の2.4GHz帯の無線LAN(Wi-Fi®)で使用できるチャンネルは、1～13です。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■Bluetooth®機能ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は、2.4GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

電波障害自主規制について

本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。
電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]→[認証]

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。
なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■セキュリティキー

使用例	着信拒否などの設定／解除をする場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ロックNo.(NFC／おサイフケータイ ロック)

使用例	NFC／おサイフケータイ ロックを利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。
「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card 04が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
※ 無線LAN(Wi-Fi®)の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中に画面が消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、『取扱説明書』『ご利用にあたっての注意事項』『設定ガイド』『取扱説明書 詳細版』に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

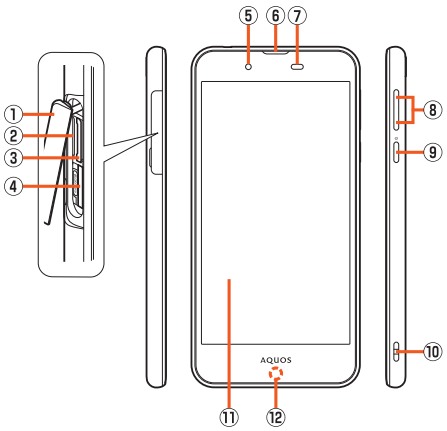
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

各部の名称と機能 16
au Nano IC Card 04を利用する 16
microSDメモリカードを利用する 17
充電する 18
電源を入れる／切る 19
画面点灯／消灯について 19
ロック画面について 19
データを引き継ぐ 19

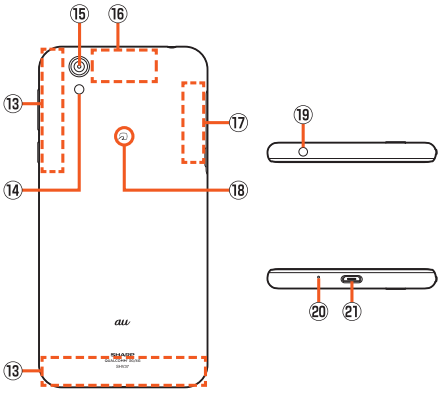
各部の名称と機能

■ 正面／左右側面



① **au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバー**
② **IMEIトレイ**
本製品のIMEIを確認できます。
③ **au Nano IC Card 04トレイスロット**
④ **microSDメモリカードスロット**
⑤ **インカメラ（レンズ部）**
⑥ **受話口（レシーバー）／スピーカー**
通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
また、着信音やアラーム音などが聞こえます。
⑦ **近接センサー／光センサー**
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
光センサーは周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを調整します。
⑧ **音量UP（＋）／DOWN（－）キー**
音量を調節します。
ロック画面で音量DOWN（－）を長押しすると、マナーモードの設定／解除を切り替えられます。
⑨ **電源キー**
画面を点灯／消灯します。
長押しすると、電源ON／OFFや再起動ができます。
⑩ **ストラップ取付口**
⑪ **ディスプレイ（タッチパネル）**
ディスプレイの表面には保護フィルムが貼られています。市販の保護フィルムをご利用の場合は、保護フィルムをはがしてください。
⑫ **充電／着信ランプ**
充電中は電池残量によって赤色／緑色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。
お買い上げ時は、就寝時（23:00～6:30）の間、自動的にランプの明るさを抑えます。
- 詳しくは、「ヒカリエモーションを設定する」（▶P.81）の「就寝時に暗くする」「時間設定」をご参照ください。

■ 背面／上下側面



⑬ **内蔵アンテナ**
通話時、インターネット利用時、4G（LTE／WiMAX 2+）／UMTS利用時に使用します。
⑭ **モバイルライト**
⑮ **アウトカメラ（レンズ部）**
⑯ **GPSアンテナ**
⑰ **Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ**
⑱ **おサイフケータイ®マーク**
おサイフケータイ®やNFC機能利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
⑲ **イヤホンマイク端子**
⑳ **送話口（マイク）**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。動画撮影時の録音やエモパー利用時の音声認識にも使用します。
㉑ **外部接続端子**
共通ACアダプタ05（別売）やmicroUSBケーブル01（別売）、周辺機器接続用USBケーブル（市販品）などの接続時に使用します。
共通ACアダプタ05（別売）やmicroUSBケーブル01（別売）などを接続すると、接続機器の磁気が地磁気センサーに影響し、アプリケーションによっては正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。

◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切る場合は、「強制的に電源を切る」（▶P.19）をご参照ください。

au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーについて
◎ au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

IMEIトレイについて
◎ IMEI（端末識別番号）は端末1台ずつに割り当てられた固有の識別番号です。IMEIトレイを引き出して本製品のIMEIを確認できます。
◎ IMEIは修理依頼やアフターサービスなどで必要な情報です。
◎ IMEIトレイを本体から取り外すことはできません。無理な力がかからないよう取り扱いにはご注意ください。
◎ 本製品を操作してIMEIを確認することもできます。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→［設定］→［端末情報］→［端末の状態］→［SIMのステータス］と操作して、IMEI欄を確認

ディスプレイ（タッチパネル）について
◎ 対応する市販のフリップカバーを装着すると、フリップカバーの開閉によってディスプレイの表示／非表示を切り替えることができます。装着したフリップカバーは、斜めに閉じるとディスプレイの表示が消えないことがあります。

近接センサー／光センサー、受話口（レシーバー）／スピーカー、送話口（マイク）について
◎ 本製品は受話口とスピーカーを兼用しています。ハンズフリー通話に切り替えたときや通話が終了したときに、耳元でスピーカーから大きな音が鳴らないよう、徐々に設定した音量まで上がります。
◎ 近接センサー／光センサーの上にシールなどを貼ると、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
◎ 受話口（レシーバー）／スピーカー、送話口（マイク）をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。

内蔵アンテナ、Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ、GPSアンテナについて
◎ アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。通話／通信品質が悪くなることがあります。

イヤホンマイク端子について
◎ スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

au Nano IC Card 04を利用する

au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04にはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。



◎ au Nano IC Card 04を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au Nano IC Card 04のIC（金属）部分には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ au Nano IC Card 04を正しく取り付けていない場合やau Nano IC Card 04に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎ 取り外したau Nano IC Card 04はなくさないようにご注意ください。
◎ 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card 04を挿入しないでください。故障の原因となります。
◎ au Nano IC Card 04着脱時は、必ず共通ACアダプタ05（別売）などのmicroUSBプラグを本製品から抜いてください。

■ au Nano IC Card 04が挿入されていない場合

au Nano IC Card 04が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。
- 電話をかける※／受ける
- SMSの送受信
- Eメール（@ezweb.ne.jp）の初期設定および送受信
- SIMカードロック設定
- 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

※110番（警察）・119番（消防機関）・118番（海上保安本部）への緊急通報も発信できません。ただし、GSM／UMTS／LTEローミング中で電波の強さが（圏外）以外の場合は、発信可能です（緊急通報番号は国によって異なるため、発信してもつながらない場合もあります）。

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

■PINコードによる制限設定

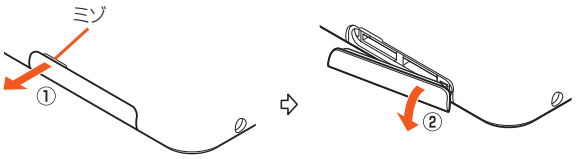
au Nano IC Card 04をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。詳しくは、「SIMカードロック設定」(▶P.86)をご参照ください。

au Nano IC Card 04を取り付ける

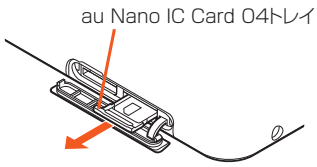
au Nano IC Card 04の取り付けは、本製品の電源を切ってから行ってください。

1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを開ける

ミゾに指先をかけて手前に引き出し(①)、矢印の方向に回転させて開いてください(②)。

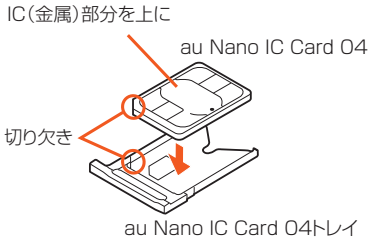


2 au Nano IC Card 04トレイに指をかけ、まっすぐにゆっくりと引き出す



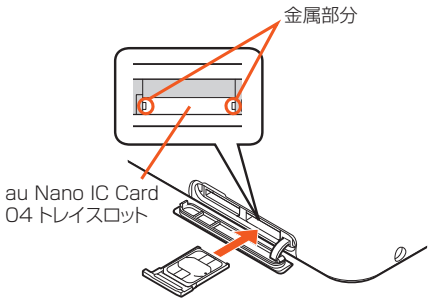
3 au Nano IC Card 04トレイにau Nano IC Card 04を装着する

au Nano IC Card 04とau Nano IC Card 04トレイの切り欠き方向に注意して、ゆっくりと装着してください。



4 au Nano IC Card 04トレイスロットの両側の金属部分に引っ掛からないように注意して、au Nano IC Card 04トレイをau Nano IC Card 04トレイスロットにゆっくり差し込む

au Nano IC Card 04トレイスロットの位置をよく確認し、au Nano IC Card 04トレイの向きに注意して、矢印の方向に奥まで差し込んでください。無理に差し込もうとすると、au Nano IC Card 04トレイが破損する場合があります。



5 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを閉じる(▶P.10)

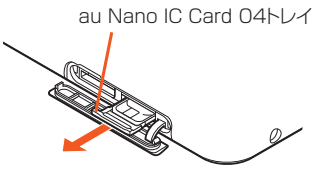
◎ au Nano IC Card 04トレイの差し込みが不十分な場合は、正常に動作しないことがあります。
◎ 取り外したau Nano IC Card 04トレイは紛失・破損しないようにご注意ください。

au Nano IC Card 04を取り外す

au Nano IC Card 04の取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを開ける(▶P.17)

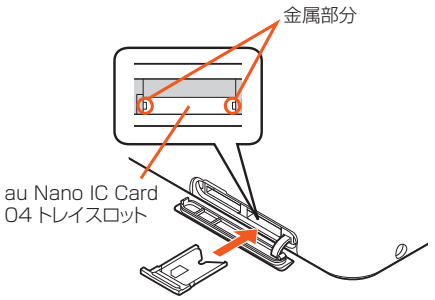
2 au Nano IC Card 04トレイに指をかけ、まっすぐにゆっくりと引き出す



3 au Nano IC Card 04トレイからau Nano IC Card 04を取り外す

4 au Nano IC Card 04トレイスロットの両側の金属部分に引っ掛からないように注意して、au Nano IC Card 04トレイをau Nano IC Card 04トレイスロットにゆっくり差し込む

au Nano IC Card 04トレイスロットの位置をよく確認し、au Nano IC Card 04トレイの向きに注意して、矢印の方向に奥まで差し込んでください。無理に差し込もうとすると、au Nano IC Card 04トレイが破損する場合があります。



5 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを閉じる(▶P.10)

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードについて

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。

◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください。フォーマットについて詳しくは、「microSDメモリカード／USBメモリをフォーマットする」(▶P.90)をご参照ください。
◎ microSDメモリカード内のデータを再生／表示する場合は、コンテンツマネージャーを利用してください。コンテンツマネージャーについて詳しくは、「データを表示／再生する」(▶P.66)をご参照ください。
◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。
◎ microSDXCメモリカードは、SDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。
SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCメモリカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■取扱上のご注意

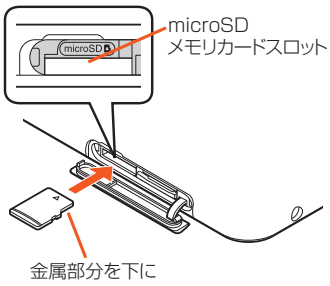
- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品はmicroSD／microSDHC／microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD／microSDHC／microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける

1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを開ける（▶P.17）

2 microSDメモリカードをmicroSDメモリカードスロットにゆっくり差し込む

挿入方向を確認し、カチッと音がしてロックされるまで矢印の方向に差し込んでください。
また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



3 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを閉じる（▶P.10）

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

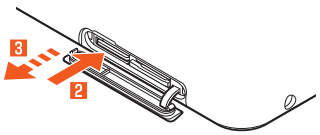
microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、microSDメモリカードのマウントを解除（▶P.90）してから行ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを開ける（▶P.17）

2 microSDメモリカードを奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



3 microSDメモリカードをまっすぐにゆっくりと引き抜く

4 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを閉じる（▶P.10）

◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

充電について

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- 充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は内蔵電池の寿命の可能性があります。ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]→[電池の状態]と操作すると、内蔵電池の充電能力を確認できます。
- 充電中は充電／着信ランプが赤色に点灯し、電池マークに ϟ が重なって表示されます。約95%まで充電されると充電／着信ランプが緑色に点灯します。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

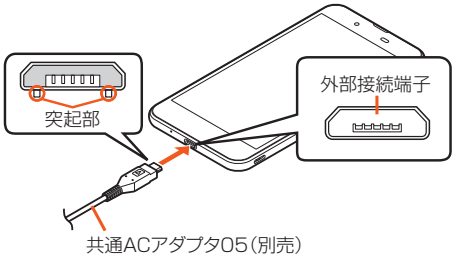
◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際、安全のため充電が停止することがあります。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
◎ 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎ 充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、強制的に電源を切り（▶P.19）、電源を入れ直してください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
◎ 連続通話時間および連続待受時間（▶P.111）は、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
- （圏外）が表示される場所での使用が多い場合
- Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、メール機能、カメラ機能、位置情報などの使用
- アプリケーションなどで画面が消灯しないように設定されている場合
- バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

◎ 充電中、充電／着信ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、 が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

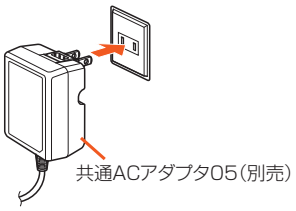
指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

共通ACアダプタ05（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ（別売）について詳しくは、「周辺機器」（▶P.110）をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子に共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む



2 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む



3 充電が終わったら、本製品の外部接続端子から共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

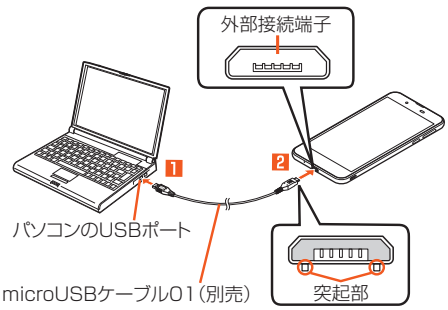
4 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続



2 microUSBケーブル01（別売）を本製品に接続

◎ USB充電を行った場合、指定のACアダプタ（別売）での充電と比べて時間が長くかかる場合があります。
◎ 本製品の外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込む場合は、突起部を下にしてまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本製品の外部接続端子が破損することがあります。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプが点灯しない場合があります。その場合は、指定のACアダプタ（別売）を使用して充電してください。

電源を入れる／切る

■電源を入れる

1 電源が切れた状態で[(⏻)]（2秒以上長押し）

◎ 電源を入れてから「AQUOS」の表示が終了するまでの間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

■電源を切る

1 [(⏻)]（2秒以上長押し）

2 [電源を切る]

■再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

1 [(⏻)]（2秒以上長押し）

2 [再起動]

■強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

1 [(⏻)]（8秒以上長押し）
バイブレータが振動した後、手を離すと電源が切れます。

◎ 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

■セーフモードで起動する

本製品の電源をいったん切り、お買い上げ時に近い状態で起動します。
本製品の動作が不安定になった場合、お買い上げ後にインストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合、インストールしたアプリケーションをアンインストールすると症状が改善されることがあります。

1 [(⏻)]（2秒以上長押し）

2 「電源を切る」をロングタッチ→[OK]
セーフモードで起動すると、画面下部に「セーフモード」と表示されます。
セーフモードを終了するには再起動してください。

◎ 電源が切れているときは、[(⏻)]（2秒以上長押し）で電源を入れ、SHARPロゴが表示されてからロック画面が表示されるまで[(ー)]を押し続けると、セーフモードで起動することができます。
◎ セーフモードで起動する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
◎ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合はセーフモードを終了してください。

画面点灯／消灯について

[(⏻)]を押すか、一定時間操作しないと画面が消灯します。

■画面を点灯する

1 画面消灯中に[(⏻)]

◎ 利用中のアプリケーションによっては、画面を点灯した際に、消灯する前の画面が表示されることがあります。
◎ ポケットやかばんなどに入れる際は、画面を消灯してください。画面を点灯させたまま入れると、誤動作の原因となります。

■持つと画面点灯について

「持つと画面点灯」が設定されている場合は、本製品を持ち上げて静止すると、画面が点灯します。（お買い上げ時、この機能は有効になっています。）
設定方法については、「便利機能を設定する」の「持つと画面点灯」（▶P.82）をご参照ください。

◎ 次の場合などでは、点灯しないことがあります。
- 本製品を持ったまま動いている（歩行中や乗車中などの）場合
- 持ち上げる前やその後に本製品を動かし続けている場合
- 垂直または水平に持ち上げた場合

◎ 「持つと画面点灯」の使いかたは、「体験しよう！」アプリで確認することができます。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[体験しよう！]→[持つと画面点灯]

ロック画面について

画面を点灯するとロック画面が表示されます。
見るだけ解除機能を利用して、ロック画面を見るだけで、インカメラで目をスキャン（認識）し、すぐに画面ロックを解除することができます。



《ロック画面》

① **壁紙**
② **アドレス帳プラス**
アドレス帳に登録された各種情報を表示します。また、お気に入りなど、よくつかう連絡先をお知らせエリアに表示することができます。
③ **お知らせエリア**
不在着信／新着Eメール／新着SMSなどの通知がポップアップ表示されます。通知をダブルタップすると対応した画面が表示されます。
お知らせエリアを下にドラッグすると、通知の一覧が表示され、通知をタップすると対応した画面が表示されます。
音楽や動画再生中は、メディア操作キーが表示されます。
- メディア操作キーは音楽や動画を再生するアプリケーションを起動中に表示されます。アプリケーションによっては表示されない場合もあります。

④ **ショートカット**
「⋮」を画面上部にスライドするとショートカットが表示されます。
また、表示するショートカットを設定することもできます。
⑤ **時計／エモパーエリア**
現在の時刻と日付が表示されます。
「エモパー」をONに設定している場合、エモパーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。
- 左右にフリックすると情報が切り替わります。
- 情報によってはダブルタップすると、関連情報や詳細を確認できます。

「ロックとセキュリティ」の「ロック画面メッセージ」を設定している場合は設定したテキストも表示します。
⑥ **画面ロック**
「🔒」を画面上部にスライドすると画面ロックを解除できます。
- 「画面ロック」にパスワードなどを設定しているときは🔒が表示されます。

⑦ **カメラ起動**
「📷」を画面上部にスライドするとSHカメラを起動します。

◎ 見るだけ解除機能について詳しくは、「見るだけ解除を設定する」（▶P.86）をご参照ください。
◎ 「エモパーメモ」がONのときは、ロック画面でエモパーメモが利用できます。
エモパーについて詳しくは、「エモパーを設定する」（▶P.83）をご参照ください。

データを引き継ぐ

microSDメモリカードを利用して、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンのバックアップデータを本製品の本体メモリに取り込んだり、本製品の本体メモリのデータをバックアップしたりすることができます。本製品にデータを引き継ぐ場合は、あらかじめ、バックアップデータを保存したmicroSDメモリカードを本体に取り付けしておいてください。また、これまでお使いのスマートフォンがBluetooth®対応の場合は、Bluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込むこともできます。

- 電話帳、スケジュール、メモ帳、ユーザー辞書／学習辞書（S-Shoin）、エモパーの登録内容を引き継ぎ／バックアップできます。
- これまでお使いの携帯電話／スマートフォンの操作については、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[バックアップとリセット]→[データ引継]
データ引継画面が表示されます。
「ヘルプ」をタップすると、ヘルプを表示します。

2

データ取り込み	**取り込む** ▶P.20「microSDメモリカードに保存したバックアップデータを取り込む」 **スマートフォンから電話帳データを取り込む** ▶P.20「スマートフォンからBluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込む」
microSDにデータ保存	本体メモリ内のデータをバックアップします。
機能紹介	シャープのサイトに接続し、データ引継の使いかたを動画で確認することができます。

■ microSDメモリカードに保存したバックアップデータを取り込む

1 データ引継画面→[データ取り込み]
microSDメモリカードが挿入されていなかったり、microSDメモリカードにバックアップデータがない場合は、取り込み元の携帯電話の選択画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 [取り込む]→ロックを解除
取り込むことができるデータカテゴリが一覧表示されます。

3 取り込むデータカテゴリを選択
バックアップデータが一覧表示されます。
すべてのカテゴリを選択／解除したい場合、「全選択」／「全解除」をタップします。バックアップデータは最新のものが選択されます。

4 取り込むバックアップデータを選択

5 [追加登録]／[削除して登録]
機内モードが無効になっている場合は、機内モードが有効になり、登録が開始されます。アカウントを設定している場合、連絡先の登録先を選択してください。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

6 [完了]

◎ 電池残量が少ないときは取り込みできません。
◎ 取り込みが完了しても「機内モード」が元に戻らない場合は、手動で戻してください。
◎ バックアップデータを削除して登録中に操作がキャンセルされた場合は、処理中の本体メモリ内のデータは削除され、キャンセルする直前までのバックアップデータが登録されます。
◎ ユーザー辞書／学習辞書は追加登録を行った場合でも削除して登録されます。

■ スマートフォンからBluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込む

1 データ引継画面→[データ取り込み]
microSDメモリカードが挿入されていなかったり、microSDメモリカードにバックアップデータがない場合は、取り込み元の携帯電話の選択画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 [スマートフォンから電話帳データを取り込む]

3 [次へ]

4 これまでお使いのスマートフォンのBluetooth®機能を有効にする→[次へ]

5 これまでお使いのスマートフォンを選択→[開始]
リクエスト画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
「連絡先の共有」を有効に設定するなど、相手側の機器で操作が必要な場合は行ってください。

6 [次へ]

7 [追加登録]／[削除して登録]→[OK]
アカウントを設定している場合、連絡先の登録先を選択してください。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

8 [OK]

■ microSDにデータをバックアップする

1 データ引継画面→[microSDにデータ保存]

2 ロックを解除
保存できるデータカテゴリが一覧表示されます。

3 保存するデータカテゴリを選択
前回バックアップ時と同じ項目を選択したい場合、[⋮]→[前回選択項目のチェック]と操作します。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

4 [保存]
機内モードが無効になっている場合は、機内モードが有効になり、バックアップが開始されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

5 [完了]

◎ 電池残量が少ないときはバックアップできません。
◎ 本体メモリの空き容量が11MB未満の場合は、microSDバックアップを利用できません。
◎ バックアップが完了しても「機内モード」が元に戻らない場合は、手動で戻してください。
◎ バックアップデータは最大1,000件まで保存できます。

基本操作

タッチパネルの使いかた 22
タッチキーの使いかた 22
Feel Homeを利用する 22
ステータスバーを利用する 25
アプリ使用履歴を利用する 26
アプリ初回起動時の確認画面から設定する 27
共通の操作を覚える 27

タッチパネルの使いかた

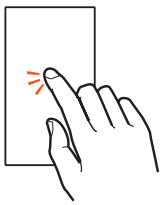
本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・手袋をしたままでの操作
  - ・爪の先での操作
  - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ・市販の保護フィルムやシールなどを貼っての操作
  - ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - ・濡れた指または汗で湿った指での操作
  - ・水中での操作

■タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

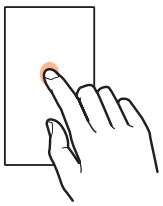
- 画面に表示された項目やアイコンを選択します。静止画表示中やWebページ閲覧中などにダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。



■ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

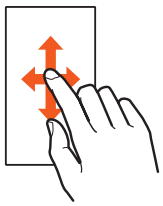
- 項目によっては、利用できるメニューが表示されます。



■スライド／スワイプ／ドラッグ

画面に軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

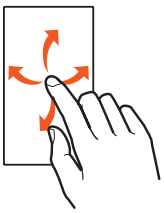
- 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時にゲージやバーの操作に使用します（スライド／スワイプ）。
- 項目やアイコンを目的の位置まで移動します（ドラッグ）。



■フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

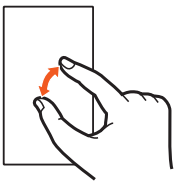
- ページの切り替えや文字のフリック入力などを行います。



■ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

- Webページなどで画面を拡大／縮小します。



タッチキーの使いかた

画面下部に表示されるナビゲーションバーに次のアイコンが表示され、タッチキーとして使用します。

- 表示されている画面によっては、次のアイコン以外のタッチキーが表示される場合があります。

アイコン	概要
戻るキー	1つ前の画面に戻ります。
閉じるキー	表示中のソフトウェアキーボードを閉じます。
ホームキー	ホーム画面を表示します。
アプリ使用履歴キー	アプリ使用履歴画面を表示します。 ロングタッチするとステータスパネルを表示します。

Feel Homeを利用する

Feel Homeについて

Feel Homeはデスクトップシート、アプリシート、ドックで構成されたホーム画面です。
デスクトップシートではウィジェット／ショートカット、アプリシートではアイコンをタップすると機能を利用できます。ドックにはお気に入りアプリのショートカットを登録することができます。

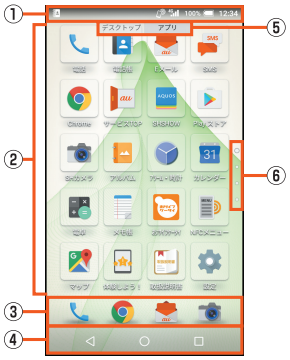
- ホーム画面を左右にスライド／フリックすることで、デスクトップシート／アプリシートを切り替えることができます。

シートの切り替えイメージ



《デスクトップシート》　《アプリシート》

■Feel Homeの見かた



① **ステータスバー**
② **デスクトップシート／アプリシート**
③ **ドック**
アプリケーションのショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。
④ **ナビゲーションバー**
⑤ **ガイドタブ**
デスクトップシート／アプリシートを切り替えたときに、シート名を表示します。
⑥ **ページインジケータ**
デスクトップシート／アプリシートの現在の表示位置を表示します。

◎ デスクトップシート／アプリシートを上下にスライド／フリックすると、ページを切り替えることができます。
◎「○」をロングタッチするとGoogle™アプリが起動し、本体メモリ内やウェブサイトの情報を検索できます。
- 次の操作で「○」をロングタッチして起動するアプリを変更できます。
  ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アプリ]→[⚙]→[既定のアプリ]→[アシストと音声入力]→[アシストアプリ]→起動するアプリを選択

ホーム画面のメニューを利用する

1 **ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ**

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ショートカットを貼付け	▶ P.23「ウィジェット／ショートカットを貼り付ける」
ウィジェットを貼付け	▶ P.23「ウィジェット／ショートカットを貼り付ける」
ページ並替え	▶ P.23「ページを並べ替える」
壁紙設定	ホーム画面／ロック画面の背景を変更できます。
フォルダ作成	▶ P.23「フォルダを作成する」
アプリを探す（auスマートパス）	au Webポータルを利用できます。
おすすめアプリ（SHSHOW）	SHSHOWを利用できます。
アプリ表示設定	アプリシートにアイコンを表示するかどうかを、アプリケーションごとに設定できます。
ホーム設定	▶ P.23「ホーム画面をアレンジする」

ホーム画面を編集する

■ホーム画面をアレンジする

1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[ホーム設定]

2

ドック表示設定	ホーム画面のドックを表示するかどうかを設定します。
ガイドタブ表示設定	ガイドタブを表示するかどうかを設定します。
ホームポジション設定	ホーム画面のポジションを、デスクトップシート／アプリシートのどちらかの最上段に設定します。
レイアウト設定	アプリシートのアイコンの表示レイアウトを設定します。
テーマ設定	ホーム画面のテーマや壁紙を設定します。

レイアウト設定について
◎「Simple」に設定すると、アプリシートのみ表示され、アイコンと文字が大きくなります。

■アプリケーション／ウィジェット／ショートカット／フォルダを移動する

1 ホーム画面→アプリケーション／ウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す
各シートの上下端までドラッグすると、次のページに移動できます。また、「＋」にドラッグすると、新しいページを追加できます。
アプリを「🗑」までドラッグするとアンインストールできます。ウィジェット／ショートカット／フォルダを「🗑」までドラッグすると削除できます。

◎ ドックに配置されたショートカット／フォルダも同様の操作で移動できます。また、アプリケーション／ショートカット／フォルダをドックにドラッグすると、ショートカット／フォルダが配置されます。

■アプリケーション／ウィジェット／ショートカット／フォルダのメニューを利用する

1 ホーム画面→アプリケーション／ウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチして、指を離す

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ショートカットを貼付け	選択したアプリケーションのショートカットをデスクトップシートに貼り付けます。
アプリを削除	選択したアプリケーションをアンインストールします。
アプリ非表示	選択したアプリをアプリシートで表示しないようにします。非表示にしたアプリは、ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[アプリ表示設定]→表示したいアプリの右側にある「⚪」をタップして「🔵」に切り替えると表示できます。
はがす	選択したウィジェット／ショートカット／フォルダを削除します。
サイズ変更	選択したウィジェットのサイズを変更します。
新規フォルダに入れる	選択したアプリケーション／ショートカットを格納したフォルダを作成します。
ホーム設定	ホーム画面をアレンジします。 ・詳しくは、「ホーム画面をアレンジする」（▶P.23）をご参照ください。

■ウィジェット／ショートカットを貼り付ける

1 ホーム画面に「デスクトップシート」を表示→空いているスペースをロングタッチ→[ショートカットを貼付け]／[ウィジェットを貼付け]

2 追加するウィジェット／ショートカットを選択

auウィジェットについて
◎ より便利にauスマートフォンをご利用いただけるように、ホーム画面上で最新ニュースと天気をお届けします。あわせてクーポン、音楽、動画、本、人気アプリなどの情報もご一緒にお楽しみください。

■ページを並べ替える

1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[ページ並替え]

2 ページを上下にスライドして移動させる場所を選択→[移動する]

◎ ホーム画面をピンチインしてもページの並べ替えができます。

■フォルダを作成する

1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[フォルダ作成]

◎ 1つのフォルダに16個までアプリケーション／ショートカットを格納できます。
◎ フォルダをタップ→[名称未設定]と操作すると、フォルダの名前を登録できます。
◎ ドックにもフォルダを作成できます。

アプリケーション一覧

アプリケーションを名前順（数字／アルファベット→五十音順）に記載しています。

アプリケーション	概要
au ID 設定	au IDを設定します。 au ID 設定について詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。
au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroid™アプリをインストールできます。
au WALLET	au WALLET カードをより便利に使いこなすためのアプリです。 カードへのチャージの他、カード残高・ポイント残高・特典の確認ができ、利用履歴は家計簿のようにグラフ化された画面で確認できます。
au WALLET Market	日々の生活に役立つ"ちょっといいもの"を、誰でも気軽に買える新感覚のショッピングサービスです。 auショップ店頭で購入した商品の確認や注文変更もご利用いただけます。
au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi®機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。（▶P.70）
auお客さまサポート	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。（▶P.70）
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報、洪水情報）、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。
auショッピングモール	日用品・スマートフォングッズ・グルメ・ファッションなど、お買いものが楽しめるau公式のショッピングアプリです。
auスマートパス	「auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。（▶P.72）
Chrome	Google Chrome™を利用して、Webページを閲覧できます。（▶P.60）
Clip Now	Clip Nowで撮影した画像（保存用スクリーンショット）やURLを確認します。（▶P.83）
Disney pass	ディズニーの壁紙、きせかえ、動画、音楽等のコンテンツが使い放題の月額サービス。au限定のコンテンツやお得な会員特典もあります。 その他にも、au限定デザインのカバーとおそろいで楽しめる「限定カバー＆コンテンツセット」もご用意。カバーに同梱のディズニーパス・カードからご登録いただくと、ディズニーパスが約2ヵ月間無料で楽しめます。 © Disney
Eメール	Eメール（@ezweb.ne.jp）のアドレスを利用してメールの送受信ができます。（▶P.44）
※1 Facebook	友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりができる無料のコミュニケーションアプリです。
Gmail	Gmail™やGmail以外のPCメールを利用できます。（▶P.58）
Google	本体メモリ内やウェブサイトの情報を検索できます。（▶P.74）
Google Nowランチャー	Google Now™をすぐに起動できたり、ホーム画面で「Ok Google」と話すだけでGoogle™ 検索が起動し、音声のみで検索までできるランチャーアプリです。
※1※2 Instagram	日常の風景から歴史的な出来事まで世界で起こっているあらゆる瞬間をモバイルで撮影・自由に編集し、家族や友達、そして世界中の利用者と簡単に共有することができるサービスです。
Lookout for au	本製品を紛失したり、盗難にあったときにKDDIオペレーターがリモートで端末の位置検索やロックをかけることができるアプリです。（▶P.71）
※1※2 Messenger	友達や知り合いとスピーディーにメッセージのやりとりやグループチャットができる無料アプリです。
Music Player	うたパスアプリをより便利にお楽しみ頂くための音楽アプリです。

アプリケーション	概要
NFCメニュー	NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。(▶P.96)
※2 OfficeSuite	パソコンなどで作成されたMicrosoft Word／Excel／PowerPointやPDFのファイルを表示することに対応したアプリケーションです。対象ファイルを閲覧・確認したいときに、手軽に利用することができます。
PCメール	普段パソコンなどで利用しているメールアカウントでメールを送受信できます。(▶P.57)
Play Music	音楽を再生します。
Play ストア	Google Play™からアプリケーションをダウンロード・インストールして利用できます。(▶P.70)
Playムービー&TV	Google Playから動画をレンタルしたり、ダウンロード・インストールした動画を視聴できます。
※1※2 PrintSmash	Wi-Fi®通信を利用して、本製品にある写真や文書を、コンビニエンスストアなどに設置されているシャープのマルチコピー機でプリントできるサービスです。
RealTimes for au	端末内に保存している動画や写真をもとに、イベントごとに自動作成されるダイジェスト映像を楽しめます。家族や友人とのプライベート映像をアドレス帳電話番号で安心して共有(送受信)できます。
SATCH	QRコードやバーコードを読み取ることができます。その他、ARを楽しむことができます。ARとは対象物をカメラにかざして、動画やCGなどを表示できる機能です。アプリ内のキャンペーンページの案内に沿ってお楽しみください。(▶P.70)
SHSHOW	AQUOSスマートフォン／タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリケーションです。
SHカメラ	静止画／動画を撮影できます。(▶P.62)
SMS	電話番号を宛先としてメールの送受信ができます。(▶P.55)
※1 Twitter	Twitterは多くの人々とつながったり、自分を表現したり、大好きなものについていろいろ知ることができる無料のアプリです。
YouTube	YouTube™を利用できます。
アラーム・時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。(▶P.76)
アルバム	画像や動画をイベントごと、場所ごとに振り分けて整理することができます。(▶P.64)
安心アクセス	お子さまがスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.71)
うたパス	最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など3,000以上のプレイリストが聴ける「聴き放題」と、楽曲を購入してダウンロードし再生できる「音楽プレイヤー」を持ったアプリです。
おサイフケータイ	おサイフケータイ®対応サービスを利用できます。(▶P.95)
音声検索	本体メモリ内やウェブサイトの情報を音声で検索できます。(▶P.74)
からだメイト	からだメイトを利用できます。(▶P.77)
カレンダー	カレンダーを利用できます。(▶P.76)
※1※2 ゲームギフト	大人気ゲームのギフト配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報、先行プレイなど、様々なお得を提供するアプリです。
故障受付	スマートフォンの調子が悪いときのトラブル診断、簡単操作で安心ケータイサポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートするアプリです。(▶P.71)
コンテンツマネージャー	データを分類して一覧表示し、再生／表示、確認、管理を行うことができます。(▶P.66)
サービスTOP	ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、auのスマートフォンを楽しむためのお得で便利な情報をお届け。(▶P.72)
辞書	単語の意味などを検索することができます。(▶P.78)
世界データ定額	世界各国で使えるデータ定額サービスの初期設定が安心、簡単にできます。
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.80)
体験しよう！	本製品に搭載しているおすすめの機能の説明を見たり、試したり、設定を変更したりできます。
ダウンロード	ダウンロードしたデータの管理を行うことができます。

アプリケーション	概要
データお預かり	写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されている様々なデータをauのサーバーに預けたり、microSDメモリカードに保存したりするアプリです。機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。
デジラアプリ	データ通信の残データ容量を手軽に確認できるアプリです。データチャージ・データギフトを利用したり、ご家族へデータギフトをおねだりすることもできます。
電子書籍 GALAPAGOS	新聞や雑誌、書籍などの電子書籍を購入、閲覧できます。(▶P.70)
電卓	電卓を利用できます。(▶P.77)
電話	電話をかけたり、履歴を確認できます。(▶P.34)
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.40)
ドライブ	ファイルをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
※2 取扱説明書	『取扱説明書 詳細版』に記載されている内容を確認することができます。目次、索引、検索機能を利用して、使いたい機能の説明を探すことができます。また、よく確認する説明にしおりを付けて検索しやすくすることもできます。
※1※2 ナビウォーク	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
ニュースパス	たくさんの新聞・雑誌・テレビ・ネットのニュース記事の中から、旬なニュースや、あなたの興味や関心にあった記事を読むことができるニュースアプリです。
ハングアウト	写真や絵文字、ビデオハングアウトなどを使って会話を楽しめるコミュニケーションツールです。
※1 ビデオパス	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。
フォト	撮影した静止画や動画を表示・編集したり、Google+™にバックアップすることができます。
ブックパス	雑誌・コミック・小説など多くの電子書籍を楽しむことができます。
※1 ボイスレコーダー	音声を録音できます。(▶P.75)
マップ	Google マップ™を利用して、現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。
※1 メモ帳	メモ帳を利用できます。(▶P.75)
リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。(▶P.71)

※1 オールリセットを実行すると、削除されます。
※2 利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

◎ アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
◎ アプリケーションのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリケーションやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

ステータスバーを利用する

アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	新着PCメールあり
	新着Gmailあり
	アラーム情報あり
	カレンダーの予定通知あり
	音楽再生中
	発信中、通話中、着信中
	auのVoLTE対応機種と高音質通話中
	保留中
	伝言メモ情報あり
	本体メモリの空き容量低下
	USBテザリング利用中
	Wi-Fi®テザリング利用中
	Bluetooth®ファイル受信リクエストあり
	データのアップロード／ダウンロード、送受信など :データのアップロード・送信時 :データのダウンロード・受信時
	利用可能なアップデートあり
	アプリケーションのインストール完了
	ソフトウェア更新情報あり
	Bright KeepをON(通知あり)に設定中
	まとめられたアイコンあり

■主なステータスアイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
	アラーム設定あり
～	電池レベル状態 ～:残量表示 :残量なし ・充電中は電池マークに が重なって表示されます。 ・電池マークの左に電池残量が%で表示されます。
	機内モード設定中
～	電波の強さ(受信電界) ～:レベル表示 :圏外 ・ネットワークを示すアイコンが左上に表示されます。 :LTE／WiMAX 2+使用可能※ ・通信中は が重なって表示されます。
	ローミング中
あ AB 12 A 1 区	文字種 あ:ひらがな漢字入力 AB:半角英字入力 12:半角数字入力 A:全角英字入力 1:全角数字入力 区:区点コード入力
	マナーモード状態 :通常マナー :サイレントマナー :アラームのみ :優先する通知のみ
	ハンズフリーで通話中
	通話中のマイクを「消音」に設定中
～	Wi-Fi®の電波の強さ ～:レベル表示 ・通信中は が重なって表示されます。
	Bluetooth®利用中 :待機中 :接続中
	伝言メモ設定中 :伝言メモなし :伝言メモあり(1～9件) :伝言メモが10件
	位置情報をGPSで測位中
	NFC／おサイフケータイ®機能をロック中
	「Reader/Writer, P2P」を有効に設定中

※「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。
また、マナーモードやのぞき見ブロックなどを設定できます。

■お知らせパネルを表示する場合

1 ステータスバーを下にスライド

■ステータスパネルを表示する場合

1 ステータスバーを2本の指で下にスライド

「▣」をロングタッチしてもステータスパネルを表示することができます。

■お知らせ／ステータスパネルの見かた



《お知らせパネル》　《ステータスパネル》

① お知らせ
本製品の状態や通知の内容を確認したり、アドレス帳プラスの設定(▶P.25)を行うことができます。通知をタップすると対応するアプリケーションを起動できます。
- 通知を左右にフリックすると削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。
- 表示範囲を上にスライドすると、隠れているお知らせを表示できます。
- 通知を2本の指で上下にスライドまたはピンチイン／ピンチアウトすると詳細表示と簡易表示を切り替えられます。
- 通知をロングタッチ→[ⓘ]と操作すると、アプリの通知を設定できます。

② すべて消去
タップすると通知がすべて消去されます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。

③ 明るさ調整バー
バーを左右にスライドして明るさを設定します。

④ 機能ボタン
よく使う機能の設定を変更することができます。操作方法は機能によって異なります。

⑤ 設定
タップすると本製品について、各種設定を行います。
- 詳しくは、「設定メニューを表示する」(▶P.80)をご参照ください。

⑥ カスタマイズ
表示する機能ボタンを変更したり並べ替えたりできます。

⑦ 電池残量
タップすると電池利用状況を確認できます。

◎画面を上下にスライド、または画面上部をタップすると、お知らせパネル／ステータスパネルを切り替えられます。

■表示する機能ボタンを変更する

1 ステータスパネルを表示→[ ]

■ステータスパネルに機能ボタンを追加する場合

2 [機能ボタンの追加]→追加する機能ボタンを選択

■ステータスパネルに機能ボタンを非表示にする場合

2 ステータスパネルに非表示にするアイコンをロングタッチ→「削除」までドラッグ

3 「 」をタップ

変更が確定します。

■アドレス帳プラスの設定をする

1 お知らせパネルを表示→アドレス帳プラスの通知の「設定」をタップ

2 画面に従って各項目を設定

マナーモードを設定する

公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定します。
設定できるモードは次の通りです。

通常マナー	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。アラーム音の鳴動については、「アラーム・時計」アプリの設定に従います。メディア音は鳴ります。
サイレント	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。アラーム音、メディア音も鳴りません。
アラームのみ	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。アラーム音、メディア音は鳴ります。
優先する通知のみ	「詳細設定」の「優先する通知のみを許可」の設定に従って、着信音や通知音が鳴ります。その他の動作については、マナーモードを解除しているときと同様です。

◎ 伝言メモ設定が「マナーモード連動」に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。
◎ マナーモードを設定すると、機能ボタンの表示が変更されます。タップするとマナーモードが解除されます。

1 ステータスパネルを表示→機能ボタンの「マナーモード」をタップ

マナーモードの設定画面が表示されます。表示される項目は、選択するマナーモードによって異なります。



《マナーモード設定画面》

① **マナーモードの種類**
設定するマナーモードを選択します。
② **動作説明**
選択しているマナーモードを設定した場合の動作について表示されます。マナーモードを「優先する通知のみ」に設定している場合は、「カスタマイズ」をタップして動作を設定できます。
③ **解除までの期間**
マナーモードが解除されるまでの期間を設定します。時間や次のアラームまでを選択すると、一定時間経過後や次回のアラーム鳴動時に、マナーモードが自動で解除されます。
「−」/「+」をタップすると、マナーモードが解除されるまでの時間を設定できます。
④ **詳細設定**
優先する通知や、特定の時間帯などの通知動作について設定します。アラームは常に優先する通知となり、設定の変更はできません。
「優先する通知のみを許可」をタップすると、マナーモードを「優先する通知のみ」に設定した場合の動作を設定できます。
「自動ルール」をタップすると、特定の時間帯や予定期間の通知動作について設定できます。
タップすると選択中のマナーモードが設定されます。
⑤ **ON／OFF設定**
タップするとマナーモードを解除します。
⑥ **完了**
マナーモードの設定を終了します。

◎ ロック画面で[(−)]を長押ししても、マナーモードに設定できます。
◎ [(+)]／[(−)]を押して音量バーを表示させた後、次の操作を行うとマナーモードを変更できます。
- マナーモード解除中に[(−)]を押して着信音を「0」にすると「通常マナーモード」に設定できます。
- 「通常マナーモード」に設定中に[(+)]を押すとマナーモードを解除できます。
- 「通常マナーモード」に設定中に[(−)]を押すと「サイレント」に設定できます。
- 「サイレント」／「アラームのみ」に設定中に[(+)]を押すと「通常マナーモード」に設定できます。
- 「優先する通知のみ」に設定中に[(+)]／[(−)]を押すと優先する通知の着信音量を変更できます。

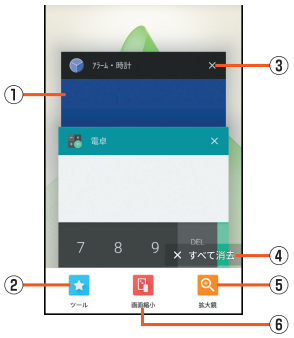
◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や撮影開始／終了音、ボイスレコーダーの録音開始／停止音は鳴動します。また、「タッチ操作バイブ」の設定によっては、バイブレータが振動します。

アプリ使用履歴を利用する

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。また、「書」メモなどのアプリや画面縮小モード、拡大鏡などを利用することもできます。

1 [▣]

■ アプリ使用履歴画面の見かた



《アプリ使用履歴画面》

① **アプリの使用履歴**
アプリを起動できます。
- 左右にフリックすると使用履歴を削除できます。

② **ツール**
③ **履歴消去**
使用履歴を消去します。
④ **すべて消去**
使用履歴をすべて消去します。
⑤ **拡大鏡**
拡大鏡を利用できます。
- 画面の一部が拡大表示されます。拡大したい部分まで拡大エリアをドラッグしてください。
- 拡大エリアをタップするか、起動時と同様の操作を行うと、拡大鏡を終了します。
- 拡大鏡の拡大エリアで項目などを選択することもできます。選択すると拡大鏡は終了します。

⑥ **画面縮小**
片手でも使いやすいように、画面を縮小表示します。
- 縮小表示中に「⚙」をタップすると縮小した画面を移動したり、画面サイズを変更できます。
- 縮小表示中に[▣]→[元に戻す]と操作すると、画面サイズを元に戻すことができます。

■ ツールを利用する

1 アプリ使用履歴画面→[ツール]

2 項目を選択

■ ツールの項目

ショートカット	概要
どこでもコピー	画面上のテキストを選択、編集してコピー、辞書で検索、Bluetooth®やメールなどで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。
「書」メモ	「書」メモが起動します。 • 詳しくは、「「書」メモを利用する」(▶P.74)をご参照ください。
チャイルドロック	タッチ操作を無効にします。 • [(⏻)]を押すか、ディスプレイの表示が消えるとチャイルドロックが解除されます。

◎ アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
拡大鏡について
◎ アプリケーションによっては拡大鏡を使用できない場合があります。
画面縮小について
◎ 画面縮小モード中に横表示にしたり、ディスプレイの表示が消えたりすると、画面縮小モードは解除されます。
◎ 画面縮小モードに対応していないアプリケーションの場合は全画面表示に切り替わります。

アプリ初回起動時の確認画面から設定する

アプリ初回起動時の確認画面について

それぞれのアプリ／機能を初めて起動したときは、「アクセス権限の許可」「電池の最適化」の確認画面が表示され、動作について設定を行います。

- アプリ／機能によって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。ここでは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の2種類の確認画面について説明します。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

例：アルバムを起動した場合

1 **「アプリに必要な許可」の確認画面→[次へ]**

2 **[許可しない]／[許可]**
通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。
利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■利用する機能について設定する

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

■アプリごとに利用する機能を設定する

1 **ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アプリ]**

2 **アプリを選択→[許可]**

3 **機能を選択**

■機能ごとに利用するアプリを設定する

1 **ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アプリ]→[⚙]→[アプリの権限]**

2 **機能を選択**

3 **アプリを選択**

◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認のうえ、画面に従って操作してください。
◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中（充電中を除く）はアプリが動作しないように設定されます。

- 電池の最適化を行った場合、画面消灯中（充電中を除く）はアプリが動作しません。アプリ／機能が利用できないなど、意図しない現象が発生することがあります。

例：アルバムで「画像の自動同期」を設定する場合

1 **「電池の最適化」の確認画面→[設定]**

2 **[⚙]→[電池の最適化]**

3 **[最適化していないアプリ]→[すべてのアプリ]**

4 **[アルバム]→[最適化する]／[最適化しない]→[完了]**
通常は「最適化しない」をタップし、電池の最適化は行わないでください。
アプリによっては、起動時に表示される確認画面で最適化を無視するかを設定します。最適化を行うとアプリが終了する場合があります。

■電池の最適化の設定をする

電池の最適化について、次の手順で設定することもできます。

1 **ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アプリ]→[⚙]→[電池の最適化]**
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[省エネ＆バッテリー]→[電池]→[⋮]→[電池の最適化]でも電池の最適化を行うことができます。
最適化していないアプリの一覧が表示されます。
[最適化していないアプリ]→[すべてのアプリ]と操作すると、すべてのアプリが表示されます。

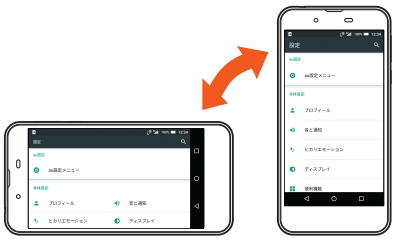
2 **アプリを選択→[最適化する]／[最適化しない]→[完了]**

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、縦横表示を切り替えます。

例：縦（横）表示から左（右）に回転した場合



《横表示》　《縦表示》

◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
◎ 縦横表示を切り替えるかどうかは、ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ユーザー補助]→[画面の自動回転]が有効の場合に、ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ディスプレイ]→[端末が回転したとき]で設定できます。
◎ アプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

利用できるメニューを表示する

⋮ などをタップすると、メニューを表示することができます。

例：ダイヤル画面の場合



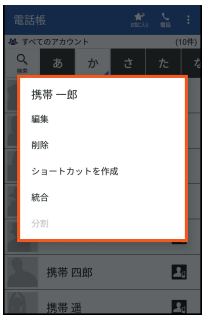
アイコン表示の「その他」について

◎ メニューがリストではなくアイコンで表示される場合、画面上にアイコンとして表示できる数を超えると「その他」のアイコンが表示されます。アイコンとして表示しきれないメニューが「その他」にまとめられ、「その他」をタップすると表示されます。
◎ 同じ画面でも設定内容や状況によって表示されるメニューの数は異なるため、「その他」にまとめられる項目の数も設定内容や状況によって異なります。
◎ 本書では、メニューの一覧表において「その他」をタップする操作は記載しておりませんので、あらかじめご了承ください。

■各項目やデータのメニューについて

各項目やデータをロングタッチすると利用できるメニューが表示されます。

例：電話帳一覧画面の場合



チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。
また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスをタップすることで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
☑	設定が有効／項目が選択されている状態です。
☐	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

文字入力

ソフトウェアキーボードを切り替える 30
文字入力画面の見かた 30
文字の入力方法 31
文字入力について設定する 31

ソフトウェアキーボードを切り替える

ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄を選択すると表示されます。
本製品では、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

12キー	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーを繰り返しタップして文字を切り替え、文字を入力します。
QWERTY	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。

1 文字入力画面→[ ]→[入力方式]→[QWERTYキーボード]／[12キーボード]

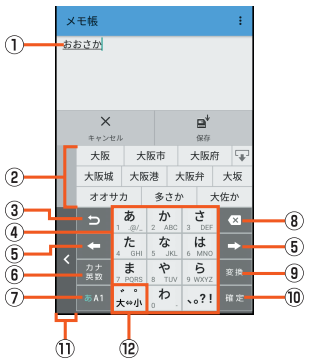
■ フリック入力について

複数の文字や機能が割り当てられたキーの場合、上下左右にフリックすることで、文字や機能を選択することができます。
キーに触れると、フリック入力で選択できる候補が表示されます。選択したい文字や機能が表示されている方向にフリックすると、文字入力や機能選択ができます。例えば「12キー」で「あ」を入力する場合は「 あ 」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「 あ 」を下にフリックすると入力されます。

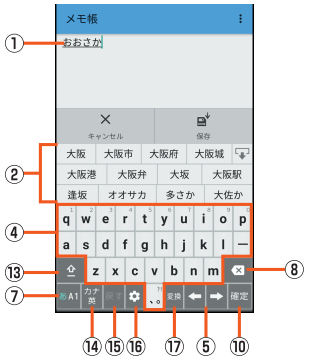




文字入力画面の見かた



《文字入力画面(12キー)》



《文字入力画面(QWERTY)》

① **文字入力エリア**
② **入力候補リスト**
文字を入力して「 変換 」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。
予測変換を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示されます。つながり予測を有効に設定している場合は、入力が確定するとつながり予測候補リストが表示されます。
• 「 」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「 」をタップします。
③ **逆トグルキー／戻すキー**
:同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。
戻す :文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。
④ **文字入力キー**
各キーに割り当てられた文字を入力できます。
⑤ **カーソルキー**
タップするとカーソルが左／右に移動します。フリックするとカーソルが上／下／左／右に移動します。
文末で右に移動すると、スペースを入力します。文字入力中は、文字の区切りを変更します。
⑥ **絵文字・記号・顔文字キー／カナ・英数キー**
記号 :絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。
カナ 英数 :入力したキーに割り当てられているカタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。元の表示に戻すには、「 」をタップします。
⑦ **文字種キー**
文字種を切り替えると、選択した文字種に応じて、次の文字が青く表示されます。
あ:ひらがな漢字入力
A:半角英字入力
1:半角数字入力
Ａ:全角英字入力
１:全角数字入力
区:区点コード入力
⑧ **削除キー**
文字を削除します。
⑨ **設定キー／変換キー／スペースキー**
:S-Shoinメニューを表示します。
変換 :変換候補リストを表示します。
:スペースを入力します。英字入力時に表示されます。
⑩ **確定キー／改行キー**
確定 :入力中の文字を確定します。
:カーソルの位置で改行します。
• アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。
⑪ **12キーボード位置変更キー**
キーボードの右寄せ／左寄せを切り替えます。
⑫ **大文字・小文字キー／スペースキー**
大⇔小 :入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
A⇔a :入力した英字を大文字／小文字に切り替えたり、アポストロフィを付けたりします。
:スペースを入力したり、英字入力時にアポストロフィを付けたりします。
⑬ **シフトキー**
タップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。タップするたびに、表示が次のように変更されます。
:小文字入力
:大文字入力
:大文字入力ロック
また、数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えます。
⑭ **絵文字・記号・顔文字キー／カナ・英字キー**
記号 :絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。
カナ 英 :入力したキーに割り当てられているカタカナ、英字が変換候補に表示されます。元の表示に戻すには、「 」をタップします。
⑮ **戻すキー**
文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。
⑯ **設定キー**
S-Shoinメニューを表示します。
⑰ **スペースキー／変換キー**
:スペースを入力します。
変換 :変換候補リストを表示します。

◎ 入力候補リストが表示されていない状態で「 」をタップすると、キーボードを非表示にすることができます。

フリック操作について

◎ 絵文字・記号・顔文字キー／カナ・英数キーを右にフリックすると、連携・引用アプリ一覧が表示されます。アプリケーションを選択すると起動することができます。
◎ 文字種キーに触れて、「あ」「A」「1」が表示されている方向にフリックすると「ひらがな漢字入力」「半角英字入力」「半角数字入力」を切り替えることができます。上にフリックすると「ひらがな漢字入力」「半角英字入力」「半角数字入力」以外の文字種も選択できます。
◎ 設定キーをフリックすると、次の機能を利用できます。
／ :QWERTYキーボードに切替／12キーボードに切替
:音声入力

文字の入力方法

文字を入力する

ソフトウェアキーボードを使用して文字を入力します。ワイルドカード予測／予測変換／つながり予測の機能を利用して入力することもできます。

例：「大阪」と入力する場合

1 文字入力画面→「おおさか」と入力

2 変換候補から「大阪」をタップ

予測変換について

◎ 予測変換候補リストで「ネット変換」をタップすると、インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を取得し、予測変換候補リストに表示します。

◎ 予測変換候補リストで学習した変換候補をロングタッチ→[学習クリア]と操作すると、学習した変換候補を削除できます。

◎ ひらがな入力中に「変換」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。「←範囲縮小」／「範囲拡大→」をタップすると、変換するひらがなの文節を変えることができます。「予測候補」／「変換候補」／「カナ英数」／「カナ英字」をタップすると、予測変換候補リスト／通常変換候補リスト／カナ英数変換候補リスト／カナ英字変換候補リストを切り替えられます。

■ ワイルドカード予測を利用する

読みの文字数から変換候補を表示し、入力できます。

例：「テレビ」と入力する場合

1 文字入力画面→「て」と入力

2 [→]→[→]

「→」をタップするたびに「＊」が入力され、文字数に合わせた変換候補が予測変換候補リストに表示されます。

3 変換候補から「テレビ」をタップ

入力する文字種を切り替える

1 文字入力画面→文字種キーを上にフリック

2 文字種を選択

◎ 操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

絵文字／記号／顔文字を入力する

1 文字入力画面→[絵・記号]

2 絵文字／記号／顔文字を選択

◎ 操作する画面によっては、表示できない一覧や、入力できない絵文字／記号／顔文字があります。

■ 絵文字／記号／顔文字一覧画面の見かた



《絵文字／記号／顔文字一覧画面》

① **文字切替**
絵文字／記号／顔文字を切り替えます。

② **絵文字／記号／顔文字リスト**
絵文字／記号／顔文字をカテゴリごとに一覧表示します。
・リストから顔文字をロングタッチすると、顔文字を編集することができます。ただし、「履歴」欄の顔文字は編集できません。

③ **閉じるキー**
文字入力画面に戻ります。

④ **ページ切替キー**
前／次のカテゴリやページを表示します。

⑤ **文字切替キー**
半角：半角記号を表示します。
全角：全角記号を表示します。

⑥ **削除キー**
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。カーソルが文頭にある場合は、カーソルの右の文字を削除します。

音声で入力する

1 文字入力画面→[⚙]→[入力方式]→[音声入力]

2 送話口（マイク）に向かって話す
：音声入力を受け付けています。認識が完了すると文字が入力されます。タップすると音声入力を一時停止します。
：音声入力を一時停止しています。タップすると音声入力を開始します。
：タップするとソフトウェアキーボードに切り替えます。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

1 文字入力画面→文字入力エリアをロングタッチ
「」／「」をドラッグして範囲を選択してください。
[⋮]→[すべて選択]と操作すると、すべての文字を選択できます。

2 [切り取り]／[コピー]

3 貼り付ける位置をタップ→[]→[貼り付け]
「」をドラッグしてカーソルの位置を移動することができます。

◎ [⋮]→[履歴から]と操作すると、切り取り／コピーした履歴を選択して貼り付けることができます。

◎ アプリケーションにより表示されるアイコンなどが異なる場合があります。

文字入力について設定する

S-Shoinの設定を行う

S-Shoinでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 文字入力画面→[⚙]

2

表示・レイアウト	**キーボード調整** ソフトウェアキーボードの高さと入力候補リストの行数、横幅などを変更します。 ・「幅寄せ」を設定した場合、12キーボードを利用中に「＜」／「＞」をタップすると、キーボードや入力候補リストを左右に移動できます。 **絵文字・記号リスト列数** 絵文字／記号リストの列数を変更します。 **キー入力ガイド表示** タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。 **ソフトキーボード表示** 市販のキーボードを接続して文字入力するときに文字入力画面を表示するかどうかを設定します。
フリック設定・入力補助	**フリック感度** フリック入力の感度を設定します。 **ガイドの表示速度** キーをタップした後、フリックガイドを表示するまでの速度を設定します。 **トグル入力** フリック入力が有効のときに、キーを繰り返しタップしても文字を入力できるようにするかどうかを設定します。 **キー操作音** キーをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。 **キー操作バイブ** キーをタップしたときに振動で知らせるかどうかを設定します。 **キー操作バイブ時間** キーをタップしたときに振動で知らせる時間を設定します。 **文字削除キー動作** 削除キーの動作を設定します。 **ローマ字キーボード補助** QWERTYキーボードで日本語を入力するときに、不要キーをタップできなくして誤入力を防止するかどうかを設定します。 **自動カーソル移動** 文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 **絵・記・顔の連続入力** 絵文字／記号／顔文字リストから候補を選択した後、リスト表示を維持するかどうかを設定します。

その他の設定	**変換機能** 予測変換やつながり予測、ワイルドカード予測など、入力候補リストに表示する内容について設定します。また半角英字入力時に自動的に文頭の文字を大文字にしたり、半角スペースを挿入するかどうかを設定します。 ・ワイルドカード予測について詳しくは、「ワイルドカード予測を利用する」(▶P.31)をご参照ください。 **辞書** ユーザー辞書やダウンロード辞書の設定や削除などを行います。また、変換辞書の更新や電話帳名前データと連携を設定します。 ・ユーザー辞書について詳しくは、「ユーザー辞書に登録する」(▶P.32)をご参照ください。 **スライド切替** ソフトウェアキーボード上でスライド操作を行った際の動作を、上下左右それぞれ設定します。 **各種リセット** S-Shoinの設定や学習辞書、顔文字リストをリセットします。
入力方式	**QWERTYキーボード／12キーボード** ▶P.30「ソフトウェアキーボードを切り替える」 **音声入力** ▶P.31「音声で入力する」
ユーザー辞書登録(日)／ユーザー辞書登録(英)	ユーザー辞書に単語を登録します。 ・詳しくは、「ユーザー辞書に登録する」(▶P.32)をご参照ください。
アプリ連携・引用(マッシュルーム)	▶P.32「アプリ連携・引用(マッシュルーム)を利用する」

自動カーソル移動について

◎ カーソル移動後でも、゛(濁点)／゜(半濁点)の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 文字入力画面→[ ]→[その他の設定]→[辞書]→[ユーザー辞書]

ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

「日本語用」／「英語用」をタップすると、日本語／英語ユーザー辞書を切り替えることができます。

2 [ ]

文字入力画面→[ ]→[ユーザー辞書登録(日)]／[ユーザー辞書登録(英)]でも同様に操作できます。

3 読み／単語を入力→[登録]

ユーザー辞書単語一覧画面のメニューを利用する

1 ユーザー辞書単語一覧画面→[ ]

2

新規登録	単語をユーザー辞書に登録します。
編集	選択している単語を編集します。
1件削除	選択している単語を削除します。
全件削除	登録した単語をすべて削除します。

アプリ連携・引用(マッシュルーム)を利用する

アプリ連携・引用(マッシュルーム)を利用すると、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 文字入力画面→[ ]→[アプリ連携・引用(マッシュルーム)]

アプリ連携・引用のヒント画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 アプリケーションを選択

◎ アプリ連携・引用(マッシュルーム)は、アプリケーションをインストールして利用することもできます。アプリケーションのインストール方法について詳しくは、「Google Playを利用する」(▶P.70)をご参照ください。

◎ 入力候補リストの変換候補をロングタッチ→[アプリ連携・引用]と操作し、アプリケーションを選択しても同様に操作できます。

電話

電話をかける 34
電話を受ける 36
自分の電話番号を確認する 38

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 ホーム画面→[📞]

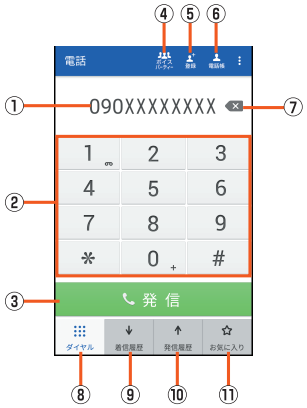
2 電話番号を入力
一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [発信]→通話
通話中画面が表示されます。
通話中に🔊(＋)／🔉(－)を押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。

4 [通話終了]

◎「通話中」と表示されている場合でも、相手の方が電話を受けていないことがあります。相手の方が受けていることを確認してからお話しください。
◎ 発信中／通話中に顔などによって近接センサーをおおうと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
◎ 送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)、お客さまセンター(157)へは電話をかけることができます。
◎ 通話中に他のアプリケーションを起動した場合やバックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に電話を受けた場合に、通話中画面を表示したいときは次の操作を行ってください。
・ステータスバーを下にスライドして「通話中」をタップ
・シンクコール画面(▶P.37)で「⠿」をタップ

■ ダイヤル画面の見かた



《ダイヤル画面》

① **電話番号入力欄**
32桁まで入力できます。
② **数字キー**
③ **発信**
電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタップすると最新の発信履歴が入力されます。
④ **ボイスパーティー**
⑤ **電話帳登録**
⑥ **電話帳**
タップすると「電話帳」を起動します。
⑦ **削除**
最後に入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。
・電話番号入力欄を選択してカーソルを表示した場合は、カーソル左側の数字を1桁削除します。ロングタッチすると、カーソル左側のすべての数字を削除し、カーソル左側に数字がない場合はすべての数字を削除します。
⑧ **ダイヤル**
⑨ **着信履歴一覧**
⑩ **発信履歴一覧**
⑪ **お気に入り一覧**

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎ 日本国内の緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
◎ 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に約10分間解除されます。

■ P(ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に「はい」をタップすると、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 ダイヤル画面→銀行の電話番号「030001XXXX」を入力

2 [⋮]→[特番付加]→[P付加]→店番号「22X」を入力

3 [⋮]→[特番付加]→[P付加]→口座番号「123XX」を入力
P(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

4 [発信]→[はい]→[はい]
送信先が電話を受けると、確認画面が表示されます。「はい」をタップするごとにプッシュ信号を送信します。

ダイヤル画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]

2

SMS作成	SMSを作成します。電話番号入力時に利用できます。
特番付加	電話番号に特番を付加します。
設定	通話に関する設定をします。 ・詳しくは、「通話の設定をする」(▶P.84)をご参照ください。

通話中画面の操作

／※	シンクコール画面に切り替わります。 ・詳しくは、「シンクコールについて」(▶P.37)をご参照ください。
相手切替	異なる2人の相手と電話が繋がっている場合、タップするたびに通話先を切り替えます。 通話していない相手は保留になります。
音量	通話音量(相手の方の声の大きさ)を調整できます。
消音／消音解除	相手の方にこちらの声が聞こえないようにするかどうかを設定します。
数字キー	数字キーを表示します。プッシュ信号の送信や通話の追加ができます。
音声メモ	通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。 ・録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。10件を超えると古いものから順に削除されますが、すべて保護されている場合は録音できません。 ・録音した音声メモの再生について詳しくは、「伝言メモ／音声メモを再生する」(▶P.84)をご参照ください。
スピーカー／スピーカーOFF	ハンズフリーで通話するかどうかを設定します。
メニュー	メニューを表示します。
保留／保留解除	通話を保留／保留解除します。

※通話相手がシンク機能を利用できる場合に表示されます。

■通話中画面のメニューを利用する

1 通話中画面→[メニュー]

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

Bluetooth ON／Bluetooth OFF	別売のBluetooth®ヘッドセットと接続／解除します。 ・ヘッドセットと接続状態のときに設定できます。ヘッドセットとの接続について詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.94)をご参照ください。
電話帳参照	電話帳を表示します。
通話を追加	通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。
三者通話	三者通話を行います。 ・詳しくは、「三者通話サービスを利用する(オプションサービス)」(▶P.101)をご参照ください。

履歴を利用して電話をかける

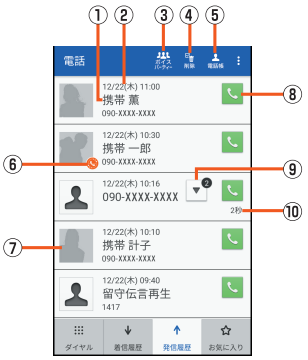
1 ホーム画面→[]→[発信履歴]／[着信履歴]
発信履歴一覧画面／着信履歴一覧画面が表示されます。

2 電話をかける履歴を選択
発信履歴／着信履歴詳細画面が表示されます。

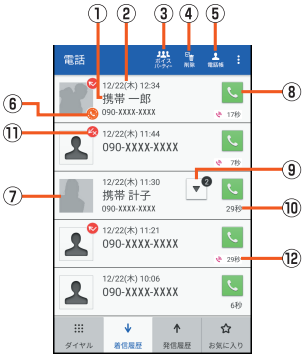
3 [発信]
「SMS」をタップするとSMSを作成できます。

◎発信履歴／着信履歴をロングタッチすると、番号を編集して発信したり、履歴を削除したりするなどの操作が行えます。
◎発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大100件まで保存され、100件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■発信履歴一覧画面／着信履歴一覧画面の見かた



《発信履歴一覧画面》



《着信履歴一覧画面》

① **電話番号／名前／非通知着信の理由／ネットワークサービスの内容**
② **発着信日時**
③ **ボイスパーティー**
④ **履歴選択削除**
⑤ **電話帳**
タップすると「電話帳」を起動します。
⑥ **シンクコール対応電話番号アイコン**
シンク機能を利用できる連絡先に表示されます。
・シンクコールについて詳しくは、「シンクコールについて」(▶P.37)をご参照ください。
⑦ **電話帳に登録している顔写真**
⑧ **発信アイコン**
タップすると発信します。
⑨ **グループアイコン**
同じ相手の発信履歴／着信履歴が連続した場合、履歴が1つのグループにまとめられます。グループアイコンを選択して、グループ内の履歴の表示／非表示を切り替えることができます。
⑩ **通話時間**
⑪ **着信状態アイコン**
:不在着信
:不在着信(ワン切り※)
:着信拒否
⑫ **呼び出し時間**
※約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

■発信履歴／着信履歴一覧画面のメニューを利用する

1 発信履歴／着信履歴一覧画面→[]

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

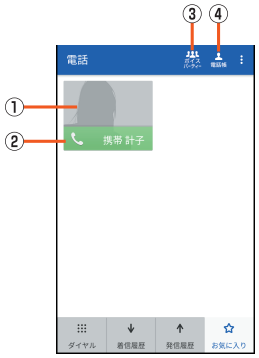
全件削除	履歴をすべて削除します。
設定	通話に関する設定をします。 ・詳しくは、「通話の設定をする」(▶P.84)をご参照ください。

お気に入りを利用する

電話帳でお気に入りに登録した連絡先を一覧表示して利用できます。

1 ホーム画面→[📞]→[お気に入り]

■お気に入り一覧画面の見かた



《お気に入り一覧画面》

① **電話帳に登録している顔写真**
タップするとアプリを選択して、連絡先の詳細を表示できます。
② **発信アイコン**
タップすると発信します。
③ **ボイスパーティー**
④ **電話帳**
タップすると「電話帳」を起動します。

■お気に入り一覧画面のメニューを利用する

1 お気に入り一覧画面→[⋮]

2

設定	通話に関する設定をします。 ・詳しくは、「通話の設定をする」(▶P.84)をご参照ください。

ボイスパーティーで電話をかける

ボイスパーティーとは、通話したい相手の端末の種類にかかわらず、発信者を含めて最大30人で同時に通話が可能な音声サービスです。

1 ホーム画面→[📞]→[ボイスパーティー]
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 [新規パーティー作成]
発信履歴をタップすると、履歴を利用して発信することができます。

3

電話帳引用	電話帳に登録されている電話番号を選択してメンバーに追加します。
履歴引用	発信履歴／着信履歴から電話番号を選択してメンバーに追加します。
直接入力	電話番号を直接入力してメンバーに追加します。

※メンバーをロングタッチ→[1件削除]／[全件削除]→[はい]と操作すると、メンバーを削除できます。

4 [発信]→通話
呼出中／通話中のメンバーを選択→[はい]と操作すると、選択したメンバーとの通話を終了します。
不在のメンバーを選択すると、発信／メンバーの削除が行えます。

5 [通話終了]

◎ ボイスパーティーを利用するにはお申込みが必要です。
◎ 発信者には通話先に応じた通話料(人数分)が課金されます。
◎ 発信先として、緊急通報番号(110、119、118)や時報(117)などの特番は対象外です。
◎「発信者番号通知」で番号を通知しないように設定している場合は、ボイスパーティーでの発信ができません。
◎ 発信後、どの着信者からも20秒間応答がない場合、ボイスパーティーは終了されます。
◎ 発信者・着信者はボイスパーティーと三者通話を同時にご利用できません。
◎ 発信者・着信者はボイスパーティー中、割込着信をご利用できません。
◎ 発信者・着信者はボイスパーティー中にプッシュ信号を送信できません。
◎ 着信者がお留守番サービス、着信転送サービスを利用している場合、着信者はボイスパーティーに参加できません。
◎ auのVoLTE対応機種に着信した場合、伝言メモは応答しません。
◎ 着信者には発信者以外のメンバーの名前や電話番号は表示されません。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例: 本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面→[📞]

2 国際アクセスコード「010」を入力
「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

3 アメリカの国番号「1」を入力

4 市外局番「212」を入力
市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

5 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→[発信]

◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から 0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00～20:00

電話を受ける

電話に出る

お買い上げ時は、着信すると次の内容が表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

■バックライト消灯中、ロック画面表示中に着信した場合

1 着信中に「応答」を下にスライド

2 通話→[通話終了]

■バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合

1 着信中に[受話]／[スピーカー受話]
「表示している画面のまま受話する」を「OFF」に設定している場合は、「応答」をタップします。通話を終了する場合は、「通話終了」をタップします。

2 通話
通話を終了する場合は、シンクコール画面(▶P.37)で「終話」をタップします。

◎ LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[データ使用量]と操作し、「データ通信」を無効にしてご利用ください。
◎ かかってきた電話に出なかった場合はステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にスライドしてお知らせパネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳に登録されている名前が表示されます。
◎ 着信音が鳴っているときに[+]／[−]を押すと、着信音が消音になり、バイブレータや着信ランプを停止することができます。
◎ ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断され、録音していたデータは保存されます。
◎ 本体メモリの空き容量が少ない状態では、着信時にシンクコール画面(ポップアップ)が表示されないことがあります。
その場合は、お知らせパネルから着信応答を行うか、不要なアプリを削除して本体メモリの空き容量を増やしてください。また、メモリ負荷の高いアプリなどを長時間使用する場合は、事前に「表示している画面のまま受話する」を「OFF」に設定しておくことをおすすめします。

■着信中のメニューを利用する

1 着信中に[⋮]を下にスライド

バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、[⠿]→[⋮]と操作します。「表示している画面のまま受話する」を「OFF」に設定している場合は、連絡先をタップ→[⋮]と操作します。

2

伝言メモ	▶P.37「着信に伝言メモで応答する」
着信転送	かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号、またはお留守番サービスへ転送します。 ・あらかじめ、「選択転送」で転送先を設定しておいてください。
サイレント	着信音が消音になり、バイブレータや着信ランプを停止します。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。

・「音声・伝言メモ(録音機能)」にマイクの権限が許可されていないと、伝言メモ/音声メモの利用ができません。
アプリに権限を許可する方法について詳しくは、「アプリの権限を設定する」(▶P.27)をご参照ください。
「お知らせパネル」に表示される「伝言メモを利用するには」をタップしてマイクの権限を許可することもできます。お知らせパネルについて詳しくは、「お知らせ/ステータスパネルを利用する」(▶P.25)をご参照ください。

■バックライト消灯中、ロック画面表示中に着信した場合

1 着信中に[⋮]を下にスライド→[伝言メモ]

■バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合

1 着信中に[⠿]→[⋮]→[伝言メモ]

「表示している画面のまま受話する」を「OFF」に設定している場合は、連絡先をタップ→[⋮]→[伝言メモ]と操作します。

◎伝言メモ録音中に「受話音声」をタップすると、相手の方の音声のON/OFFを切り替えられます。

着信を拒否する

着信を拒否すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

■バックライト消灯中、ロック画面表示中に着信した場合

1 着信中に「着信拒否」を下にスライド

■バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合

1 着信中に[拒否]

「表示している画面のまま受話する」を「OFF」に設定している場合は、画面上部に表示される「拒否」をタップします。

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る

クイック返信すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

■バックライト消灯中、ロック画面表示中に着信した場合

1 着信中に「クイック返信」を下にスライド

2 送信するメッセージを選択

■バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合

1 着信中に[⠿]→[クイック返信]

「表示している画面のまま受話する」を「OFF」に設定している場合は、画面上部に表示される連絡先をタップ→[クイック返信]と操作します。

2 送信するメッセージを選択

◎送信するメッセージで「カスタム返信を作成...」をタップすると、SMSを作成してメッセージを送ることができます。
◎送信するメッセージを、あらかじめ「通話設定」の「クイック返信」で編集することができます。
◎相手の方の電話番号が通知されない場合はクイック返信できません。また、通信環境によってはクイック返信できない場合があります。
◎送信するメッセージを選択するまでは、相手の方には呼出音が流れます。SMSを送信する前に伝言メモが応答する場合があります。

シンクコールについて

操作画面のまま、通話することができます。さらに、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用して、通話相手と表示中のスマホの画面、カメラで映している映像、お互いの位置情報、手書きの文字や絵をリアルタイムで共有する機能です。

1 通話中に[◔]をタップ

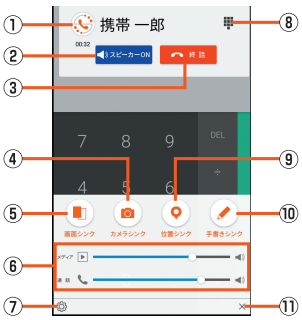
シンクコール画面が表示されます。

2 [画面シンク]/[カメラシンク]/[位置シンク]/[手書きシンク]

接続要求画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 画面に従って操作

■シンクコール画面の見かた



《シンクコール画面》

① **シンクコール画面表示切替**
タップするごとにシンクコール画面の表示/非表示(アイコンのみ表示)を切り替えます。ドラッグして移動できます。
② **スピーカーON/OFF**
③ **終話**
④ **カメラシンク**
カメラで映している映像を相手に送信します。
⑤ **画面シンク**
表示中のスマホの画面を相手に送信します。
⑥ **音量**
メディアの再生音量や通話音量を調節します。
⑦ **設定**
シンクコール設定画面を表示します。
⑧ **通話中画面表示**
⑨ **位置シンク**
お互いの位置情報を地図上に表示します。
⑩ **手書きシンク**
画面上で手書きの文字を共有します。
⑪ **シンクコール画面を閉じる**
通話したままシンクコール画面を非表示にします。

◎シンクコール画面を非表示(アイコンのみ)にしても通話は終了しません。通話を終了するにはシンクコール画面を表示させ、「終話」をタップしてください。
◎Bluetooth®イヤホンをご利用中、シンクコールアプリでは音量を変更できない場合があります。
◎シンク機能は通話中かつ、通話相手もauスマートフォン(au VoLTE対応)(1対1)の場合にご利用いただけます。基本機能は通話相手がシンクコール非対応でもご利用いただけます。
◎シンク機能のご利用によるデータ通信は相互にパケット通信料がかかります。
◎地デジ放送は画面シンクで共有することはできません。
◎シンク機能は、お客さまのご利用環境、回線の状況などにより、表示が乱れる場合や接続しにくくなる場合があります。

シンクコールを設定する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[シンクコール設定]

2 ※下記以外にバージョン情報を確認できます。

シンクコールについて	シンクコールの使いかたについて確認できます。
シンクコールを有効にする	シンクコールを利用するかどうかを設定します。
表示している画面のまま受話する	バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合にシンクコール画面(ポップアップ)を表示するかどうかを設定します。
手書きシンクの自動保存	手書きシンクを利用して終了した際に、手書きシンクした画像を自動で本体メモリに保存するかどうかを設定します。
通話終了後のお知らせ	通話相手がシンクコールに対応していて、電話帳に登録されている場合、通話終了時にシンクコールのお知らせを表示します。
利用規約	シンクコールの利用規約を表示します。
プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示します。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

伝言メモを利用する

伝言メモを設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[音声・伝言メモ]→[伝言メモ設定]

2 [マナーモード連動]／[ON]

◎ 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にスライドし、伝言メモの通知をタップすると、伝言メモリスト画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。
◎ 録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。10件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモが、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、伝言メモで応答しません。
◎ 録音した伝言メモの再生について詳しくは、「伝言メモ／音声メモを再生する」(▶P.84)をご参照ください。

■応答メッセージを設定する

伝言メモで応答したときに流れるメッセージを設定します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[音声・伝言メモ]→[応答メッセージ設定]

2 応答メッセージを選択
項目をロングタッチ→[再生]と操作すると、メッセージを再生します。

■応答時間を設定する

伝言メモで応答するまでの時間を設定します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[音声・伝言メモ]→[応答時間設定]

2 応答時間を設定→[設定]

自分の電話番号を確認する

プロフィールを確認する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[プロフィール]

プロフィールを編集する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[プロフィール]→[編集]
プロフィール編集画面が表示されます。

2 必要な項目を入力

3 [保存]→[はい]

◎ プロフィール編集について注意事項は、電話帳登録と同様です。詳しくは、「電話帳に登録する」(▶P.40)をご参照ください。

電話帳

電話帳に登録する 40
グループを設定する 40
電話帳の一覧を利用する 40
電話帳の登録内容を利用する 41

電話帳に登録する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話帳]
連絡先の登録件数が0件の場合は、電話帳移行画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 電話帳を移行せずにご利用になる場合は、「いいえ」をタップしてください。

2 [⋮]→[新規登録]
アカウントを設定している場合、連絡先の登録先を選択してください。

3 必要な項目を入力

4 [保存]→[はい]

◎「▼」をタップすると表示されていない入力項目が表示されます。
◎「＋」/「×」をタップすると項目を追加/削除できます。
◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎ 項目によっては種別を変更できる場合があります。項目の左側に表示されているアイコンをタップして種別を選択してください。種別変更時に「カスタム」をタップすると、入力した文字列を種別として登録できます。
◎ 名前に半角英数字が含まれる場合、電話帳では名、姓の順に表示されることがあります。
◎ GPS情報を登録するには、あらかじめ「位置情報」を「ON」に設定する必要があります。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音設定」は動作しません。
◎ 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

グループを設定する

グループごとに名前、アイコン、着信音や着信ランプなどを設定できます。
- Googleアカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。「Myコンタクト」はグループ名やアイコンの変更、グループの削除ができません。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話帳]→[⋮]→[グループ追加・編集]
グループ追加・編集画面が表示されます。
アカウントを設定している場合、グループの設定先を選択してください。

2

追加	グループを追加します。
削除	グループを削除します。
並べ替え	グループの表示位置を変更します。 • 移動するグループをロングタッチ→移動する位置にドラッグして指を離すと、グループを移動できます。

◎ グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、グループの音声着信の設定は動作しません。
◎ 個別の連絡先に「着信音設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
◎ 1つの連絡先が複数のグループに登録されている場合は、グループ追加・編集画面で上に表示されているグループの設定が優先されます。

■ グループを編集する

1 グループ追加・編集画面→グループを選択

2

グループ編集	グループの設定内容を変更します。
メンバー登録	グループに連絡先を登録します。
グループ削除	グループを削除します。

電話帳の一覧を利用する

電話帳一覧画面を表示する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話帳]
電話帳一覧画面の表示方法が「グループ」の場合はグループ一覧画面が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

■ 電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面(名前順)》

① **アカウント**
設定しているアカウントが表示されます。
② **検索アイコン**
タップすると、「検索設定」で設定した項目で連絡先を検索できます。
③ **連絡先**
選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。
④ **電話帳/お気に入り表示切替**
⑤ **電話**
タップすると「電話」を起動します。
⑥ **タブ**
タップすると、表示する連絡先を切り替えます。
⑦ **シンクコール対応電話番号アイコン**
シンク機能を利用できる連絡先に表示されます。
- シンクコールについて詳しくは、「シンクコールについて」(▶P.37)をご参照ください。

⑧ **顔写真**
⑨ **登録先アイコン**
すべてのアカウントの連絡先を表示している場合、登録先をアイコンで表します。
⑩ **統合アイコン**
複数の連絡先を統合した連絡先に表示されます。

連絡先を統合する

複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめて表示することができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話帳]→統合する連絡先をロングタッチ→[統合]
登録内容の類似した連絡先の一覧が表示されます。
「一覧から選択」をタップすると、電話帳一覧画面から連絡先を選択できます。

2 連絡先を選択

3 [はい]

◎ 連絡先を統合すると、個別の連絡先に設定されているグループ情報も統合されて、各グループに表示されます。

■ 統合した連絡先を分割する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話帳]→分割する連絡先をロングタッチ→[分割]→[はい]

電話帳一覧画面／グループ一覧画面のメニューを利用する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話帳]

電話帳一覧画面の表示方法が「グループ」の場合はグループ一覧画面が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

2 [⋮]

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

プロフィール	プロフィールを表示します。
新規登録	▶P.40「電話帳に登録する」
送信	連絡先を他の機器に送信します。
削除	連絡先を削除します。
全件削除	連絡先をすべて削除します。
表示方法切替	電話帳一覧画面の表示方法を切り替えます。
グループ追加・編集	▶P.40「グループを設定する」
メンバー登録	グループに連絡先を登録します。
グループ編集	グループの設定内容を変更します。
グループ削除	グループを削除します。
連絡先シークレット設定	シークレットモードを一時解除(▶P.86)したときに表示されます。
設定・管理	▶P.41「電話帳を設定・管理する」

電話帳を設定・管理する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話帳]→[⋮]→[設定・管理]

2

登録先アカウント	連絡先を登録するアカウントを設定します。
表示するアカウント	表示するアカウントを切り替えます。
一覧表示内容	チャットのステータスやSNSの最新コメントを表示するかどうかを設定します。
検索設定	検索方法を設定します。
1件詳細表示設定	電話帳詳細画面の表示方法を設定します。
複数削除時暗証番号	連絡先を選択削除／全件削除するときに、暗証番号を入力するかどうかを設定します。
アカウント間コピー	設定しているアカウント間で連絡先をコピーします。
ストレージからインポート	microSDメモリカードの電話帳のバックアップデータを読み込みます。
ストレージへエクスポート	電話帳の登録内容をmicroSDメモリカードにバックアップします。
メモリ登録件数	表示している電話帳の連絡先登録件数を表示します。

電話帳の登録内容を利用する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話帳]→連絡先を選択

■ 電話帳詳細画面の見かた



《電話帳詳細画面》

① 顔写真

② 登録内容

登録内容を確認／利用できます。

③ 名前

④ お気に入り登録／解除

⑤ 連絡先編集

⑥ シンクコール対応電話番号アイコン

シンク機能を利用できる連絡先に表示されます。

- シンクコールについて詳しくは、「シンクコールについて」(▶P.37)をご参照ください。

⑦ アクションアイコン

タップすると次の機能を呼び出すことができます。

:選択した電話番号に電話をかけます。
:選択した電話番号を宛先としてSMSを作成します。
:選択したメールアドレスを宛先としてメールを作成します。
:選択した住所をもとに地図を表示します。
:選択したURLのサイトを表示します。

メール

Eメールを利用する 44
Eメールについて 44
Eメールの表示モードについて 44
Eメールを送る 46
Eメールを受け取る 48
新着メールを問い合わせて受信する 48
Eメールを検索する 48
Eメールをフォルダモードで確認する 49
Eメールを会話モードで確認する 51
Eメールを設定する 52
バックアップしたEメールを復元する 53
迷惑メールフィルターを設定する 54
SMSを利用する 55
SMSについて 55
SMSを送る 55
SMSを受け取る 55
SMSを返信／転送する 55
SMSを保護／保護解除する 55
SMSの電話番号を電話帳に登録する 56
SMSを検索する 56
SMSを削除する 56
SMSを設定する 56
PCメールを利用する 57
PCメールのアカウントを設定する 57
PCメールを送る 57
PCメールを受け取る 58
PCメール内容表示画面の見かた 58
Gmailを利用する 58
Gmailについて 58

Eメールを利用する

Eメールについて

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◎ Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかることがあります。
◎ ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アプリ]で「Eメール」アプリを選択し、「データを消去」を行った場合、保存されたEメールのデータや設定情報がすべて削除されます。事前にデータお預かりアプリでバックアップを行ってください。

Eメールの初期設定について

◎ 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行うと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
◎ 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
◎ Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスを変更する」(▶P.53)をご参照ください。
◎ Eメールの文字サイズを変更可能です。「文字フォント設定」(▶P.81)でサイズを変更ください。
◎ データ添付、添付データ保存、バックアップ／復元、着信音設定時などにおいて、確認ダイアログ(Eメールに必要な許可のお願い)が表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

Eメールの表示モードについて

表示モードを切り替える

指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードと、相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面→[ ]

2 [切替]

表示モードが切り替わります。



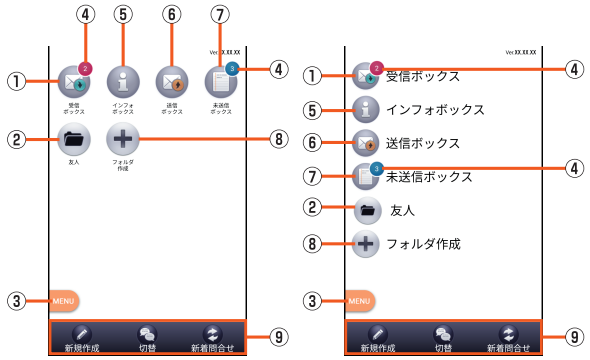
《フォルダモード》　《会話モード》

◎ 本書ではフォルダモードでの操作を基準に説明しています。会話モードでは、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

フォルダモードでの画面の見かた

フォルダー覧画面の見かた

フォルダー覧画面には、「受信ボックス」や「送信ボックス」、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。



《フォルダー覧画面》　《フォルダー覧画面(ツリー形式)》

① **受信ボックス**
② **作成したフォルダ**
③ **メニューボタン**
④ **未読・未送信メール件数**
⑤ **インフォボックス**
インフォボックスメールを表示できます。
⑥ **送信ボックス**
⑦ **未送信ボックス**
⑧ **フォルダ作成**
⑨ **アクションバー**

Eメール一覧画面の見かた



《受信メール一覧画面》　《送信メール一覧画面》



《未送信メール一覧画面》　《フォルダメール一覧画面》

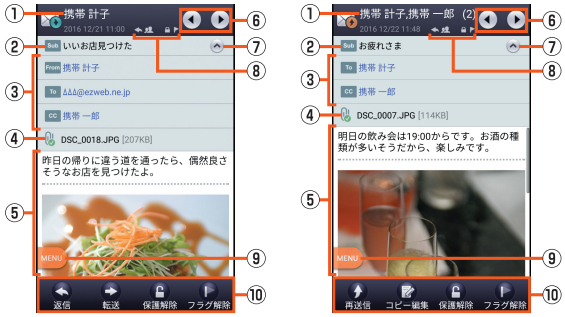
① ●:**未読のEメール**
② **件名**
③ **宛先／差出人の名前またはメールアドレス**
:電話帳に登録があるアドレスと送受信した場合
:電話帳未登録のアドレスと送受信した場合
※ や の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.52)で変更することができます。
「 」をタップすることで背景色を変更することができます。
背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.52)で戻すことができます。
電話帳に登録があるメールアドレスの場合には、登録された名前／写真が表示されます。未登録のメールアドレスの場合にはメールアドレスが表示されます。
受信したメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
- 電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

④ **フラグ設定Eメール一覧表示切替**
一覧画面内のすべてのEメールとフラグ設定Eメール一覧を切り替えて表示できます。
⑤ **2行表示／本文プレビュー表示切替**

⑥ フラグ
:フラグ設定Eメール
:フラグ未設定Eメール
⑦ アイコン
:返信したEメール
:転送したEメール
:返信／転送したEメール
:添付データあり
:保護されたEメール
:送信に失敗したEメール
:送信予約Eメール
:自動再送信Eメール
⑧ メニューボタン
⑨ アクションバー
⑩ 受信／送信切替スライダー
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

◎ 横表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》　《送信メール詳細表示画面》

① 宛先／差出人の名前またはメールアドレス
② 件名
③ From :差出人の名前またはメールアドレス
To ／ CC ／ BCC :宛先の名前またはメールアドレス
④ :保存された添付データ
:受信に失敗した添付データ
:保存されたインライン添付データ
⑤ 本文表示エリア
ピンチアウト／ピンチインすると本文表示を拡大／縮小できます。
⑥ 前のEメール／次のEメールを表示
⑦ 詳細情報の表示／非表示
⑧ アイコン
:送信に失敗したEメール
:返信したEメール
:転送したEメール
:返信／転送したEメール
:複数の宛先あり
BCC :BCCの宛先で受信したEメール
:送信予約しているEメール
:自動再送信するEメール
:保護されたEメール
:フラグ設定Eメール
⑨ メニューボタン
⑩ アクションバー

会話モードでの画面の見かた

■ スレッド一覧画面の見かた

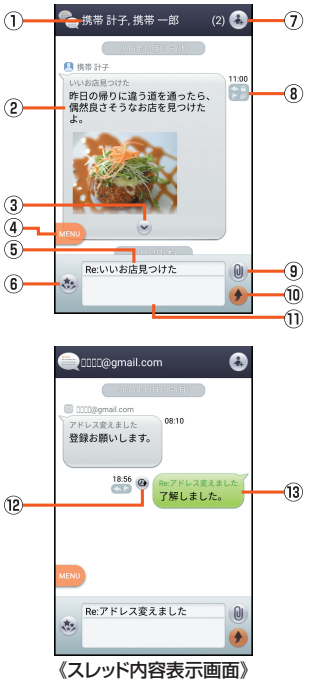
Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。



《スレッド一覧画面》

① すべて表示／お気に入り表示切替
すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。
② スレッド
:電話帳に登録があるアドレスと送受信した場合
:電話帳未登録のアドレスと送受信した場合
※ や の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.52)で変更することができます。
「 」をタップすることで背景色を変更することができます。
背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.52)で戻すことができます。
電話帳に登録があるメールアドレスの場合には、登録された名前／写真が表示されます。未登録のメールアドレスの場合にはメールアドレスが表示されます。
③ インフォボックス
インフォボックスメールを表示できます。
新着／未読メールがある場合は、右上に合計の件数が表示されます。
④ N (赤色):新着Eメールあり
(青色):未読Eメールあり
⑤ (黄色):お気に入り
(灰色):お気に入り解除
⑥ メニューボタン
⑦ アクションバー

■ スレッド内容表示画面の見かた



《スレッド内容表示画面》

① スレッド名称(相手先)
電話帳未登録の場合は、メールアドレスが表示されます。
② 受信したEメール
③ 続き表示ボタン
本文をすべて表示するときに使用します。
閉じるときは「 」をタップします。
④ メニューボタン
⑤ 件名入力欄
「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。
⑥ D絵文字
デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。
⑦ 宛先一覧表示
送受信しているアドレスを一覧で表示します。宛先を追加・削除すると別のスレッドとして表示されます。

⑧ **アイコン**
「Eメール詳細表示画面の見かた」(▶P.45)をご参照ください。
⑨ **添付**
データを添付するときに使用します。
⑩ **送信**
メール送信を実行します。
⑪ **本文入力欄**
メールの本文を入力します。
⑫ **:送信予約しているEメール**
:自動再送信するEメール
:送信に失敗したEメール
⑬ **送信したEメール／送信予約中のEメール**

Eメールを送る

Eメールを送信する

■ フォルダモードでEメールを送信する

1 ホーム画面→[ ]

2 [新規作成]
送信メール作成画面が表示されます。

3 [ ]
「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

4 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

アドレス帳引用	電話帳のメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用	受信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。 • [MENU]→[削除]→メールアドレスを選択→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	送信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。 • [MENU]→[削除]→メールアドレスを選択→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け	コピーしたメールアドレスを貼り付けます。

5 件名を入力

6 本文を入力

7 [完了]→[送信]→[送信]

◎ デコレーションアニメには対応しておりません。
◎ 件名や本文には、半角カナおよび半角記号(ー(長音)゛(濁点)゜(半濁点)、。・「」)は入力できません。
◎ 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎ 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
◎ 絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換されることがあります。
◎ 「送信時確認表示」で送信時の確認画面を非表示にすることができます。
◎ 送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを「未送信ボックス」に保存できます。
◎ あらかじめ「自動再送信」を有効にしておくと、Eメールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、「送信予約」を行うと、日時指定送信、あるいは本製品が電波の届かない場所でメールを送信したい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

■ 会話モードでEメールを送信する

1 ホーム画面→[ ]→[切替]
スレッド一覧画面が表示されます。

2 [新規作成]
宛先入力画面が表示されます。
• 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合は、スレッドを選択してEメールを送信することができます。その場合は、手順5へ進みます。

3 [ ]
宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「フォルダモードでEメールを送信する」の手順4をご参照ください。
「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。
• 入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

4 [作成]
スレッド内容表示画面が表示されます。

5 件名を入力

6 本文を入力

7 [ ]→[送信]

■ 宛先を追加・削除する

■ 宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面／宛先入力画面→未入力のアドレス入力欄の[ ]
宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「フォルダモードでEメールを送信する」の手順4をご参照ください。
「宛先を追加」をタップしてアドレスを直接入力しても、宛先を追加できます。

■ 宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面／宛先入力画面→削除するアドレス入力欄の[ ]→[削除]／[OK]

◎ フォルダモードでは「 」をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先は種類を変更することはできません。

送信予約をする

1 ホーム画面→[ ]

■ フォルダモードで送信予約する場合

2 [新規作成]→メールを作成

3 [送信予約]→[OK]

4 送信する日付を設定→[設定]

5 送信する時間を設定→[設定]
未送信ボックスに が付いた送信予定のEメールが保存されます。

■ 会話モードで送信予約する場合

2 [切替]
スレッド一覧画面が表示されます。

3 スレッドを選択→メールを作成
過去に送受信していない相手先にEメールを送信する場合は、Eメールを新規作成してください。

4 [MENU]→[送信予約]→[OK]

5 送信する日付を設定→[設定]

6 送信する時間を設定→[設定]
スレッド内容表示画面に が付いた送信予定のEメールが表示されます。

◎ Eメールの自動送信は20件まで設定できます。
◎ 送信予約が設定されているメールを編集したり、指定した日時を変更しようとすると、いったん送信予約は解除されます。
◎ 電波状態などにより、指定した日時に送信できない場合があります。
◎ 指定した日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
◎ 日時指定したメールが国際ローミング中に送信された場合、料金が高額となることがありますのでご注意ください。
◎ 電波が届かない状態で「送信予約」をタップすると、「圏内復帰時に送信」または「日時指定」をタップすることができます。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 ホーム画面→[ ]→[新規作成]→[添付する]
会話モードではスレッド内容表示画面で「 」をタップします。

2

ギャラリー(静止画)	静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	動画データを添付します。
カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
カメラ(動画)	動画を撮影して添付します。
ストレージ	ファイル種別を選択して本体メモリまたはmicroSDメモリカードのデータを添付します。
その他	その他のデータを添付します。

◎ 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
1データあたり2MB以上の静止画データ(JPEG、PNG)を添付、または合計で2MB以上のデータを添付する際、Eメールの送信時に静止画データ(JPEG、PNG)のサイズを縮小する場合があります。静止画データ(JPEG、PNG)のサイズをさらに縮小したい場合には、「画像サイズをケータイ用に変更」を有効にしてください。
受信側の端末によっては、受信できない、または、正しく表示できない場合があります。
◎ フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄を選択すると添付したデータを表示できます。また、「 」をタップすると添付データを削除できます。
◎ 会話モードではデータを添付した後に、添付データを選択すると添付したデータを表示／削除できます。静止画を添付した場合は、「 」をタップすると削除できます。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 ホーム画面→[ ]→[新規作成]→本文入力欄を選択→[D絵文字]
会話モードではスレッド内容表示画面で「 」をタップします。

■一覧から入力する場合

2 カテゴリを選択
「ストレージ」を選択した場合は、本体メモリの絵文字を利用できます。

3 デコレーション絵文字を選択

■素材を探す場合

2 [D絵文字を探す]

3

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■D絵文字パレットのカテゴリを追加する場合

2 [カテゴリ追加]

3 カテゴリ名称を入力→[作成]

4 作成したカテゴリに表示するデコレーション絵文字を選択→[追加]

■カテゴリ順序の入替えや編集を行う場合

2 [カテゴリ設定]→[編集]

3 [ ]を移動したい位置までドラッグ→[完了]
追加したカテゴリは[削除]により削除ができます。
・カテゴリを削除してもデコレーション素材の元データは削除されません。

本文入力中にできること

1 ホーム画面→[ ]→[新規作成]
会話モードではスレッド内容表示画面を表示します。

2 本文入力欄を選択→[MENU]
「MENU」が表示されていない場合は、本文入力欄をタップして表示します。

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

削除	Eメールを削除します。
検索	表示中のスレッド内のEメールを検索します。 ・詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.48)をご参照ください。
送信予約	▶P.46「送信予約をする」
アドレス帳引用	電話帳から、電話番号やメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	自分の電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください。詳しくは、「送信・作成に関する設定をする」(▶P.52)をご参照ください。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾してメールを作成することができます。

■本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送信できます(デコレーションメール)。

1 ホーム画面→[ ]

2 [新規作成]
送信メール作成画面が表示されます。

3 本文を入力

4 [装飾]

5 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→[ ]／[ ]で終了位置を選択

6 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

文字サイズ	文字の大きさを変更します。
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	本体メモリまたはmicroSDメモリカードに保存された画像やアルバムなどの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。

7 [完了]

◎ 本文には、最大20件(合計100KB以下)の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
◎ データを添付する場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
◎ 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
◎ 手順6で[MENU]→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。
※「MENU」が表示されていない場合は、本文入力欄をタップして表示します。
◎ 異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎ デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
◎ 会話モードでは、本文を装飾できません。

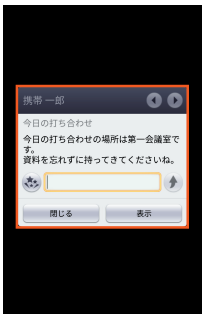
Eメールを受け取る

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が完了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知も「通知設定」で有効／無効を切り替えることができます。

- 画面消灯中にEメールを受信すると画面が点灯します。
- ロック画面に通知ポップアップを表示することができます。
  ※お買い上げ時は無効に設定されています。



《通知ポップアップ》

- ポップアップ通知が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ステータスバーには が表示されます。
  お知らせパネルに名前、メールアドレス、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ホーム画面→[ ]

フォルダー一覧画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるフォルダには ●（赤色）と件数が表示され、未読Eメールがあるフォルダには ●（青色）と件数が表示されます。

3 [受信ボックス]／フォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

4 Eメールを選択

Eメール詳細表示画面が表示されます。

◎ Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかることがあります。
◎ 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 ホーム画面→[ ]→[受信ボックス]／フォルダを選択→Eメールを選択

2 添付データを選択→[表示]

◎ 通常のEメール（テキストメール）では、添付データが本文中に表示される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※データによっては、表示されない場合があります。

添付データを保存する

Eメールに添付されたデータを本体メモリまたはmicroSDメモリカードに保存できます。

1 ホーム画面→[ ]→[受信ボックス]／フォルダを選択→Eメールを選択→添付データを選択

2 [ストレージへ保存]

3 [保存]

◎ 添付データを保存する保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。

差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 ホーム画面→[ ]→[受信ボックス]／フォルダを選択→Eメールを選択

会話モードからスレッド内容表示画面を表示しても操作できます。

■メールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のメールアドレスを選択

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

Eメール作成	選択したメールアドレスを宛先にしてメールを作成します。
アドレス帳登録	選択したメールアドレスを電話帳に登録します。
アドレスコピー	選択したメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したメールアドレスをフォルダの振り分け条件に登録します。 ・「フォルダロック」を設定したフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 ・追加した後、すぐに振り分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの拒否リストに登録します。 ・迷惑メールフィルターについて詳しくは、「迷惑メールフィルターを設定する」（▶P.54）をご参照ください。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

■件名をコピーする場合

2 件名を選択→[コピー]

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号を選択

3

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 ・au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、次のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。
アドレス帳登録	選択した電話番号を電話帳に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLを選択

3

開く	選択したURLのページを表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

◎ 本文中のメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面→[ ]

2 [新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

◎ 会話モードではスレッド内容表示画面で上にスライドしても新着メールを問い合わせて受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面→[ ]→[MENU]→[全検索]

ホーム画面→[ ]→ボックス／フォルダを選択→[MENU]→[検索]と操作すると、ボックス／フォルダ内のEメールを検索できます。

2 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3 [ ]／[ ]

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
フォルダー一覧画面から検索する場合、「フォルダロック」を設定したフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

◎「 」をタップすると、キーワード検索以外にも検索条件を選択したり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールをフォルダモードで確認する

Eメールをフォルダモードで表示する

受信したEメールは、「受信ボックス」に保存されます。送信済みのEメールは「送信ボックス」に保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振り分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。
送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは「未送信ボックス」に保存されます。

1 ホーム画面→[ ]
フォルダー覧画面が表示されます。
- 「受信ボックス」に新着メールがある場合は 1 (赤色、数字は件数)が表示されます。受信メール一覧画面で新着メールを確認すると、アイコンが青色に変わります。未読メールがない場合は、アイコンは表示されません。
- 「未送信ボックス」にEメールがある場合は、 1 (青色、数字は件数)が表示されます。送信に失敗したEメールがある場合は、アイコンが赤色で表示されます。

■受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]／フォルダを選択
受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールを選択
受信メール詳細表示画面が表示されます。
「返信」:返信のEメールを作成
「転送」:転送のEメールを作成
「保護」／「保護解除」:Eメールを保護／保護解除
「フラグ」／「フラグ解除」:Eメールにフラグ付加／フラグ解除
:前のEメールを表示
:次のEメールを表示

■送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]／フォルダを選択
送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールを選択
送信メール詳細表示画面が表示されます。
「再送信」:同じEメールをもう一度送信
「コピー編集」:コピーして編集
「保護」／「保護解除」:Eメールを保護／保護解除
「フラグ」／「フラグ解除」:Eメールにフラグ付加／フラグ解除
:前のEメールを表示
:次のEメールを表示

■「未送信ボックス」のEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]
未送信メール一覧画面が表示されます。
- 送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。
- 日時指定した送信予約メールをロングタッチ→[送信予約情報]と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、いったん送信予約は解除されます。
- 送信予約メールをロングタッチ→[送信予約解除]→[解除]と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールを選択
未送信メールを選択した場合、未送信メール詳細表示画面が表示されます。送信予約メールを選択した場合は、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。
「送信」:宛先が入力されているEメールを送信
「編集」:Eメールを編集
「コピー編集」:保護されたEメールをコピーして編集
「保護」／「保護解除」:Eメールを保護／保護解除
「フラグ」／「フラグ解除」:Eメールにフラグ付加／フラグ解除
:前のEメールを表示
:次のEメールを表示

◎宛先が不明で相手の方に届かなかったEメールは、「送信ボックス」に保存されます。
◎「受信ボックス」の容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメールは削除されません。
◎「受信ボックス」のすべてのメールが未読の状態で「受信ボックス」の容量を超えると、新着メールを受信できません。
◎「送信ボックス」／「未送信ボックス」の容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメール、送信予約メールは削除されません。

■Eメールを個別に操作する

1 Eメール一覧画面→Eメールをロングタッチ

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

返信	Eメールに返信します。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。
全員に返信	同報されている全員に返信します。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	転送するEメールを作成します。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
送信	未送信のEメールを送信します。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。
保護／保護解除	Eメールを保護／保護解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグ付加／フラグ解除します。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認／編集します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 • あらかじめ「フォルダ作成」でフォルダを作成してください。
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの拒否リストに登録します。 • 迷惑メールフィルターについて詳しくは、「迷惑メールフィルターを設定する」(▶P.54)をご参照ください。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

Eメール一覧画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→[ ]
フォルダー覧画面が表示されます。

2 ボックス／フォルダを選択
「Eメールを検索する」(▶P.48)の検索結果一覧画面でも操作できます。

3 [MENU]

4 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

削除	Eメールを選択して削除します。 • 保護されたEメールは選択できません。
検索	表示中のボックス／フォルダ内のEメールを検索します。 • 詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.48)をご参照ください。
移動	Eメールを選択して移動します。 • あらかじめ「フォルダ作成」でフォルダを作成してください。
保護／解除	Eメールを選択して保護／保護解除します。 • 受信メールは、「受信ボックス」容量の50%または1,750件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、「送信ボックス」容量の50%または750件まで保護できます。
フラグ	Eメールを選択してフラグ付加／フラグ解除します。
迷惑メール報告	Eメールを選択して迷惑メールとして報告します。
フォルダ編集	「受信ボックス」や作成したフォルダを編集します。 • 詳しくは、「フォルダを作成／編集する」(▶P.50)をご参照ください。

Eメール詳細表示画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→[ ]
フォルダー覧画面が表示されます。

2 ボックス／フォルダを選択→Eメールを選択→[MENU]
「MENU」が表示されていない場合は、本文表示エリアをタップして表示します。

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

削除	Eメールを削除します。
転送	転送するEメールを作成します。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
移動	Eメールを移動します。 ・あらかじめ「フォルダ作成」でフォルダを作成してください。
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 ・文字列の開始位置を選択→[選択開始]→[ ]／[ ]で選択範囲を指定→[コピー]と操作するとコピーできます。 ・Eメール詳細表示画面→本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 ・本文選択画面→ダブルタップ→「 」／「 」をドラッグして選択範囲を指定→[コピー]でも同様に操作できます。 ・「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 ・絵文字や画像もコピーできます。 ・一部の装飾(文字位置／効果、背景色)はコピーされません。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。
文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 ・変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。

フォルダー覧画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→[ ]
フォルダー覧画面が表示されます。

2 [MENU]

3

全検索	▶P.48「Eメールを検索する」
フォルダ編集	「受信ボックス」や作成したフォルダを編集します。 ・詳しくは、「フォルダを作成／編集する」(▶P.50)をご参照ください。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 ・「フォルダロック」を設定したフォルダは選択できません。 ・フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振り分け条件で、Eメールの再振り分けを行います。 ・「フォルダロック」を設定したフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
同期設定	タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した後で、本製品とタブレットを同期するための設定を行います。

同期設定について
◎ タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した場合、本製品とタブレットを同期するため、メールの保存先が「端末(ローカル)」から「メールサーバ」に変更となります。
◎ 同期設定前に送受信したメールがある場合、該当のメールはすべて「過去メール」ボックスに保存されます。
◎ その他の変更点については、auホームページをご参照ください。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振り分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

1 ホーム画面→[ ]
フォルダー覧画面が表示されます。

2 [フォルダ作成]
フォルダ編集画面が表示されます。

3 フォルダ名を入力
フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

4 各項目を設定→[保存]

■フォルダアイコンを変更する

1 フォルダ編集画面→[ ]

■アイコンから設定する場合

2 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]

3 各項目を設定→[保存]

■画像から設定する場合

2 [ギャラリーから写真を選択]

3 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]

4 各項目を設定→[保存]

◎ 最大20個のフォルダを作成できます。

■フォルダごとに着信通知を設定する

「受信ボックス」や作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレータ、着信ランプの色を設定できます。

1 フォルダ編集画面→[フォルダ別設定]
「標準設定」をタップすると、「通知設定」で設定した内容でEメールの受信をお知らせします。

2

着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 ・「ストレージから探す」をタップした場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯させるかどうかを設定します。

3 [OK]→[保存]

■フォルダにロックをかける

「受信ボックス」や作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。
あらかじめ[Eメール設定]→[プライバシー設定]→[パスワード設定]でフォルダロック解除のパスワードを設定してください。

1 フォルダ編集画面→[フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]

2 [保存]

◎「フォルダロック」を設定中に会話モードに表示モードを切り替える場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■フォルダを並べ替える

1 フォルダー覧画面→移動するフォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

◎ 作成したフォルダ以外は移動できません。

■ フォルダに振り分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振り分け条件を設定できます。設定した振り分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

■振り分け条件を設定する場合

1 フォルダ編集画面→[振分け条件追加]→振り分け条件の種類をタップ

2

メールアドレス	メールアドレスを振り分け条件に登録します。
ドメイン	ドメインを振り分け条件に登録します。
件名	件名を振り分け条件に登録します。 ・件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

3 振り分け条件を入力→[OK]

メールアドレス／ドメインで振り分ける場合は、「 ⊕ 」をタップすると、入力方法を選択して登録できます。

4 [保存]

■アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振り分け条件に設定する場合

1 フォルダ編集画面→[アドレス帳登録外]／[不正なメールアドレス]→[保存]

◎ 振り分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、メールの振り分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに振り分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
◎ 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
◎ 同一の振り分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
◎ フォルダ編集画面で、追加した振り分け条件の右横にある「 × 」をタップして、振り分け条件を編集したり、削除することができます。
◎ 振り分けの対象となるメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
◎ 一致する振り分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To＞Cc＞Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞…＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにEメールをスレッドにまとめて表示できます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面→[ ]→[切替]

スレッド一覧画面が表示されます。
・新着Eメールがあるスレッドには N （赤色）、未読Eメールがあるスレッドには （青色）が表示されます。

2 確認するスレッドを選択

スレッド内容表示画面が表示され、Eメールが確認できます。

■ Eメールを個別に操作する

1 スレッド一覧画面→スレッドを選択

2 操作するEメールをロングタッチ

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
転送	転送するEメールを作成します。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	Eメールを保護／保護解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグ付加／フラグ解除します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	画像を保存します。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。

■ スレッド一覧画面のメニューを利用する

1 スレッド一覧画面→[MENU]

2

削除	スレッドを選択して削除します。 ・スレッド内のEメールはすべて削除されます。 ・スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。 ・削除するスレッドをロングタッチ→[削除]→[削除]と操作しても削除できます。
全検索	Eメールを検索します。 ・詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.48)をご参照ください。
件名を非表示／件名を表示	件名を表示するかどうかを設定します。
同期設定	タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した後で、本製品とタブレットを同期するための設定を行います。

■ スレッド内容表示画面のメニューを利用する

1 スレッド一覧画面→スレッドを選択→[MENU]

2

削除	Eメールを削除します。
検索	表示中のスレッド内のEメールを検索します。 ・詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.48)をご参照ください。

Eメールを設定する

Eメール設定をする

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[MENU]→[Eメール設定]**
Eメール設定画面が表示されます。

3

表示設定	▶P.52「表示に関する設定をする」
送信･作成設定	▶P.52「送信･作成に関する設定をする」
通知設定	**基本通知設定** ▶P.52「通知に関する設定をする」 **個別通知設定** ▶P.53「個別の通知に関する設定をする」
プライバシー設定	**パスワード設定／パスワード変更** フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。 **パスワードリセット** パスワードをリセットします。 ・パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。 **シークレット** シークレット機能の有効／無効を設定します。 ・表示されるシークレット機能の説明をよくお読みになりご利用ください。 ・シークレット機能を有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ･復元	**メールデータ復元** ▶P.53「メールデータを復元する」 **まるごと復元** ▶P.53「まるごとバックアップデータを復元する」
改善情報取得･auアプリサイドメニュー連携設定	**改善情報送信設定** Eメールアプリ やEメールサービスの品質の維持･向上のために、Eメール送受信時の品質／電波状況、絵文字などのコンテンツ利用状況の取得･収集に関する設定を行います。 **auアプリサイドメニュー連携設定** サイドメニューから、KDDI提供のauサービス･アプリへのアクセス数集計に必要な情報の取得･収集に関する設定を行います。 また、当設定を実施することで、サイドメニュー内のお知らせ表示の状態を、KDDI提供のauアプリ間で連携することができます。
プライバシーポリシー	プライバシポリシー(個人情報保護方針)について表示します。
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・Eメールアドレス欄を選択→[アドレスコピー]と操作すると、Eメールアドレスをコピーできます。

パスワード設定について
◎ フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えると「ひみつの質問」が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。

表示に関する設定をする

1 **ホーム画面→[ ]→[MENU]→[Eメール設定]→[表示設定]**

2

アドレス帳登録名表示	メールアドレスが電話帳に登録されている場合、電話帳に登録された情報を表示するかどうかを設定します。
プロフィールアイコンを表示	プロフィールアイコンを表示するかどうかを設定します。
プロフィールアイコン色のリセット	プロフィールアイコンの背景色をリセットします。
マガジンビュー	マガジンビューを使用するかどうかを設定します。
外部画像表示アドレス	外部のWEBサイトに表示された画像を常に表示するアドレスの確認、削除をします。
テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。
背景画像設定	背景画像を設定します。
フォルダ表示形式	フォルダー覧の表示形式をグリッド表示かツリー表示に切り替えます。

送信･作成に関する設定をする

1 **ホーム画面→[ ]→[MENU]→[Eメール設定]→[送信･作成設定]**

2

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。有効に設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 ・会話モードでご利用の場合、有効に設定していても受信メールの内容は引用されません。
送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動再送信	Eメール送信失敗時に自動で再送信するかどうかを設定します。
宛先候補表示	宛先入力時に宛先の候補を表示するかどうかを設定します。

冒頭文／署名について
◎ 冒頭文／署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
◎ 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。
◎ 冒頭文と署名に同じ画像／デコレーション絵文字を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
◎ 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面→本文入力欄を選択→[MENU]→[挿入]→[冒頭文]／[署名]と操作して挿入してください。

通知に関する設定をする

1 **ホーム画面→[ ]→[MENU]→[Eメール設定]→[通知設定]→[基本通知設定]**

2

着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 ・「ストレージから探す」をタップした場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。
ステータスバー通知	Eメール受信時のステータスバーの通知について設定します。
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯させるかどうかを設定します。
電源キー押下による着信音鳴動停止	Eメール着信音の鳴動中に(⏻)を押してEメール着信音やバイブレータ鳴動を停止するかどうかを設定します。

個別の通知に関する設定をする

1 **ホーム画面→[ ]→[MENU]→[Eメール設定]→[通知設定]→[個別通知設定]**

2 **[新規設定]**

3 **[アドレス帳引用]／[メール受信履歴引用]／[メール送信履歴引用]→設定するアドレスを選択**
「メール受信履歴引用」／「メール送信履歴引用」を選択した場合は、設定するアドレスを選択→[選択]と操作します。

4

着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 ・「ストレージから探す」をタップした場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯するかどうかを設定します。

Eメールアドレスを変更する

EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。

1 **ホーム画面→[ ]→[MENU]→[アドレス変更／フィルター設定]→[Eメールアドレスの変更へ]**

2 **暗証番号を入力→[送信]**

3 **[承諾する]**

4 **Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力→[送信]→[OK]→[閉じる]**

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。
◎ 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
◎ 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。
◎ Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。

転送先を設定する

本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。

1 **ホーム画面→[ ]→[MENU]→[アドレス変更／フィルター設定]→[自動転送先の設定へ]**

2 **暗証番号を入力→[送信]**

3 **Eメールアドレスを入力→[送信]→[閉じる]**

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。
◎ 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。
※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。
◎「エラー！Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。
◎ Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。
◎ 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

バックアップしたEメールを復元する

メールデータを復元する

これまでお使いの製品でバックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。
バックアップしたメールデータ（メール本文・添付ファイル）を復元することができます。

1 **ホーム画面→[ ]→[MENU]→[Eメール設定]→[バックアップ・復元]**

2 **[メールデータ復元]**

3 **復元するメール種別を選択→[OK]**

4 **復元するバックアップデータを選択→[OK]**
「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 **[追加保存]／[上書き保存]→[OK]**
「上書き保存」をタップした場合は、確認画面で「OK」をタップします。

◎ メールデータ復元では、シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態では復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にしたうえで復元の操作を行っていただくか、まるごと復元をご利用ください。
◎ バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」をタップした場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」／「送信ボックス」／「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているEメールや未読メールも削除されます）、バックアップしたメールデータを復元します。
◎ 復元したEメールから未受信の本文や添付データを取得することはできません。

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ（メール本文・添付ファイル）、Eメール設定、振り分け条件をすべて消去し、復元します。

1 **ホーム画面→[ ]→[MENU]→[Eメール設定]→[バックアップ・復元]**

2 **[まるごと復元]**

3 **復元するバックアップデータを選択→[OK]**

■復元前にメールデータがない場合

4 **[OK]**

■復元前にメールデータがあり、メールデータをバックアップする場合

4 **[バックアップ]→[OK]**
シークレット機能を有効にしてメールデータバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされません。

5 **[UTF-8]／[SJIS]→[OK]**
「ヘルプ」をタップすると文字コードの説明を表示できます。

6 **バックアップするフォルダを選択→[OK]**
「フォルダロック」を設定した「受信ボックス」／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
会話モードではバックアップするメール種別を選択します。

7 **[OK]→[OK]→[OK]**

■復元前にメールデータがあり、メールデータをバックアップしない場合

4 **[まるごと復元]**

5 **[OK]→[OK]**

◎ まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

- 迷惑メールフィルターの各種機能の詳細については、迷惑メールフィルター画面で「ヘルプ」をタップしてヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→[ ]→[MENU]→[アドレス変更／フィルター設定]

■おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号を入力→[送信]

迷惑メールフィルター画面が表示されます。

3

オススメ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 ・「必ず受信」を有効にすることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 ・受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをすべてブロックする場合は、「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ・「アドレス帳受信設定へ」をタップすると、「auアドレス帳」、「Friends Note」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信するかどうかを設定できます。
拒否リストに登録する	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者ごとにメールを一括で受信／拒否します。
その他の詳細設定をする	**迷惑メールおまかせ規制** メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」を有効にして登録すると「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 **HTMLメール規制** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 **ウィルスメール規制** 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。 **拒否通知メール返信設定** 迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するための設定項目です。 ※以前ご利用の携帯電話で「返信しない」に設定している場合にのみ表示され、「返信する」の選択のみ可能です。
全ての設定を一括解除する	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
◎迷惑メールフィルターは、次の優先順位にて判定されます。
ウィルスメール規制＞受信リスト設定(「必ず受信」が有効)＞なりすまし規制＞拒否リスト設定＞受信リスト設定＞アドレス帳受信設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞携帯／PHS以外のメール拒否設定＞迷惑メールおまかせ規制

◎「受信リスト設定(「必ず受信」が有効)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」が有効)」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できないことがあります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」が有効)」に登録してください。

SMSを利用する

SMSについて

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[SMS]
相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [ ]
SMS作成画面が表示されます。
- 過去に送受信した相手の方にSMSを送信するときは、スレッドを選択してもSMSを作成できます。その場合は、手順4へ進みます。

3 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力
[ ]→電話帳から相手先を選択することもできます。
海外へ送信する場合は、宛先には相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力してください。

「010」+「国番号」+「相手先電話番号」

※電話帳から相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。
※相手先電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。

4 本文を入力
本文は、全角最大70／半角最大160文字まで入力できます。

5 [送信]
送信したメッセージをロングタッチ→[送達確認結果]と操作すると、送信結果を確認できます。

◎ メッセージ作成中に「 」をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。
◎ SMSセンターでは72時間までSMSをお預かり(蓄積)します。蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。なお、SMSのお預かり可能件数は300件です。
◎ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。
◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。
- SMS蓄積後すぐに配信:新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
- リトライ機能による配信:相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
- 通話を終了したときに配信:蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。
◎ SMS送信時は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず発信者番号が通知されます。
◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに ⚠ が表示される場合があります。
◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/

SMSを受け取る

SMSを確認する

1 SMSを受信
SMSの受信が終了すると、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[SMS]
未読のSMSがあるスレッドには NEW が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドを選択
受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

◎ SMSの受信は、無料です。
◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎ スレッド内容表示画面で「 」をタップすると、相手の方の電話番号が入力されたダイヤル画面を表示します。
◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
◎ 受信したSMSがダイアログ表示される場合があります。「閉じる」を選択するとメッセージを削除します。
◎ 本体メモリの空き容量が不足した場合、SMSを正しく受信できません。
◎ データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[SMS]→スレッドを選択

■本文中の電話番号を利用する場合

2 電話番号があるメッセージを選択
アプリケーションの選択画面が表示された場合は、利用するアプリケーションを選択してください。

■本文中のメールアドレスを利用する場合

2 メールアドレスがあるメッセージを選択
アプリケーションの選択画面が表示された場合は、利用するアプリケーションを選択してください。

3 メールを作成

■本文中のURLを利用する場合

2 URLがあるメッセージを選択
Chromeが起動して、選択したURLのページが表示されます。

◎ 本文中に利用できる電話番号、メールアドレス、URLが複数ある場合は、確認画面が表示されます。利用する電話番号、メールアドレス、URLを選択してください。

SMSを返信／転送する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[SMS]

2 返信／転送するスレッドを選択
受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

■返信する場合

3 本文を入力

4 [送信]

■転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

4 [転送]

5 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力
[ ]→電話帳から相手先を選択することもできます。

6 本文を入力

7 [送信]

SMSを保護／保護解除する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[SMS]→スレッドを選択

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 [保護]／[保護解除]
保護したメッセージには が表示されます。

SMSの電話番号を電話帳に登録する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[SMS]→スレッドを選択

2 [⋮]→[アドレス帳への登録]
スレッド一覧画面で登録する相手先の[ ]→[はい]と操作しても電話帳に登録できます。

SMSを検索する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[SMS]→[🔍]→キーワードを入力
半角と全角を区別して入力してください。

2 [🔍]
検索結果一覧が表示されます。
検索結果を選択すると、検索結果を含むスレッド内容表示画面が表示されます。

SMSを削除する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[SMS]

■1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドを選択

3 削除するメッセージをロングタッチ

4 [削除]→[削除]

■スレッドごと削除する場合

2 削除するスレッドを選択

3 [⋮]→[メッセージの全件削除]→[削除]

■複数のスレッドを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 続けて削除するスレッドを選択

4 [🗑]→[削除]

■すべてのスレッドを削除する場合

2 [⋮]→[全てのスレッドを削除]→[削除]

SMSを設定する

SMS設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[SMS]

2 [⋮]→[設定]
SMS設定画面が表示されます。

3

通知設定	SMS受信時のステータスバーの通知について設定します。「OFF」に設定すると、着信音、バイブレーション、LEDも「OFF」になります。 [差出人・本文]／[差出人]／[通知のみ]／[OFF]→[OK]
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF]、または[プリセットから選択]／[ダウンロード曲から選択]→着信音を選択→[OK]
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF]／パターンを選択→[OK]
LED	SMS受信時の着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。
文字サイズ	本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」→[OK]
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 署名(全角20／半角45文字まで)を入力→[設定]
受信フィルター	▶P.56「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手の方に届いた際、送信したメッセージに✓を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 「ホワイト」「ブラック」「ピンク」「グリーン」「ブルー」「オレンジ」→[OK]

◎SMS設定画面→[⋮]→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

受信フィルターを設定する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[SMS]→[⋮]→[設定]→[受信フィルター]

2

指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストに登録します。 ・「⊕」をタップすると、電話帳から電話番号を登録できます。 ・スレッド内容表示画面→[⋮]→[受信フィルター登録]→[追加]と操作しても登録できます。 ・登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除したい電話番号を選択→[削除]→[はい]と操作します。 ・電話番号は、最大150件まで登録できます。
アドレス帳登録外	電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。

PCメールを利用する

PCメールのアカウントを設定する

アカウントを登録する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。
- 登録するメールアカウントによって設定する項目などが異なる場合があります。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[PCメール]

初回起動時にはプライバシーポリシーの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

■ メールサーバーを自動で設定する場合

2 メールアドレスを入力→[▶]

3 パスワードを入力→[▶]

4 [▶]

ご利用になるメールアカウントのメールサーバーが自動設定されない場合は手動で設定します。

5 あなたの名前を入力→[▶]

■ メールサーバーを手動で設定する場合

2 メールアドレスを入力→[手動セットアップ]

設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。

3 アカウントのタイプを選択

POP3サーバーで設定を行う場合、ご利用のプロバイダによっては本体メモリ内に保存されたPCメールが消える場合があります。IMAP対応のメールサーバー(Gmailなど)を利用する場合はIMAPサーバーで設定を行ってください。

4 パスワードを入力→[▶]

5 ※メニューの項目は、ご利用になるアカウントにより異なる場合があります。

ユーザー名	ユーザー情報を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
クライアント証明書	使用するクライアント証明書を選択します。
サーバー	サーバー情報を入力します。
ポート	ポート番号を入力します。
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
サーバーからメールを削除	受信したPCメールをサーバーに残すかどうかを設定します。
IMAPパスのプレフィックス	必要な場合に入力します。

6 [▶]

7

SMTPサーバー	サーバー情報を入力します。
ポート	ポート番号を入力します。
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
ログインが必要	必要な場合に設定します。 有効に設定した場合は「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

8 [▶]

9 必要な項目を設定→[▶]

10 あなたの名前を入力→[▶]

アカウントの設定を変更する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[PCメール]→[←]→[設定]→アカウントを選択

2 ※メニューの項目は、ご利用になるアカウントにより異なる場合があります。

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前を変更します。
署名	PCメール送信時の署名を設定します。
クイック返信	メールの作成時によく使う文章を登録します。
同期頻度	自動受信する間隔を設定します。
添付ファイルのダウンロード	Wi-Fi®接続中に添付データを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
メール着信通知	PCメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	PCメール受信時の音を設定します。 ・「なし」以外の着信音を選択すると着信音が鳴ります。
バイブレーション	PCメール受信時にバイブレータを振動させるかどうかを設定します。
受信設定	受信メールサーバーを設定します。 ・詳しくは、「アカウントを登録する」(▶P.57)をご参照ください。
送信設定	送信メールサーバーを設定します。 ・詳しくは、「アカウントを登録する」(▶P.57)をご参照ください。
アカウントを削除	アカウントを削除します。

◎「アカウントを追加」をタップするとアカウントを追加できます。詳しくは、「アカウントを登録する」(▶P.57)をご参照ください。

PCメールを送る

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[PCメール]→[✎]

2 宛先を入力

宛先入力欄に宛先や連絡先の名前を入力すると、電話帳から自動的に検索して宛先の候補を表示します。宛先の候補を選択すると宛先に設定されます。宛先設定後、続けて宛先を入力して追加することもできます。

3 件名を入力

4 本文を入力

5 [▶]

■ PCメール作成画面の見かた



《PCメール作成画面》

① **送信元欄**
複数のアカウントを設定している場合、タップすると送信するアカウントを変更できます。
② **宛先入力欄**
「∨」をタップすると、Cc／Bccを追加できます。
③ **件名入力欄**
④ **本文入力欄**

■ PCメールにデータを添付する

1 PCメール作成画面→[📎]→[ファイルを添付]

2 添付するファイルを選択

添付したファイルを削除する場合は「✕」をタップします。

■ PCメール作成画面のメニューを利用する

1 PCメール作成画面→[⋮]

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

下書きを保存	作成中のPCメールを下書きへ保存します。
破棄	作成中のPCメールを破棄します。
設定	アカウントやPCメールの設定を変更します。 ・アカウントの設定について詳しくは、「アカウントの設定を変更する」(▶P.57)をご参照ください。
クイック返信を挿入	「クイック返信」で登録した文章を挿入します。

PCメールを受け取る

1 PCメールを受信

PCメールを受信するとステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 受信したPCメールを選択

PCメール内容表示画面の見かた

PCメール一覧画面でPCメールを選択するとPCメール内容表示画面を表示します。

例：PCメール内容表示画面（受信メール）



《PCメール内容表示画面（受信メール）》

① 件名
② 差出人の名前／メールアドレス
③ 宛先／Ccの宛先／メールアドレス
④ 本文
⑤ スターアイコン
タップするとスター付きを設定／解除できます。
⑥ 返信
⑦ メニュー
タップするとメニューを表示します。
⑧ 受信日時
⑨ 添付ファイル

Gmailを利用する

Gmailについて

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailとPCメールの確認・送受信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。
- Gmailの連絡先は、本体メモリ内の電話帳と同期することができます。
- 利用方法などの詳細については、Googleのサイトや、受信トレイ画面→[ ]→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。
- PCメールをご利用になるには、Gmailの画面からPCメールのアカウントを設定します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[Gmail]

受信トレイ画面が表示されます。
初回起動時にはアプリについての説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

インターネット

インターネットに接続する 60
パケット通信を利用する 60
Google Chromeを利用する 60

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。
LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作してください。

◎ LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額／割引サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）
- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

Google Chromeを利用する

Webページを表示する

Chromeを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。
ChromeのブックマークはGoogleアカウントでログインすることで、ブックマークを引き継ぐことができます。詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。

1 ホーム画面→[ ]

Chrome画面が表示されます。
初回起動時には利用規約やログイン画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 「⌂」をタップするとau Webポータル TOPページが表示されます。

◎ 非常に大きなWebページをChromeで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

URL表示欄を利用する

Chrome画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、ウェブサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ホーム画面→[ ]→URL表示欄を選択

2 キーワード／URLを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。
URL表示欄にテキストが入力されていないときに「 」をタップするとGoogle 音声検索™が利用できます。送話口（マイク）に向かってキーワードを話してください。

3 一覧表示から項目を選択／[実行]

検索結果が表示されます。

◎ Chrome画面→[ ]→[設定]→[検索エンジン]と操作すると、キーワード入力時の検索エンジンを変更できます。

Chrome画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→[ ]→[ ]

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

→	Webページを「◁」をタップして表示している場合に、操作前に表示していたWebページに進みます。
☆／★	表示中のページをブックマークに保存／削除できます。
ⓘ	Webページの情報が表示されます。
↻／✕	表示中のページの再読み込み／読み込み中止を行います。
新しいタブ	新しいタブを表示します。
新しいシークレットタブ	新しいシークレットタブを表示します。
ブックマーク	▶ P.60「ブックマークを利用する」
最近使ったタブ	同じGoogleアカウントを登録したデバイスで使用した履歴を利用できます。
履歴	▶ P.60「履歴を利用する」
共有...	表示しているページのURLをメールやBluetooth®などで送信できます。
印刷...	Googleのサービスを利用して画像を印刷することができます。
ページ内検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
ホーム画面に追加	表示しているページを表示するショートカットをホーム画面に作成します。
PC版サイトを見る	PC版のページを表示するかどうかを設定します。
設定	Chromeの各項目を設定します。
ヘルプとフィードバック	Google Chromeのヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

◎ リンクや画像をロングタッチするとリンクの保存やURLのコピー、画像の保存やコピーなどの操作が行えます。

印刷...について

◎ Chromeの表示内容と実際の印刷内容が異なる場合があります。
◎ 「PDF形式で保存」を選択すると、表示中の画面をPDFとして保存することができます。保存したPDFはコンテンツマネージャーで確認できます。

ブックマーク／履歴を利用する

■ ブックマークを利用する

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

- ブックマークフォルダをロングタッチすると、ブックマークフォルダの編集や削除ができます。
- ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除ができます。

■ 履歴を利用する

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→[履歴]

2 履歴を選択

- 「履歴を検索」をタップすると履歴から検索できます。
- 「✕」をタップすると選択した履歴を削除します。
- 「閲覧履歴データの消去...」をタップすると履歴やキャッシュなどを削除できます。

マルチメディア

SHカメラを利用する **62**
カメラをご利用になる前に 62
静止画／動画を撮影する 62
カメラを設定する 63
データを利用する **64**
アルバムを利用する 64
コンテンツマネージャーを利用する 66
画像を編集する 67

SHカメラを利用する

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 電池残量が（残量約10%）以下の場合は、カメラを起動できません。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に直射日光等の強い光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して静止画／動画が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いた後に静止画／動画を撮影したり、保存したりすると、静止画／動画が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、静止画／動画が暗くなったり、静止画／動画が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 次の場合は、カメラを使用できないことがあります。
  - ・長時間の使用により本体の温度が上昇した場合
  - ・冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合
  - ・他のアプリケーションを起動している場合
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- 本製品のカメラで撮影した静止画／動画は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 撮影時にはレンズ部やモバイルライトに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすいしま模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 室内で撮影すると画面が黄色くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスの設定を変更して撮影すると改善されます。
- 白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスの設定を変更して撮影すると改善されます。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- モバイルライトを点灯して撮影したときに、レンズ周辺に指やカバーなどがあるとモバイルライトの光が反射して、撮影した写真や動画が白っぽくなる場合があります。
- 動画を撮影する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、静止画がぶれる原因となります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - ・強い逆光のもとにある被写体
  - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - ・暗い場所にある被写体
  - ・動きが速い被写体
- モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1 ホーム画面→[ ]

2 本製品のカメラ（アウトカメラ）を被写体に向ける

画面を上下にスライドすると、明るさを調整できます。
左右にスライドまたはピンチアウト／ピンチインすると、ズームできます。
被写体をタップすると、フォーカスロックできます。
- フォーカスマーク以外をタップすると解除されます。
- 「フォーカス設定」を「個別AE／AF」に設定している場合は、露出を合わせたい箇所まで「AE」をドラッグします。
- 「フォーカス設定」を「AF OFF」に設定している場合は、フォーカスロックできません。

3 [ ]／[+]／[−]

「個別AE／AF」以外でフォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタップしても撮影できます。
[ ]／[+]／[−]を1秒以上押すと、静止画を連続撮影できます。

◎ フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

動画を撮影する

1 ホーム画面→[ ]

2 本製品のカメラ（アウトカメラ）を被写体に向ける

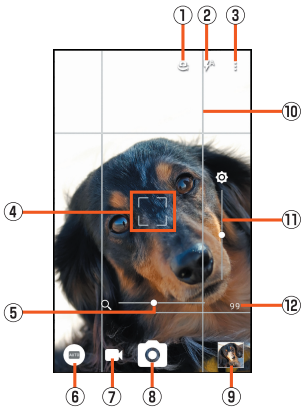
画面を上下にスライドすると、明るさを調整できます。
左右にスライドまたはピンチアウト／ピンチインすると、ズームできます。

3 [ ]

動画撮影中に「 」をタップすると静止画の撮影ができます。
被写体をタップすると、フォーカスロックできます。
- フォーカスマーク以外をタップすると解除されます。
- 「フォーカス設定」を「個別AE／AF」に設定している場合は、露出を合わせたい箇所まで「AE」をドラッグします。
- 「個別AE／AF」以外でフォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタップすると静止画が撮影されます。
- 「フォーカス設定」を「AF OFF」に設定している場合は、フォーカスロックできません。

4 [ ]

撮影画面の見かた



《撮影画面》

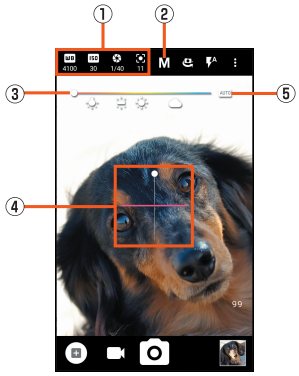
① **イン／アウトカメラ切替**
② **モバイルライト**※
③ **設定**
④ **フォーカスマーク**
「おすすめオート」モードのときや、「フォーカス設定」を「顔優先AF」に設定している場合は、人の顔を検出してフォーカス動作を行います。
⑤ **ズーム**
被写体を拡大／縮小します。ピンチアウト／ピンチインや左右にスライドで表示／設定できます。
⑥ **撮影モード**
⑦ **動画撮影**
動画を撮影します。
⑧ **静止画撮影**
静止画を撮影します。
⑨ **アルバム／直前に撮影したデータ**
直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータの確認などができます。直前に撮影したデータがない場合は、「アルバム」のショートカットを表示します。

⑩ **フレーミングアドバイザー※**
フレーミングアドバイザーを設定すると、撮影時のシーンに応じて分割線やガイドを表示して、いつもと違う構図を演出して撮影することができます。
⑪ **明るさ調整**
明るさを調整します。上下にスライドで表示／設定できます。
⑫ **撮影可能枚数**
撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。
※撮影モードによっては表示されない場合があります。

◎ 撮影モードによっては、画面上部に設定変更用のアイコンが表示されます。アイコンをタップすると設定を変更できます。

■撮影画面（おすすめプラス）の見かた

操作方法は撮影画面と同様です。ここでは、撮影画面と異なる操作について説明します。



《撮影画面（おすすめプラス）》

① **設定アイコン表示エリア**
選択したシーンに応じて、設定アイコンが表示されます。アイコンをタップすると調整バーが表示され、設定を調整することができます。
② **撮影シーン**
撮影シーンを切り替えます。
③ **調整バー**
ドラッグすると設定を調整できます。
④ **水準器**
撮影画面の傾きを確認できます。
⑤ **自動調整**
タップすると、自動調整に切り替わります。

撮影モードを切り替える

撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面→[ ]

2 画面左下の撮影モードアイコンをタップ

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

おすすめオート	被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
おすすめプラス	撮影シーンを選択すると、シーンに合った設定が自動で反映される撮影モードです。設定は調整することができます。
タイムラプス	動画の撮影時にコマ数を少なくして撮影するモードです。
花火撮影	打ち上げ花火の撮影に適したモードです。花火を自動撮影することもできます。
モノクロ	モノクロ撮影するモードです。
銀残し	暗部を暗く、コントラストを強調して撮影するモードです。
読取カメラ	読取カメラを起動します。
手鏡	インカメラを利用して、手鏡のように自分を映します（撮影はできません）。
SHSHOW	カメラ活用のWebページからカメラアプリをダウンロードし、撮影モードの1つとして追加することができます。

カメラを設定する

1 ホーム画面→[ ]

2 [ ]

■静止画撮影の設定をする

3 [写真]

4 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

写真サイズ	静止画のサイズを切り替えます。
フレーミングアドバイザー	撮影時のシーンに応じて、構図の分割線やガイドを表示するか設定します。
HDR	逆光などコントラストが強いシーンで、白とびを軽減して撮影するか設定します。
NightCatch	暗いシーンを明るく撮影するか設定します。
ISO感度	撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
シャッターモード	被写体が笑ったときや、振り向いたときに自動で撮影するかどうかを設定します。
ワンタッチシャッター	画面をタップして撮影するか設定します。
インカメラ美肌調整	インカメラ利用時に美肌調整を行う効果レベルを設定します。
インカメラレンズ補正	インカメラ利用時にレンズ補正を行うかどうかを設定します。

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。
ISO感度について
◎ 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画質は粗くなります。

■動画撮影の設定をする

3 [動画]

4 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

動画サイズ	動画のサイズを切り替えます。
NightCatch	暗いシーンを明るく撮影するか設定します。
マイク設定	音声を録音するかどうかを設定します。

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

■静止画／動画撮影共通の設定をする

3 [共通]

4 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

フルマニュアル項目選択	おすすめプラスの「フルマニュアル」利用時に、設定アイコン表示エリアに表示するアイコンを選択します。 ・アイコンは4個まで表示できます。
白とび／黒つぶれ表示	白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示するかどうかを設定します。
水準器	水準器を表示するかどうかを設定します。
フォーカス設定	被写体に合わせてフォーカスを設定します。
タイマー	タイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
ちらつき防止	蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にしま模様が出にくくなるように設定します。
保存先設定	保存先を設定します。
位置情報付加	位置情報を付加するかどうかを設定します。
ヘルプ	撮影画面に表示されるアイコンの機能やタッチパネルの操作、機能の使いかたについて確認できます。
機能紹介	カメラ機能の使いかたを「体験しよう！」アプリで確認できます。
PHOTOSHOW（Webページ）	シャープのサイトに接続し、シャープ製スマートフォンを使って撮影された写真を例に、カメラの機能や撮影方法を確認できます。
設定リセット	カメラの設定を初期化します。

データを利用する

アルバムを利用する

データを表示／再生する

データをイベントごと、場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。
- 画像を表示する際はディテールの向上処理が行われ、画像がより精細に表示されます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[アルバム]

2 [☰]→カテゴリ区分を選択
「すべて」／「すべて(日付)」／「フォルダ」／「イベント」／「場所」から選択します。

3 フォルダ／イベントをタップ→データを選択
1件表示画面が表示されます。
- 「<」をタップすると、データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。
- 「🗑」をタップすると、データを削除します。
- 「👁」／「🚫」をタップすると、設定するモードによってデータの表示／非表示を切り替えることができます。
- 「▶」をタップすると、再生アプリを起動します。
- 「GIF」をタップすると、GIFアニメーションを再生します。

ファイル表示時のご注意
◎ ファイルが表示されない場合は、アルバムのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続して「¥PRIVATE¥SHARP¥PM¥DATABASE」内のファイルをすべて削除してからご使用ください。
◎ データベースファイルを削除した場合、作成されたイベントなどの情報も削除されます。十分にご確認のうえ、操作してください。

■ 画面の見かた



《アルバム画面》

① **表示選択メニュー**
表示形式を変更することができます。
② **データ／フォルダ／イベント一覧**
③ **スクローラー**
画面をスクロールすると表示されます。表示されたスクローラーを上下にスライドして画面をスクロールさせることができます。

■ データ／フォルダ／イベントを個別に操作する

1 [☰]→カテゴリ区分を選択

2 データ／フォルダ／イベントをロングタッチ

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

イベントに振り分け	データを他のイベントに振り分けます。
イベントを新規作成	データをイベントごとに分類して整理できます。 • 詳しくは、「イベントごとに振り分ける」(▶P.65)をご参照ください。
他のイベントに移動	データを他のイベントに振り分けます。
このイベントからはずす	データの振り分けを解除します。
スライドショー	データをスライドショーで再生します。
写真を送る	選択した静止画をBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。
動画を送る	選択した動画をBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。
画像編集	データを編集します。 • 詳しくは、「画像を編集する」(▶P.67)をご参照ください。
削除	データ／フォルダを削除します。
画像を登録	選択したデータを「ディスプレイ」の「壁紙」や電話帳に登録します。
イベント名変更	登録済みのイベント名を変更できます。
日付変更	イベントに設定された日付を変更します。
このイベントを削除	イベントを削除します。データは「未設定」に移動します。
プロパティ	データのプロパティを表示します。

■ メニューを利用する

1 [☰]→カテゴリ区分を選択→[⋮]
データを選択して1件表示画面→[⋮]でもメニューが表示されます。

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

場所設定	▶P.65「場所ごとに振り分ける」
検索	検索条件を選択してデータを検索します。 • 検索結果が表示された後に「×」をタップすると、検索結果が解除され通常の画面に戻ります。
写真を送る	選択した静止画をBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。
動画を送る	選択した動画をBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。
選択削除	フォルダ／データを選択して削除します。
他のイベントに移動	データを他のイベントに振り分けます。
このイベントからはずす	データの振り分けを解除します。
イベントに振り分け	データを他のイベントに振り分けます。
イベントを新規作成	データをイベントごとに分類して整理できます。 • 詳しくは、「イベントごとに振り分ける」(▶P.65)をご参照ください。
スライドショー	データをスライドショーで再生します。
画像編集	画像を編集します。 • 詳しくは、「画像を編集する」(▶P.67)をご参照ください。
画像を登録	選択したデータを「ディスプレイ」の「壁紙」や電話帳に登録します。
イベント振り分け	データをイベントごとに分類して整理できます。 • 詳しくは、「イベントごとに振り分ける」(▶P.65)をご参照ください。
イベント名変更	登録済みのイベント名を変更できます。
日付変更	イベントに設定された日付を変更します。
このイベントを削除	イベントを削除します。データは「未設定」に移動します。
場所未設定一覧	場所を設定されていないデータを表示します。
並べ替え	データの表示順を変更します。
プリントサービスで印刷	Googleのサービスを利用して画像を印刷できます。画像をPDF形式で保存することもできます。
画像の表示／非表示	データの表示／非表示を設定したり、チュートリアルを確認したりできます。 • 詳しくは、「データの表示／非表示モードを利用する」(▶P.65)をご参照ください。
非表示モードへ切替	設定したデータを非表示にします。 • 詳しくは、「表示モードを切り替える」(▶P.65)をご参照ください。
表示モードへ切替	設定したデータを表示します。 • 詳しくは、「表示モードを切り替える」(▶P.65)をご参照ください。
設定	**サムネイル表示切替** サムネイル表示の方法を設定します。 **アカウント設定と同期** アルバムと同期するオンラインアルバムについて設定します。 **スライドショー設定** スライドショーについて設定します。 **ディテールアップ** 超解像技術を応用して画像をくっきり、美しく表示させるかどうかを設定します。 **情報更新とキャッシュの削除** 本製品の画像情報を再取得し、表示の更新とキャッシュファイルを削除します。 **過去のデータから再作成** microSDメモリカードに、以前作成したアルバムの情報(振り分け情報など)がある場合、その情報を本製品で利用できるようにします。 **過去のmicroSD情報の削除** microSDメモリカードに、以前作成したアルバムの情報(振り分け情報など)がある場合、その情報を削除します。
プロパティ	データのプロパティを表示します。

メモリ使用状況	microSDメモリカードと本体メモリの容量を表示します。 ・詳しくは、「ストレージとUSBを確認する」(▶P.90)をご参照ください。

データを振り分ける

■イベントごとに振り分ける

データをイベントごとに分類して整理できます。ここでは、イベントを新規に作成してデータを振り分ける手順を説明します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[アルバム]

2 [☰]→[イベント]

3 [⋮]→[イベントを新規作成]

4 振り分けるデータを選択→[作成]

5 [イベント名を入力する]→イベント名を入力→[OK]→[作成]

◎ イベントを選択して[✎]→「他のイベントにも登録」、「他のイベントに移動」をタップすると、既存のイベントに振り分けることができます。

■場所ごとに振り分ける

データを場所ごとに分類して整理できます。
位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[アルバム]

2 [☰]→[場所]

3 [⋮]→[場所設定]
位置情報の付加されていないデータと地図が表示されます。

4 振り分けるデータをロングタッチ→登録する位置にドラッグして、指を離す→[OK]
地図上にタグが追加されます。

データの表示／非表示モードを利用する

すべてのデータを表示する表示モードと、あらかじめ設定したデータを非表示にする非表示モードを利用できます。

■データの表示／非表示を設定する

非表示モードでデータを非表示にするか設定します。
・非表示モードのときは設定できません。表示モードで設定してください。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[アルバム]

■データごとに設定する場合

2 データを選択

3 [☺]／[☹]
[☺]が表示、[☹]が非表示を表します。データを非表示に設定すると、アルバム画面のサムネイルにも[☹]が表示されます。

■複数のデータをまとめて設定する場合

2 [⋮]→[画像の表示／非表示]

3 [非表示画像を選択]／[表示画像を選択]

4 データを選択→[決定]→[はい]

◎ 画像や動画の非表示設定は、「アルバム」アプリでのみ有効です。画像や動画を非表示に設定していても、他のアプリでは表示されます。

■表示モードを切り替える

表示モード／非表示モードを切り替えます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[アルバム]

2 [⋮]→[画像の表示／非表示]

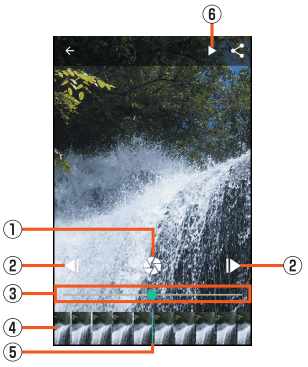
3 [非表示モードへ切替]／[表示モードへ切替]
非表示モードのときは、アルバム画面上部の色が薄い灰色に変わります。

あとからキャプチャーを利用する

動画の中からフレームを選択し、静止画としてキャプチャー(保存)することができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[アルバム]

2 動画を選択→[CAPTURE]



《あとからキャプチャー画面》

① **静止画キャプチャー**
表示しているフレームを静止画として保存します。
② **コマ戻し／コマ送り**
1コマ前／先のフレームを表示します。
③ **シークバー**
シークバーをドラッグすると表示位置を変更できます。
④ **サムネイル**
1秒あたり1枚の画像が表示されます。
・サムネイルをドラッグすると表示位置を変更できます。
⑤ **表示位置**
現在表示しているフレームの位置を表します。
⑥ **再生／一時停止**

コンテンツマネージャーを利用する

データを表示／再生する

コンテンツマネージャーは、本体メモリまたはmicroSDメモリカード内のデータを分類して一覧表示し、再生／表示、確認、管理を行うことができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[コンテンツマネージャー]

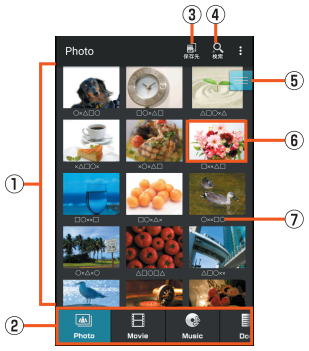
2 データを選択

データの種別に応じたアプリケーションが起動し、データが再生／表示されます。

コンテンツ表示画面からの再生／表示にかかわらず、再生／表示するアプリケーションが複数存在する場合、アプリケーションの選択画面が表示される場合があります。アプリケーションを選択すると再生／表示されます。

◎ コンテンツマネージャーで表示されるデータの中には、表示や再生ができないものもあります。
◎ が表示されているデータは、再生できません。

■ コンテンツ表示画面の見かた



《コンテンツ表示画面(グリッド表示)》

① **コンテンツ表示エリア**
データの一覧を表示します。
② **カテゴリ**
Photo：本製品で撮影した静止画やダウンロードした画像などを表示します。
Movie：本製品で撮影した動画やダウンロードした動画などを表示します。
Music：本製品で録音したボイスデータ、音楽、効果音(サウンド)を表示します。
Doc.：Officeのデータ、PDFデータ、およびテキストデータを表示します。
Others：その他のデータを表示します。
③ **保存先**
表示するデータの保存先を切り替えたり、ファイル管理を行ったりします。
- ファイル管理について詳しくは、「データを移動／コピーする」(▶P.66)をご参照ください。

④ **検索**
データを検索します。
⑤ **スクローラー**
画面をスクロールすると表示されます。表示されたスクローラーを上下にスライドして画面をスクロールさせることができます。
⑥ **サムネイル**
データのサムネイルを表示します。サムネイルが表示できない場合はデータ種別のアイコンを表示します。
⑦ **ファイル名**
タイトル情報を持つデータの場合は、タイトル名を表示します。

■ データを個別に操作する

1 コンテンツ表示画面→データをロングタッチ

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

共有	選択したデータをBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。
画像編集	画像を編集します。 • 詳しくは、「画像を編集する」(▶P.67)をご参照ください。
削除	選択したデータを削除します。
移動･コピー	選択したデータを移動／コピーします。
登録	**音声着信音** 選択したミュージックを音声着信音に設定します。 **通知音** 選択したミュージックを通知音に設定します。
再生プレーヤー変更	再生するアプリケーションを変更します。
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。

登録について
◎ 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

■ データを検索する

1 コンテンツ表示画面→[検索]

表示しているカテゴリのデータを検索します。

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

絞り込み表示しない	カテゴリ内のすべてのデータを表示します。
タイトルで絞り込む	タイトル名／アーティスト名などで検索する場合に利用します。検索文字列は、文字入力欄を選択して、全角／半角50文字まで入力できます。
最近1週間のファイル	最近1週間以内に作成されたデータを表示します。
保存時期で絞り込む	表示する範囲を開始年月日と終了年月日で指定できます。
デジタルカメラ画像	拡張子が「.jpg」「.jpeg」でExif形式のデータを表示します。
絵文字	拡張子が「.jpg」「.jpeg」「.gif」で画像サイズ(ドット)が20×20のデータを表示します。
画像サイズで絞り込む	画像のサイズを条件にして、表示する範囲を指定できます。 • 次の操作で表示する範囲を指定できます。 [画像サイズと条件を変更する]→条件を選択→サイズを入力→[設定]

データを移動／コピーする

本体メモリ、またはmicroSDメモリカードに保存したデータの保存場所を移動したり、コピーしたりすることができます。またフォルダを作成することもできます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[コンテンツマネージャー]

2 [⋮]／[保存先]→[ファイル管理]

ファイル管理画面が表示されます。

3 移動／コピーするフォルダ／ファイルの階層を表示

- 「切替」をタップすると、本体メモリ／microSDメモリカードを切り替えることができます。
- 「ホーム」をタップすると、本体メモリの一番上の階層を表示します。
- 「フォルダ作成」をタップすると、フォルダを作成することができます。
- 「削除」をタップすると、データを削除することができます。

4 [移動]／[コピー]

5 移動／コピーするフォルダ／ファイルを選択

6 [フォルダ選択]

- 「本体へ移動」／「本体へコピー」をタップすると本体メモリの同じ階層へ移動／コピーします。
- 「SDへ移動」／「SDへコピー」をタップするとmicroSDメモリカードの同じ階層へ移動／コピーします。

7 移動／コピー先の階層を表示

- 「切替」をタップすると、本体メモリ／microSDメモリカードを切り替えることができます。
- 「作成」をタップすると、フォルダを作成することができます。

8 [ここへ移動]／[ここへコピー]

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

コンテンツ表示画面のメニューを利用する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[コンテンツマネージャー]

2 [⋮]

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

選択削除	選択したデータを削除します。
移動･コピー	選択したデータを移動／コピーします。
再生プレーヤー一覧	ファイル形式と関連付けされているアプリケーションの種類を表示します。 • ファイル形式をロングタッチすると、関連付けされているアプリケーションを変更できます。
フォルダー覧へ切替	フォルダー覧へ表示方法を切り替えます。
コンテンツ一覧へ切替	コンテンツ一覧へ表示方法を切り替えます。
グリッド／リスト切替	コンテンツ表示エリアの表示方法を切り替えます。
ソート	保存されているデータの並び順を変更します。
ファイル管理	▶ P.66「データを移動／コピーする」
microSDと端末容量	microSDメモリカードと本体メモリの容量を表示します。 • 詳しくは、「ストレージとUSBを確認する」(▶P.90)をご参照ください。
アプリケーション設定	**検索条件設定** 各検索条件での検索対象範囲や、ソートの対象範囲、検索条件を保存するかどうかを設定します。 **設定を初期値に戻す** 設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。 **情報更新** コンテンツの登録情報を更新します。

画像を編集する

例：アルバムから起動する場合

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[アルバム]

2 画像をロングタッチ→[画像編集]→[画像編集]→[1回のみ]

「フォト」アプリで編集する場合は、画像をロングタッチ→[画像編集]→[フォト]→[1回のみ]と操作し、画面に従って操作してください。
編集するアプリケーションを選択した後「常時」をタップすると、次回から同じアプリケーションが起動します。

3

	画像のトリミングなどの処理をします。
	画像に写っている顔に処理をします。
	画像の縁取りをします。
	画像の色味を調整します。
	明るさやコントラストなどを調整します。

4 [保存]

◎ 画像サイズによっては、選択できない項目があります。

アプリケーション

電子書籍 GALAPAGOSを利用する 70
Google Playを利用する 70
au Wi-Fi接続ツールを利用する 70
QR･バーコードリーダーを利用する 70
auお客さまサポートアプリを利用する 70
auスマートサポートを利用する 70
Lookout for auを利用する 71
リモートサポートを利用する 71
故障受付を利用する 71
安心アクセス for Android™を利用する 71
auサービスTOPを利用する 72
auスマートパスを利用する 72

電子書籍 GALAPAGOSを利用する

新聞や雑誌、書籍などの電子書籍を購入、閲覧できます。
- 電子書籍 GALAPAGOSのすべての機能を利用するには、ユーザー登録が必要になります。

1 ホーム画面に[アプリシート]を表示→[電子書籍 GALAPAGOS]

初回起動時には許可画面やユーザー登録の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
詳しい操作方法の確認については、[情報]→[マニュアル・プライバシー...]と操作してください。

Google Playを利用する

Googleが提供するGoogle Playから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、ダウンロード・インストールして利用できます。
- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Google Play画面→[≡]→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面に[アプリシート]を表示→[Play ストア]

Google Play画面が表示されます。
利用規約などが表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

■ アプリケーションを検索してインストールする

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。
- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。
- 有料のアプリケーションをダウンロードするには、お支払い方法を設定する必要があります。

1 Google Play画面→アプリケーションを選択

■無料のアプリケーションの場合

2 [インストール]→[同意する]

アプリケーションのダウンロード・インストールが開始されます。

■有料のアプリケーションの場合

2 価格をタップ→画面に従って操作

◎ インストールする前にアプリケーションの情報をご確認ください。インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

■ 返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードなどには課金されず、アプリケーションは本製品からアンインストールされます。
- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

au Wi-Fi接続ツールを利用する

auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi®機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。
- 利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面に[アプリシート]を表示→[au Wi-Fi接続ツール]

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。
初回起動時には許可画面やプライバシーポリシーの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 画面に従って操作

QR・バーコードリーダーを利用する

SATCHを利用して、QRコードやバーコードを読み取ることができます。読み取った内容は、WEBサイト表示などに利用できます。QRコードとJANコードの読み取りに対応しています。

1 ホーム画面に[アプリシート]を表示→[SATCH]→[QR／バーコードを読み取る]

初回起動時は、アンケートなどが表示されます。
内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

◎ SATCHではQR・バーコードリーダー以外にも、AR(Augmented Reality)を楽しむことができます。ARとはカメラにかざして対象物を読み込むことで、動画やCGなどを表示できる機能です。SATCHアプリ内のキャンペーンなどの画面の案内に沿ってお楽しみください。

auお客さまサポートアプリを利用する

データ通信量や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。
- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に[MENU]→[本アプリについて]→[ヘルプ]と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面に[アプリシート]を表示→[auお客さまサポート]

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。
- 初めて起動したときは画面の指示に従って、ID設定を行ってください。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、[同意する]をタップしてください。

2

今月のデータ通信量	利用したデータ通信量が確認できます。 • トップ画面では今月のデータ通信量を表示しています。
ご請求金額	ご請求金額が確認できます。 • トップ画面では今月のご請求金額を表示しています。
ご利用料金	月々の利用状況などを簡単に確認できます。
au WALLET・ポイント	au WALLETの残高・ポイントが確認できます。
ご契約内容の確認	au電話の契約内容を確認できます。
各種変更・お手続き	サービス申し込みや契約内容の変更ができます。
困った時・わからない時	操作ガイドや迷惑メールフィルターの設定方法・紛失や故障時のお手続き方法などが確認できます。

◎ [MENU]をタップすると、各画面へのメニュー一覧が表示されます。

auスマートサポートを利用する

24時間365日体制※1のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「Lookout for au」「リモートサポート」の2種類のアプリケーションを利用して、遠隔操作によるセキュリティ機能とサポートサービスを利用することができます。
その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅に訪問し丁寧にご説明する「スマホ訪問サポート※2(8,500円～14,500円／回、税抜)※3」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本※4」プレゼントなど、安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。
※1 23時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。
※2 訪問先はお客様のご契約住所に限ります。また、別途交通費がかかる地域がございます。
※3 コースにより料金が異なります。コースやメニューの内容はauホームページをご確認ください。
※4 本のプレゼントは一回限りとなります。

◎ 「Lookout for au」「リモートサポート」のご利用にあたっては、「Lookout for auについて」(▶P.71)、「リモートサポートを利用する」(▶P.71)および「位置検索をご利用いただくにあたって」(▶P.71)をあわせてご参照ください。

Lookout for auを利用する

Lookout for auについて

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。
※お客さまセンターから遠隔操作で本製品を位置検索、ロックする場合は、auスマートサポートまたはauスマートパスへの加入が必要です。

◎ Lookoutサービス設定が完了していない場合は、アプリ起動時にLookout for auの案内画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
◎ ご利用の際には「端末管理アプリ」で「Lookout」を有効にしてください。無効の場合は、ロックが正常に動作しないことがあります。
◎ 位置情報へのアクセスなどの確認ダイアログが表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上のご注意

- Lookout for auに端末の位置情報へのアクセスが許可されていないと、位置検索の利用ができません。アプリに権限を許可する方法について詳しくは、「アプリの権限を設定する」(▶P.27)をご参照ください。
- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- ご契約いただいているau Nano IC Card 04情報と利用開始設定時のau Nano IC Card 04情報が一致している端末の検索ができます。

Lookout for auを利用する

紛失端末の位置検索機能を設定していない場合、次の操作で設定します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[Lookout for au]

2 メールアドレスとパスワードを入力→[保護を開始]

リモートサポートを利用する

ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパスへの加入が必要です。
スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ
auスマートパス会員は局番なしの157番(au電話から／通話料無料)、
0077-7-111(一般電話から／通話料無料)までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[リモートサポート]
初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

故障受付を利用する

スマートフォンの調子が悪いときのトラブル診断、簡単操作で安心ケータイサポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートするアプリです。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[故障受付]
トップメニュー画面が表示されます。
- 初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2

トラブル診断	お客様ご自身で診断することができます。質問に答えていくと、トラブルの対処方法が見つかります。 調子が悪いと思ったら、まずは診断！
オンライン交換受付	オンライン交換受付のログイン画面をワンタッチで呼び出します。
故障相談受付	簡単操作で、故障相談窓口となる「安心ケータイサポートセンター」へお電話をおつなぎします。
データ移行アプリ	ご利用の機種に対応したデータ移行アプリを起動します。

◎「MENU」をタップするとサイドメニューが開きます。
トップメニュー画面の4機能へのアクセスに加え、電話機本体機能の診断などいくつかのメニューを提供しています。
◎ 各機能利用中にトップメニュー画面に戻るときはサイドメニューの「トップ」をタップしてください。

安心アクセス for Android™を利用する

お子様にスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。
お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。
また、保護者が指定した相手先にのみ通話を制限したり、夜間などスマートフォンのご利用を制限したりすることもできます。
- ご利用にはau IDが必要です。au IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[安心アクセス]
初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 [au IDでログイン]→[ログイン]／[au IDとパスワードを入力してログインする]→画面に従って操作
ご利用になるお子様のau IDでログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力
仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。

※一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]→[OK]
利用規約を必ずご確認ください。「端末管理アプリ」を有効にする画面が表示されます。

6 [有効にする]
ウェブページが表示されます。

■ 管理者情報を登録する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[安心アクセス]

2 「ここをタップして、安心アクセス for Android™の管理者IDを登録してください。」をタップ
管理者登録の設定画面が表示されます。
- [⋮]→[管理者登録]と操作しても管理者登録の設定画面を表示することができます。

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]
管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]
管理者IDとして登録したメールアドレスに、
「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

- 以下の手順でお子様のスマートフォンから利用することも可能です。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[安心アクセス]

2 [ ]→[設定]→[管理者ページ]

3 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]

4

管理者情報	管理者ID(メールアドレス)やパスワードの変更ができます。
端末情報	管理しているスマートフォンの名前を設定できます。
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。

◎ 詳しくはauホームページをご参照ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/

auサービスTOPを利用する

最新ニュースや天気、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートパス」や「au WALLET」などのauの様々なサービスを最大限活用するためのポータルアプリです。au WALLETポイントが当たるコンテンツやお得なプレゼント情報などをご案内します。

- 利用方法、最新のお知らせについては、「サービスTOP」アプリをご参照ください。
- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[サービスTOP]

auサービスTOPのTOPページが表示されます。

- auサービスTOPのご利用にはau IDのログインが必要です。
- au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDについて詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。
- 初めて起動したときは、送信情報の概要などが表示されます。
- 画面の指示に従って、各種情報の設定を行うとアプリホーム画面で各種情報を受け取ることができます。
- アプリホーム画面ではニュース、天気、乗換などのデイリーツールやポイントガチャ、au WALLET情報、他auサービスの特典情報などが表示されます。
- 設定内容はサイドメニュー※の「設定」から変更ができます。auスマートパスの最新情報はアプリホームにてお知らせしています。

※サイドメニューを表示するには画面左下の「MENU」をタップしてください。

2 [MENU]

auサービスの主要サービスの一覧などが表示されます。

3

お買い物	「auショッピングモール」や「au WALLET Market」などショッピングサービスをご案内します。
auアプリ	auアプリ「auスマートパス」「ビデオパス」「うたパス」「ブックパス」「ディズニーパス」などをご案内します。
おすすめサービス	おすすめのサービスをご案内します。
その他	お知らせ、ヘルプ・その他をご案内します。

◎ サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
◎ アプリなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にパケット通信が行われる場合があります。
◎ コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

auスマートパスを利用する

「auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。人気のアプリ・クーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、お得で、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。

- 利用方法、最新のお知らせについては、「auスマートパス」アプリをご参照ください。
- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[auスマートパス]

auスマートパスTOPページが表示されます。

- 「auスマートパス」アプリのご利用にはau IDのログインが必要です。
- au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDについて詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。
- 初めて起動したときは、送信情報の概要などが表示されます。
- 画面の指示に従って、初期設定を行うと各種情報を受け取ることができます。
- 設定内容はサイドメニュー※の「設定」から変更ができます。

※サイドメニューを表示するには画面左下の「メニュー」をタップしてください。

ツール

モバイルライトを利用する 74
スクリーンショットを撮影する 74
長エネスイッチを利用する 74
クイック検索ボックスを利用する 74
「書」メモを利用する 74
ボイスレコーダーを利用する 75
メモ帳を利用する 75
カレンダーを利用する 76
アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチを利用する 76
からだメイトを利用する 77
電卓で計算する 77
辞書を利用する 78
ワイヤレス出力を利用する 78

モバイルライトを利用する

1 ステータスパネルを表示→機能ボタンの「モバイルライト」をタップ

モバイルライトが点灯します。
モバイルライトを消灯するには、点灯中に再度機能ボタンの「モバイルライト」をタップします。

◎ モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。また、モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にモバイルライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

スクリーンショットを撮影する

[](⏻)と[](ー)を同時に長押しすると、表示している画面のスクリーンショットを撮影できます。

- 撮影したデータは本体メモリに保存されます。
- Clip Nowを利用してもスクリーンショットを撮影することができます。詳しくは「Clip Nowの設定をする」(▶P.83)をご参照ください。

◎ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合や撮影時に効果音が鳴る場合があります。

長エネスイッチを利用する

長エネスイッチを「ON」に設定することで本製品の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[省エネ&バッテリー]→[長エネスイッチ]

2

OFF／ON	「 」／「 」をタップするたびに長エネスイッチのON／OFFを切り替えます。
長エネスイッチの概要	機能の説明を表示します。
詳細設定	制限する機能を個別に設定します。
電池残量で切替	設定した電池残量以下の場合、長エネスイッチを自動で「ON」にするかどうかを設定します。
切替条件設定	「電池残量で切替」で長エネスイッチを「ON」にする電池残量を設定します。

◎ 充電を開始すると長エネスイッチは「OFF」になります。
◎ 「電池残量で切替」によって長エネスイッチが「ON」になっているとき、「電池残量で切替」を無効にしても長エネスイッチは「OFF」になりません。

クイック検索ボックスを利用する

本体メモリ内やウェブサイトの情報を検索できます。

- 利用方法などの詳細については、Googleのサイトをご参照ください。

■キーワードを入力して検索する場合

1 ホーム画面に「デスクトップシート」を表示→クイック検索ボックスの検索入力欄を選択

ホーム画面に「アプリシート」を表示→[Google]でも同様に操作できます。
Google Nowの紹介画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 キーワードを入力

3 項目を選択／[ ]

■音声で入力して検索する場合

1 ホーム画面に「デスクトップシート」を表示→クイック検索ボックスの[ ]

ホーム画面に「アプリシート」を表示→[音声検索]でも同様に操作できます。

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

「書」メモを利用する

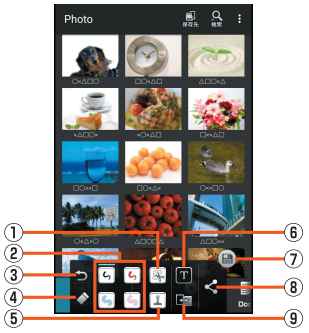
表示中の画面に手書きでメモを書き込み、画像を保存することができます。

1 [ ]→[ツール]→[「書」メモ]

表示中の画面に筆箱が表示されます。
「書」メモの説明画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ ステータスバーやナビゲーションバーには書き込めません。
◎ 筆箱を移動させたい場合、筆箱を上下にドラッグすると、画面の上端か下端に配置することができます。
◎ 画面を画像として保存することが禁止されているアプリケーションでは、背景は白画像になります。カラー画像／パターンへの切替は可能です。

■「書」メモ画面の見かた



《「書」メモ画面(筆箱表示)》

① 切り取りツール
保存や共有する画像の範囲を囲んで指定します。
- 指定した範囲のみの画像を保存／共有できます。
- 指定した範囲を解除する場合は、「 」をタップします。
- タップして選択した後、再度タップすると、範囲を囲む方法を選択できます。

② ペンツール
4種類のペンを利用して手書き入力ができます。
- タップして選択した後、同じアイコンを再度タップすると、ペン先の形状、色、太さ、透明度を変更できます。

③ 戻る
直前に行ったツールの操作を取り消します。

④ 消しゴムツール
タップしたメモをひと筆ずつ消します。

⑤ スタンプツール
画像スタンプを貼り付けます。
- スタンプ選択画面が表示され、画像スタンプの種類を選択できます。
- スタンプ選択画面で「新規作成／削除」をタップすると、画像スタンプを新規作成／削除することができます。

⑥ テキスト入力
テキストボックスを貼り付け、キーボードで文字を入力できます。

⑦ 保存
画像と手書きのメモを保存し、「書」メモを終了します。

⑧ 共有
データをBluetooth®などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。また、PDF形式でデータを保存できます。

⑨ 背景画像切替
アプリ画面／カラー／パターンを切り替えます。

ボイスレコーダーを利用する

会議や取材などの音声を、録音できます。録音した音声の再生も行うことができます。

■録音する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[ボイスレコーダー]

2 [●]
録音開始音が鳴り、録音が開始します。録音中は充電／着信ランプが点滅します。

3 録音を終了するときは[■]
録音が終了し、データが保存されます。
- 録音中に電話がかかってくると、録音は停止され、電話を受けることができます（そこまでの録音データは自動的に保存されます）。
- 録音終了後に「再生」をタップすると、音声が再生されます。

■録音した音声を再生する

録音した音声の再生を行うことができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[ボイスレコーダー]

2 [再生]

3 ボイスデータを選択

■再生画面の見かた



《ボイスプレイヤー画面（再生中の場合）》

① **再生位置**
バーをドラッグして、再生位置を調節します。
② **現在の再生時間／総再生時間**
③ **基本操作**
▶／⏸：再生／一時停止
◀◀／▶▶：早戻し／早送り
④ **録音**
ボイスレコーダー画面が表示されます。
⑤ **送信**
ボイスデータをBluetooth®やメール添付で送信します。
⑥ **削除**
ボイスデータを削除します。
⑦ **ファイル**
ボイスプレイヤーのファイル一覧画面が表示されます。

メモ帳を利用する

メモ帳に登録する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[メモ帳]

2 [新規作成]

3 内容を入力→[保存]

メモ帳を確認する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[メモ帳]

2 メモを選択

■メモを編集する

1 メモ帳表示画面→[編集]

2 内容を編集→[保存]

■メモを削除する

1 メモ帳表示画面→[削除]→[はい]

■メモを選んで削除する

1 メモ帳一覧画面→[選択削除]

2 メモを選択→[削除]→[はい]

■メモを送信する

1 メモ帳一覧画面→[送信]→送信方法を選択

2 メモを選択→[送信]→[はい]
アプリケーションが起動します。
メモ帳表示画面→[送信]→送信方法を選択→[はい]でも送信できます。

■メモを検索する

1 メモ帳一覧画面→[⋮]→[メモ検索]→キーワードを入力→[検索]

2 メモを選択

■文字サイズを変更する

1 メモ内容入力画面／メモ帳一覧画面／メモ帳表示画面→[⋮]→[文字サイズ設定]→文字サイズを選択

■メモをメール本文へ挿入する

1 メモ帳表示画面→[送信]→[メール本文へ挿入]→画面に従って操作

■メモをテキストデータに変換する

1 メモ帳表示画面→[⋮]→[.txtに変換]→[OK]
変換したテキストファイルは、コンテンツマネージャーの「Doc.」から確認することができます。

カレンダーを利用する

カレンダーを表示する

カレンダーをスケジュールや期間単位で表示することができます。
- カレンダーの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。
- アカウントと同期すると、サーバーに保存されたカレンダーと本体メモリ内のカレンダーを同期できます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[カレンダー]
初回起動時は説明画面が表示されます。画面に従って操作してください。

■ カレンダー画面の見かた



《カレンダー画面》

① **月表示**
タップすると月表示カレンダーの表示／非表示を切り替えます。
② **予定**
登録されている予定が表示されます。
登録した予定の期間などによって表示は異なります。
③ **今日へ移動**
タップすると今日の予定を表示します。

予定を新規登録する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[カレンダー]

2 [ ]→[予定]
表示単位によっては、予定を作成する日時をタップ→[新しい予定を追加]／[ ]と操作しても予定を作成できます。
- 「リマインダー」をタップすると、件名と日時、通知の繰り返しをリマインダーとして登録できます。

3 必要な項目を入力

4 [保存]

◎ 複数のアカウントを設定している場合、アカウント名をタップすると登録するアカウントを選択できます。

カレンダー画面のメニューを利用する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[カレンダー]

2 [≡]

3

スケジュール	カレンダーをスケジュール単位で表示します。
日	カレンダーを日単位で表示します。
3日	カレンダーを3日単位で表示します。
週	カレンダーを週単位で表示します。
月	カレンダーを月単位で表示します。
検索	スケジュール内を検索します。
設定	カレンダーの各項目を設定します。
ヘルプとフィードバック	カレンダーのヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

◎ ホーム画面に「アプリシート」を表示→[カレンダー]→[ ]→[更新]と操作すると、本体メモリとサーバーのカレンダーを同期できます。

アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチを利用する

アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[アラーム・時計]→[ ]

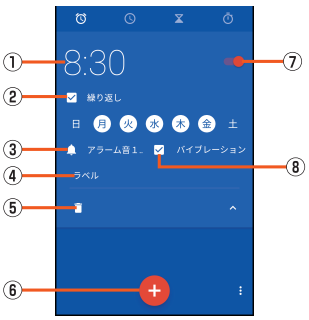
2 登録先の時刻をタップ
登録先を追加するには、「 」をタップしてください。

3 時刻を選択→[OK]

4 各項目を設定

◎ 「繰り返し」をタップすると、アラームを鳴らす曜日を設定できます。
◎ アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
◎ 通話中にアラーム設定時刻になると、受話口（レシーバー）からアラーム音が鳴ります。バイブレータを設定している場合はバイブレータが振動します。

■ アラーム画面の見かた



《アラーム設定画面》

① **設定時間**
② **繰り返し**
アラームが鳴動する曜日を指定します。
③ **アラーム音**
④ **アラーム名**
⑤ **削除**
⑥ **アラーム追加**
⑦ **アラームのオン／オフ**
⑧ **バイブレーション**

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[ ]を[ ]までスライド
- バックライト点灯中（ロック画面表示中を除く）にアラームが鳴った時は「解除」をタップします。

■ スヌーズを利用する

スヌーズを利用すると、再度アラームでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[ ]を[ ]までスライド
- バックライト点灯中（ロック画面表示中を除く）にアラームが鳴った時は「スヌーズ」をタップします。

◎ スヌーズの間隔は、[ ]→[設定]→[スヌーズの長さ]で設定できます。

■ 通常マナーモード中の鳴動を設定する

1 アラーム画面→[ ]→[設定]→[通常マナー中の鳴動]

■ アラーム音量を設定する

1 アラーム画面→[ ]→[設定]→[アラームの音量]

2 音量を調節

世界各地の都市の時刻を確認する

世界各地の時刻を表示できます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[アラーム・時計]→[ ]

2 [ ]

3 都市を選択→[ ]

タイマーで時間を計る

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[アラーム・時計]→[ ]

2 設定時間を入力→[ ]

- 「+1'」をタップすると、時間を1分追加します。
- 「 」をタップすると、カウントダウンを停止します。
- 「 」をタップすると、カウントダウンをリセットします。
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。

タイマーの名称を変更する

1 タイマー画面→[ラベル]

2 名称を入力→[OK]

タイマーを追加する

1 タイマー画面→[ ]

2 設定時間を入力→[ ]

タイマーを削除する

1 タイマー画面で削除するタイマーを表示→[ ]

◎ サイレントマナーモードのときはアラームは鳴りません。
◎ タイマーを追加した場合は、画面を上下にスライドすると表示を切り替えられます。

ストップウォッチで時間を計る

ストップウォッチを利用して、経過時間(ラップタイム)／合計経過時間(スプリットタイム)を計測できます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[アラーム・時計]→[ ]

2 [ ]

- 「 」をタップすると、ラップタイム／スプリットタイムを計測します。

3 [ ]

- 「 」をタップすると、計測結果をリセットします。

◎ ラップタイム／スプリットタイムの履歴を98件まで記憶できます。

からだメイトを利用する

歩数や体重などを記録できます。歩数、体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます。

- からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[からだメイト]

2 [はい]

3 ユーザー情報の各項目を設定→[歩数計ON]→[ ]

お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。

- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、0:00にリセットされます。

歩数測定時のご注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。

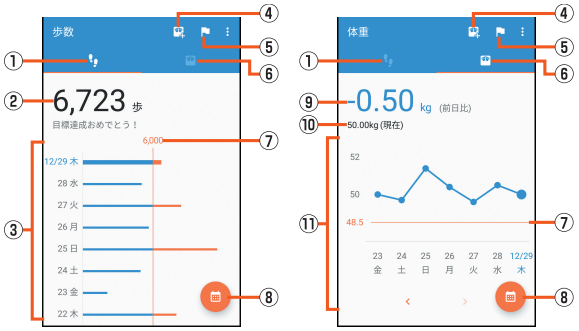
◎ 本製品が不規則に動く場合
- 本製品を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
- 本製品を腰やかばんなどからぶら下げているとき

◎ 不規則な歩行をした場合
- すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
- 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき

◎ 上下運動や振動の多いところで使用した場合
- 立ったり座ったりしたとき
- スポーツを行ったとき
- 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
- 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき
- スピーカーから音が出ているとき
- バイブレータが振動しているとき

◎ 極端にゆっくり歩いた場合

からだメイト画面の見かた



《歩数モード画面》　《体重モード画面》

① **歩数モード**
② **今日の歩数**
③ **歩数の履歴**
日々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタップすると、選択した日の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。
④ **体重入力**
タップすると、日々の体重を入力することができます。
- エモパーを利用すると、音声で体重を入力することもできます。詳しくは「エモパーヘルスケアを利用する」(▶P.83)をご参照ください。

⑤ **目標設定**
タップすると、歩数や体重の目標を設定することができます。
- からだメイト画面→[ ]→[目標設定]と操作しても目標を設定できます。
- 目標設定画面で「リセット」をタップすると、設定した目標の削除ができます。

⑥ **体重モード**
⑦ **目標値(目標設定時のみ表示)**
⑧ **表示切替**
日別／月別の表示を切り替えます。
⑨ **前回との差**
⑩ **最新の体重**
⑪ **体重の履歴**
日々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタップすると、選択した日の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。
- 「 」／「 」をタップすると表示月や週を移動します。

ユーザー情報を変更する

1 からだメイト画面→[ ]→[ユーザー情報]

2 各項目を設定

からだメイトを停止する

1 からだメイト画面→[ ]→[歩数計設定]→[歩数計ON]

「歩数計ON」を無効にすると、からだメイトが停止します。

からだメイトの累積データをリセットする

歩行データや体重データをすべて削除します。

1 からだメイト画面→[ ]→[データリセット]→[はい]

用語の説明を確認する

1 からだメイト画面→[ ]→[用語の説明]

2 用語を選択

電卓で計算する

利用方法などの詳細については、電卓画面上部をタップ→[ ]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電卓]

2 計算する

辞書を利用する

内蔵辞書を利用する

内蔵されている辞書を利用して、単語の意味を調べることができます。
- お買い上げ時は、次の電子辞書が内蔵されています（電子化の都合上、書籍とは一部異なる場合があります）。
  ・「明鏡国語辞典MX 第二版」
  ©KITAHARA Yasuo and Taishukan, 2012
  ・「ジーニアス英和辞典MX 増補版」
  ©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
  ・「ジーニアス和英辞典MX 第2版」
  ©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[辞書]

2 [辞書切替]→[明鏡国語辞典MX 第二版]／[ジーニアス英和辞典MX 増補版]／[ジーニアス和英辞典MX 第2版]

3 語句／スペルを入力→単語を選択
文字を入力するたびに、該当する単語の候補が表示されます。
- 別の単語を検索するには、「ひきなおす」をタップしてください。この後、語句を入力して調べ直してください。
- 履歴を確認するには、「履歴」をタップし履歴を選択してください。
- 単語カードに追加するには、「単語カード追加」をタップしてください。
- 単語カードを確認するには、「単語カード」をタップし単語カードを選択してください。

■単語テストを行う

1 内蔵辞書画面→[単語テスト]

2 件数を選択して、テスト開始

3 [解答へ]／[次へ]
- テストを途中で終了するには、「終了」をタップしてください。

4 テストが終了したら、[終了する]／[もう一度]

ネット辞書を利用する

サイト上の辞書を利用して、単語の意味などを調べることができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[辞書]

2 [辞書切替]→[百科事典]
- 初回起動時は利用規約画面が表示されます。内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

3 語句を入力→[検索]→検索結果を選択
- 別の単語を検索するには、「ひきなおす」をタップしてください。この後、語句を入力して調べ直してください。
- 履歴を確認するには、「履歴」をタップし履歴を選択してください。

ワイヤレス出力を利用する

本製品とワイヤレス接続機能付きテレビをワイヤレス接続すると、本製品の表示内容をテレビに表示できます。
- 表示するアプリケーションによってはワイヤレス出力ができない場合があります。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[ワイヤレス出力]
ワイヤレス出力画面が表示されます。
初回起動時にはヘルプ画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

2 「OFF」をタップして「ON」に切り替える
ワイヤレス接続可能な機器の一覧が表示されます。
[ ]→[ヘルプ]と操作すると、ヘルプを表示します。

3 接続する機器を選択
本製品の表示内容が接続したテレビに表示されます。
接続する機器によって、設定画面が表示される場合があります。設定内容についてはご利用のテレビの取扱説明書をご参照ください。

◎ 電池残量が（残量約10%）以下になった場合は、自動的にワイヤレス出力を停止します。
◎ 通話中、着信中はワイヤレス出力することはできません。ワイヤレス出力中に着信があった場合は、ワイヤレス出力を停止して着信画面が表示されます。
◎ 同時に複数のテレビにワイヤレス出力することはできません。

端末設定

設定メニューを表示する 80
au設定メニューを表示する 80
音と通知に関する設定をする 81
ヒカリエモーションを設定する 81
ディスプレイの設定をする 81
便利機能に関する設定をする 82
エモパーを設定する 83
通話に関する設定をする 84
アプリに関する設定をする 84
その他に関する設定をする 85
位置情報の設定をする 85
ロックとセキュリティに関する設定をする 86
使用する言語や文字入力の設定をする 87
バックアップとリセットの設定をする 88
アカウントを設定する 88
日付と時刻の設定をする 88
ユーザー補助の設定をする 88
印刷の設定をする 88
端末情報の設定をする 88

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]

項目	概要	参照先
au設定メニュー	au IDの設定やauが提供するサービスの設定、利用ができます。	P.80
プロフィール	プロフィールの確認や編集ができます。 ・あらかじめ登録されている電話番号などのほかに、名前や住所などの情報を追加登録して、メールへの添付などに利用できます。	P.38
音と通知	メディア再生時、着信時の音量や音などを変更できます。	P.81
ヒカリエモーション	充電／着信ランプが点滅するタイミングや光りかたについて設定します。	P.81
ディスプレイ	画面の明るさの設定や文字フォントの切替などを行います。	P.81
便利機能	ツイストマジックやスクロールオートなど便利な機能について設定します。	P.82
エモパー	エモパーについて設定します。	P.83
省エネ&バッテリー	長エネスイッチの起動や電池利用状況の確認ができます。 ・長エネスイッチについて詳しくは、「長エネスイッチを利用する」(▶P.74)をご参照ください。	−
通話	通話について設定します。	P.84
ホーム切替	利用するホームアプリ※を切り替えることができます。 ※「auベーシックホーム」／「Google Nowランチャー」に設定することができます。	−
アプリ	アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。	P.84
ストレージとUSB	本体メモリやmicroSDメモリカード、USBメモリの容量を確認したり、microSDメモリカード／USBメモリの初期化などを行います。	P.90
メモリ	設定した計測時間内のメモリ(RAM)の使用状況を確認します。 ・アプリケーションごとのメモリ使用状況を確認することもできます。	−
Wi-Fi	Wi-Fi®について設定します。	P.92
Bluetooth	Bluetooth®について設定します。	P.94
データ使用量	データ通信量について設定します。	−
もっと見る	機内モード、テザリングなど、ネットワークについて設定します。	P.85
位置情報	位置情報について設定します。	P.85
ロックとセキュリティ	端末のロックやセキュリティ、シークレットモードについて設定します。	P.86
言語と入力	表示する言語の設定、文字入力関連について設定します。	P.87
バックアップとリセット	Googleサーバーへのバックアップの設定や、microSDメモリカードなどを利用したデータ引き継ぎ、本製品の初期化を行います。	P.88
アカウント	利用するアカウントを追加します。設定しているアカウントの種類が「アカウントを追加」の上に表示されます。	P.88
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。	−
日付と時刻	日付と時刻について設定します。	P.88
ユーザー補助	ユーザー補助サービスを設定します。	P.88
印刷	本製品から印刷するための設定をします。	P.88
端末情報	電波状態などの情報を確認できます。また、本製品の状態を診断します。	P.88
auお客さまサポート	auお客さまサポートのサイトに接続したり、157(お客さまセンター)に発信したりします。	−

◎「🔍」をタップすると、設定メニューの内容を検索できます。検索結果をタップすると、設定画面が表示されます。

au設定メニューを表示する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[au設定メニュー]

2

au ID	au ID・パスワードを設定します。 ・au IDについて詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。
シンクコール	シンクコールについて設定します。 ・詳しくは、「シンクコールを設定する」(▶P.38)をご参照ください。
ステータスバーの連絡先表示	ステータスパネルのお知らせに連絡先を表示するかどうか設定します。
au位置情報サービス	auが提供する位置情報サービスです。対応アプリが、少ない電力消費で現在地周辺の情報表示・配信をするためなどに使います。
au Wi-Fi 接続ツール	au Wi-Fi接続ツールを使用します。 ・詳しくは、「au Wi-Fi接続ツールを利用する」(▶P.70)をご参照ください。
データを移行する	写真や連絡先などスマートフォンに保存されている様々なデータをauのサーバーに預けたり、microSDメモリカードに保存したりするアプリです。 機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。
スマホとタブレットを連携する	スマホとタブレットを連携して、便利にお使いになれます。スマホへの電話着信やEメール(@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、スマホをタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。
au災害対策・緊急速報メール	緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報)の受信に関する設定をします。
データお預かり設定	データお預かり機能のオン／オフや、預けるデータの種別を設定できます。
歩きスマホ注意アプリ	歩きスマホは大変危険です。歩きスマホを検知してお知らせします。
au通信品質レポート機能	さらなる品質向上のため、通話やデータ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所(GPS情報)を収集し、auに自動送信する機能です。
法的情報	法的情報を表示します。

音と通知に関する設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[音と通知]

2

メディアの音量	メディア音(音楽や動画など)の音量を設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
着信音の音量	着信音の音量を設定します。
エモパーの音量	エモパーの音声の音量を設定します。
着信音	電話の着信音に設定するデータを選択して登録します。
着信時のバイブ	着信時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
着信時のバイブパターン	着信時のバイブレータのパターンを設定します。
通知を非表示	**優先する通知のみを許可** 優先する通知を設定します。 • マナーモードを「優先する通知のみ」に設定した場合などは、本設定に従って着信音や通知音を鳴らします。 • アラームは常に優先する通知となり、設定の変更はできません。 **自動ルール** 特定の時間帯や予定期間の通知動作について設定します。
デフォルトの通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
Music Store	Music Storeに接続します。
待ちうた	Chromeを起動して待ちうたサイトを表示します。
その他の音	**ダイヤルパッドの操作音** 電話番号やプッシュ信号入力時の操作音を有効にするかどうかを設定します。 **画面ロック音** 画面ロック/ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。 **タッチ操作音** メニューやアイコン選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。 **タッチ操作バイブ** タップしたときに、バイブレータを振動させるかどうかを設定します。
端末がロックされているとき	ロック画面に表示する通知について設定します。
アプリの通知	アプリの通知をブロックしたり優先度を設定できます。
通知へのアクセス	通知にアクセスできるアプリを設定します。
[通知を非表示]へのアクセス	「通知を非表示」にアクセスできるアプリを設定します。

ヒカリエモーションを設定する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ヒカリエモーション]

2

電話着信中	着信時に光を点滅させて通知するかどうかを設定します。
電話着信パターン/カラー	着信時の点滅パターンや点滅カラーについて設定します。
お知らせ通知	新着通知受信時、通知を確認するまで画面消灯中に着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。
就寝時に暗くする	就寝時の間、自動的に着信/充電ランプの明るさを抑えるかどうかを設定します。
時間設定	「就寝時に暗くする」で明るさを抑える時間帯を設定します。 • 「エモパー連動」を選択すると、エモパーが学習したお客様の就寝時間に、「就寝時に暗くする」が有効になります。
充電開始時	充電開始時に光を点滅させるかどうかを設定します。
充電中	充電中、明るさを一定のパターンで変化させるかどうかを設定します。
ロック解除時	画面ロック解除時に光を点滅させるかどうかを設定します。
終話時	通話が終了したときに光を点滅させるかどうかを設定します。
画面の明るさを落とす時	画面が自動で消灯するときに光を点滅させるかどうかを設定します。

電話着信パターン/カラーについて
◎ 相手との関係で変化/点滅パターン11(うつろい)/12(ときめき)については、決められた複数のカラーで点滅するため、点滅カラーの選択はできません。
充電開始時について
◎ 電源が切れている場合は、点滅しません。

充電中について
◎ 不在着信などの通知がある場合や電源が切れている場合は、明るさが変化しません。

ディスプレイの設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ディスプレイ]

2

壁紙	ホーム画面/ロック画面の背景を変更します。
明るさのレベル	画面の明るさを設定します。 • 「明るさを自動調整」を有効にすると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。 • 「充電時は明るくする」を有効にすると、充電中は明るさの設定にかかわらず画面が明るく表示されます。
スリープ	バックライトの点灯時間を設定します。
電源ボタンを2回押してカメラを起動	[(⏻)]を2回押してSHカメラを起動するかどうかを設定します。
リラックス設定	**リラックスビュー** 目に優しい画質に設定するかどうかを設定します。 **リラックスオート** 特定の時間帯にリラックスビューを有効にするかどうかを設定します。 **リラックスオートの概要** 機能の説明を表示します。 **時間設定** 「リラックスオート」でリラックスビューを有効にする時間帯を設定します。 • 「エモパー連動」を選択すると、エモパーが学習したお客様の就寝前に、「リラックスビュー」が有効になります。 **画質設定** リラックスビューの画質を設定します。
画質モード	画質モードを設定します。
端末が回転したとき	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。
文字フォント設定	**フォントサイズ** 文字サイズを設定します。 **文字フォント切替** 画面に表示される文字フォントを設定します。 • 「ダウンロードフォントを検索」をタップするとGoogle Playでフォントを検索します。Google Playの利用方法について詳しくは、「Google Playを利用する」(▶P.70)をご参照ください。
のぞき見ブロック	**のぞき見ブロック** のぞき見ブロックを利用して周囲から画面をのぞかれにくくするかどうかを設定します。 **強弱設定** 周りの人から見えにくくする効果(濃淡)を調整します。
スクリーンセーバー	充電中に自動で画面が消灯したとき、スクリーンセーバーを起動するかどうかを設定します。
電池残量%表示	電池残量を%で表示するかどうかを設定します。

便利機能に関する設定をする

便利機能の設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[便利機能]

2

ツイストマジック	▶P.82「ツイストマジックの設定をする」
スクロールオート	▶P.82「スクロールオートの設定をする」
Clip Now	▶P.83「Clip Nowの設定をする」
モーションでON／OFF	**持つと画面点灯** 画面消灯中、本製品を持ち上げて静止したときに画面を点灯させるかどうかを設定します。 ・詳しくは、「持つと画面点灯について」(▶P.19)をご参照ください。 **体験しよう！** 「持つと画面点灯」の使いかたを「体験しよう！」アプリで確認することができます。 **Bright Keep** 本製品を手に持っている間、画面の点灯を維持するかどうかを設定します。 **ポケットに入れて消灯** ロック画面やホーム画面表示中に本製品をポケットに入れると、画面を消灯するかどうか設定します。
フリップカバー使用時の表示	小窓付きのフリップカバーを装着している場合、小窓用の画面を表示するかどうかを設定します。
セルフチェック	**セーフモードで再起動** セーフモードで起動します。 ・詳しくは、「セーフモードで起動する」(▶P.19)をご参照ください。 **チェックスタート** 項目を選択して本製品の状態を診断できます。「端末の機能から選択」を選択した場合は、各項目の「?」をタップすると、ヘルプが表示されます。 **診断履歴** セルフチェックの履歴が表示されます。履歴を選択すると、詳細結果が表示されます。

Bright Keepについて
◎ お使いの状況によっては正しく動作しない場合があります。
フリップカバー使用時の表示について
◎ 小窓用の画面は「画面ロック」を「なし」に設定している場合、表示することができません。小窓用の画面を利用する場合は「画面ロック」を「なし」以外に設定する必要があります。

ツイストマジックの設定をする

本製品を持ったまま手首をひねると、1つ前に使用していたアプリケーションに切り替えることができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[便利機能]→[ツイストマジック]

2

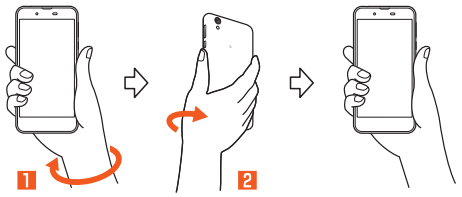
ツイストマジックON／OFF設定	ツイストマジックを利用するかどうかを設定します。
動作制限設定	ツイストマジックの動作を制限するアプリケーションを設定します。設定したアプリケーションを利用中は、ツイストマジックが動作しません。
体験しよう！	「ツイストマジック」の使いかたを「体験しよう！」アプリで確認することができます。

◎ 利用中のアプリによっては、正しく切り替わらない場合があります。また、次の場合はツイストマジックを利用できません。
- ホーム画面表示中
- 横表示中
- ロック画面表示中
- ステータスパネル表示中
- 着信中
- チャイルドロック設定中
- 「画面の固定」機能の利用中
- 「体験しよう！」アプリ起動中

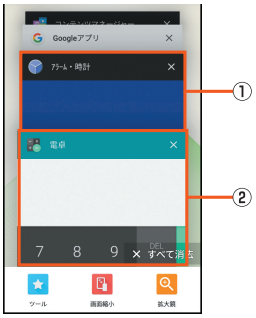
■ツイストマジックを利用する

1 本製品を持ったまま、手首をひねる

2 手首を元の位置に戻す
1つ前に使用していたアプリケーションに切り替わります。



■切り替わるアプリについて
アプリ使用履歴画面(▶P.26)で2番目に表示されているアプリに切り替わります。連続して操作すると、先頭と2番目に表示されているアプリが交互に切り替わります。



《アプリ使用履歴画面》

① **2番目の使用履歴**
1つ前に使用していたアプリの履歴です。ツイストマジックを行うと、このアプリに切り替わります。
② **先頭の使用履歴**
使用中のアプリの履歴です。ツイストマジックを行うと、2番目の使用履歴に移動します。

◎ アプリによっては、アプリ使用履歴画面に使用履歴が残らない場合があります。使用履歴がないアプリには切り替わりません。

スクロールオートの設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[便利機能]→[スクロールオート]

2

スクロールオートON／OFF設定	スクロールオートを利用するかどうかを設定します。
対象アプリ設定	スクロールオートを動作させるアプリを設定します。
ステータスバーへの通知	対象アプリが起動しているときに、お知らせアイコンで通知するかどうかを設定します。
体験しよう！	「スクロールオート」の使いかたを「体験しよう！」アプリで確認することができます。

◎ スクロールオートは上下方向にのみ対応しています。

■画面の自動スクロールを利用する

1 スクロールする方向に画面をドラッグ→「↑」／「↓」までドラッグし指を離す
画面をドラッグした方向にスクロールを開始します。
- 約5分間動作するとスクロールを停止します。
- スクロール速度を調整するには「+」／「−」をタップします。
- スクロールを停止するには画面をタップします。

◎ 画面をドラッグする速度が速すぎると、↑／↓が表示されません。
◎ 画面の位置によっては、指を離しても自動スクロールしない場合があります。

Clip Nowの設定をする

画面の縁を指でなぞることで表示中の画面を画像(保存用スクリーンショット)として撮影できます。Chrome画面を撮影した場合は、保存用スクリーンショットとあわせてURLも保存することができます。
また、画面を一時的に保存できる一時メモ用スクリーンショットを利用できます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[便利機能]→[Clip Now]

2

Clip Now ON／OFF設定	Clip Nowを利用するかどうかを設定します。
使い方ガイド	Clip Nowについての説明を表示します。
なぞり動作設定	**横** 横になぞって、保存用スクリーンショットを撮影するかどうかを設定します。 **縦** 縦になぞって、一時メモ用スクリーンショットを撮影するかどうかを設定します
共有メニューの表示	一時メモを撮影したときに、共有メニューを表示するかどうかを設定します。
全件削除	撮影した保存用スクリーンショットをすべて削除します。

◎ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合があります。

■保存用スクリーンショットを撮影する

1 保存したい画面をディスプレイに表示→画面の左上／右上から、画面の縁を右／左になぞる

Chrome画面を撮影した場合は、URLも保存されます。
撮影したデータやURLを確認するには、ホーム画面に「アプリシート」を表示→[Clip Now]と操作してください。

■一時メモ用スクリーンショットを利用する

1 一時的に保存したい画面をディスプレイに表示→画面の左上／右上から、画面の縁を下になぞる

2 画面の左端または右端に表示される一時メモを画面の中央にドラッグ

一時メモ削除を「 」までドラッグすると削除できます。

エモパーを設定する

あらかじめ登録したお客様の情報やエモパーの設定に合わせ、ロック画面でさまざまな情報を音声や画面表示でお伝えします。
お客様の本製品の使用状況を理解し、より適切なタイミング※1で情報をお伝えするようになっていきます。
また、お客様の声※2をエモパーが認識して応答することがあります。
さらに、エモパーを使ったメモ機能(エモパーメモ)や、健康応援機能(エモパーヘルスケア)が利用できます。

※1 お買い上げ時は、充電時のみお話しするように設定されています。利用しない場合は、初期設定画面で「OFFにする」をタップしてください。
※2 エモパーが話してから画面が消灯するまでの間のみ音声を認識します。(音声が認識される時間は最大10秒間です)

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[エモパー]

エモパーの画面が表示されます。エモパーの状態やお客様についての情報、約1週間分のエモパーとの日常の記録などが確認できます。
初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定完了後に「あなたについて」で職場・学校や誕生日など、お客様の情報を設定することをおすすめします。設定した情報をもとにエモパーが話す内容のバリエーションや機会が増えます。

2 【⚙】

エモパー設定画面が表示されます。

3

エモパー設定	「 」／「 」をタップするたびにエモパーのON／OFFを切り替えます。
エモパー選択	エモパーや名前を設定します。 ・「サイトからエモパーを追加する」をタップすると、サイトから別のエモパーを追加できます。
基本動作について	**お話しする音量** エモパーの話し声の音量を設定します。 **お話し中の表現** エモパーがお話し中の効果について設定します。 **マナーモード中も声でお話し** マナーモード設定中でも音声でお伝えするかどうかを設定します。 **暗いと小声でお話し** 本製品を暗い場所に置いているときに音声を小さくしてお伝えするかどうかを設定します。 **声をかけるともっとお話し** エモパーに声をかけると、さらに詳細な情報をお話しするように設定します。 **近くの振動を察知** 周囲の振動を検知してお話しするかどうかを設定します。 **自宅の特定にWiFiも使用** 位置情報の取得にWi-Fi®を利用するかどうかを設定します。
あなたについて	ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
エモパーの話題	エモパーがお伝えする情報を設定します。
エモパーメモ	エモパーメモの利用について設定します。
エモパーヘルスケア	エモパーヘルスケアの利用について設定します。
エモパーの記憶	エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータの保存や削除、復活をします。 ・記憶の保存や復活にはmicroSDメモリカードが必要です。
初期設定	エモパーの初期設定を行います。
注意事項	エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。
FAQ	公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「よくある質問(FAQ)」に接続します。

◎ エモパーをご利用になる場合は、パケット通信料がかかります。
◎ エモパーは日本語にのみ対応しています。
◎ 海外で利用するときは、エモパーのお伝えする情報が制限されます。
◎ エモパーがお伝えする情報は、本製品の使用状況と正確には合っていない場合があります。
◎ エモパーの初期設定を行うと「歩数計設定」の「歩数計ON」が有効になります。
◎ 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、位置情報を取得する場合があります。位置情報の取得には、「位置情報」を「ON」に設定する必要があります。また、「モード」は「高精度」に設定してください。「位置情報」が「OFF」のときや、「モード」が「バッテリー節約」のときは、位置情報が必要な情報をお伝えできません。
◎ ディスプレイを下にして本製品を置いている場合などはお話ししません。
◎ エモパーが話しているときに[+]／[−]を押すと音量を調節できます。

エモパーが話すタイミングについて

◎ 「あなたについて」の「自宅」や「自宅のほかにお話しできる場所」に設定した場所で、画面消灯中やロック画面表示中に本製品を地面に対して水平に近い状態で置いたときなどに話します。
◎ 午前2:00～午前5:00の間は話しません。
◎ イヤホンを接続中は、場所や時間帯にかかわらず話します。
◎ ロック画面表示中に端末を数回(2秒程度)振ると話します。

■エモパーメモを利用する

エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定にあわせてお伝えします。
- ロック画面をダブルタップしてから話しかけてください。
- ロック画面では、時計やアイコン、情報などが表示されていないところをタップしてください。
- 外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。
- エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」、「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。

■エモパーヘルスケアを利用する

お客様の体重や歩数を気にかけたり、応援したりすることで、健康維持やダイエットをサポートします。体重はエモパーメモと同じ手順で話しかけることで記憶できます。
- エモパーに体重を話しかける際は、「今日の体重　XX.Xキロ」のように話しかけてください。
- 記憶したお客様の体重や歩数は、からだメイトで管理されます。
- 株式会社タニタの一部の体組成計と連携することで、体重を覚えることもできます。
  - ・体組成計との連携については、エモパー設定画面→[エモパーヘルスケア]→[タニタ体組成計との連携]と操作し、画面に従って操作してください。
  - ・エモパーが連携できる体組成計の機種については、「公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)」をご確認ください。

■公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)について

エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Google Playからアップデートすることがあります。
本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する最新の情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/sp/index.html

通話に関する設定をする

通話の設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]

2

発信者番号通知	▶P.99「電話番号を通知する」
音声・伝言メモ	伝言メモ／音声メモの再生や、伝言メモの設定を行います。 ・録音した伝言メモ／音声メモの再生について詳しくは、「伝言メモ／音声メモを再生する」(▶P.84)をご参照ください。 ・伝言メモの設定について詳しくは、「伝言メモを利用する」(▶P.38)をご参照ください。
国際発信設定	国際電話をかける場合に利用する国番号のリストを表示します。 ・国名を選択して編集／削除することができます。
着信転送・お留守番サービス	着信転送サービス、お留守番サービスについて設定します。 ・詳しくは、「着信転送サービスについて」(▶P.98)、「お留守番サービスEXについて」(▶P.99)をご参照ください。
ガイド言語設定	ガイダンスの言語を切り替えます。 ・詳しくは、「英語ガイダンスへ切り替える」(▶P.101)、「日本語ガイダンスへ切り替える」(▶P.101)をご参照ください。
割込通話設定	割込通話サービスについて設定します。 ・詳しくは、「割込通話サービスについて」(▶P.102)をご参照ください。
着信拒否	着信拒否について設定します。 ・詳しくは、「着信拒否の設定をする」(▶P.84)、「番号通知リクエストサービスについて」(▶P.99)、「迷惑電話撃退サービスについて」(▶P.102)をご参照ください。
クイック返信	着信画面で送信するSMSのメッセージを編集します。 ・編集するメッセージを選択→メッセージを編集→[OK]と操作すると、メッセージを編集できます。
オプションサービス申込	オプションサービスの申し込みを行います。
シンクコール設定	▶P.38「シンクコールを設定する」

伝言メモ／音声メモを再生する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[音声・伝言メモ]→[伝言メモリスト]／[音声メモリスト]
伝言メモリスト画面／音声メモリスト画面が表示されます。

2 再生する伝言メモ／音声メモを選択
伝言メモ／音声メモが再生されます。

停止	再生を停止します。
保護／解除	伝言メモ／音声メモが自動的に削除されないように保護を設定／解除します。
削除	再生中の伝言メモ／音声メモを削除します。
スピーカーON／スピーカーOFF	スピーカー／受話口で聞くことができます。

◎伝言メモ／音声メモが複数ある場合、再生中に「▶|」／「|◀」をタップすると次／前の伝言メモ／音声メモを再生できます。

■伝言メモリスト画面の見かた



《伝言メモリスト画面》

① **伝言メモの再生状態を示すアイコン**
:未再生の伝言メモ(赤色)
:再生済みの伝言メモ(緑色)
保護された伝言メモのアイコンには が付きます。
② **相手の方の名前／電話番号／非通知設定の着信**
③ **伝言メモが録音された日時**

着信拒否の設定をする

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信拒否]

2 ロックを解除→[着信拒否設定]

3

指定番号	指定した電話番号からの着信を拒否します。 ・[⋮]→[編集]→[新規登録]と操作すると、着信を拒否する番号を登録できます。 ・登録済みの項目を選択→[変更]／[1件削除]／[全件削除]→[はい]と操作すると、登録した内容を変更／削除できます。
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
着信履歴保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。

◎拒否メッセージの項目をロングタッチ→[再生]と操作すると、メッセージを再生します。

アプリに関する設定をする

アプリの設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アプリ]

2 アプリケーションを選択
アプリケーションの詳細画面が表示され、アプリケーションのアンインストールなどができます。
・Google Playなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。
・アプリケーションによっては削除できないものもあります。
※表示される項目はアプリケーションによって異なります。

アプリの詳細設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アプリ]

2 [⚙]

3

アプリの権限	▶P.27「利用する機能について設定する」
アプリリンク	他のアプリケーションなどからの連携について設定します。
既定のアプリ	電話やSMSなどを行う際に使用するアプリケーションについて設定します。
他のアプリの上に重ねて表示	使用中の他のアプリケーションの上に重ねて表示することを許可するかどうかを設定します。
システム設定の変更	端末の設定を変更することを許可するか設定します。
電池の最適化	▶P.27「電池の最適化の設定をする」

その他に関する設定をする

その他の設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]

2

機内モード	▶P.85「機内モードを設定する」
テザリング	**USBテザリング** ▶P.93「USBテザリング機能を利用する」 **Wi-Fiテザリング** ▶P.93「Wi-Fi®テザリング機能を利用する」 **Wi-Fiテザリングを設定** ▶P.93「Wi-Fi®テザリング機能の設定をする」 **Wi-Fiテザリング簡単接続** ▶P.93「かんたんにWi-Fi®テザリング機能の設定をする」 **Bluetoothテザリング** ▶P.93「Bluetooth®テザリング機能を利用する」
NFC／おサイフケータイ 設定	▶P.95「おサイフケータイ®を設定する」
ワイヤレス出力	▶P.78「ワイヤレス出力を利用する」
VPN	VPNの設定や管理を行います。 ・VPN（Virtual Private Network）とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。VPNを利用する場合は、「画面ロック」を設定する必要があります。 ・VPNを追加する場合は、[ ]→必要な項目を設定／入力→[保存]と操作します。 ・VPNに接続する場合は、VPN名を選択→ユーザー名とパスワードを入力→[接続]と操作します。 ・VPNを編集／削除する場合は、[ ]をタップします。
モバイルネットワーク	**データローミング** ▶P.103「データ通信を設定する」 **VoLTEローミング設定** ▶P.103「海外でVoLTEを利用する」 **ネットワークモード** ▶P.103「ネットワークモードを設定する」 **アクセスポイント名** 利用するアクセスポイントについて設定します。 **通信事業者** 利用するネットワークを選択します。
プロキシ設定	プロキシ設定を一括で有効／無効にします。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（電話、パケット通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能など）がOFFになります。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[機内モード]

◎ 航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
◎ ステータスパネルを表示→機能ボタンの「機内モード」をタップしても機内モードを設定できます。
◎ 「機内モード」をONに設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157（お客さまセンター）には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。
◎ 「機内モード」をONに設定すると、電話やメール送受信ができなくなります。また、無線LAN（Wi-Fi®）、Bluetooth®機能が「OFF」になります。「機内モード」をONにしているときに無線LAN（Wi-Fi®）、Bluetooth®を利用したい場合は、それぞれを「ON」に設定し直してください。

位置情報の設定をする

■ アプリケーションの位置情報リクエストを許可する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[位置情報]

2 「OFF」をタップして「ON」に切り替える
位置情報の利用についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。「いいえ」／「はい」の設定によって、設定されるモードが異なります。

■ 位置情報について設定する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[位置情報]

2

モード	位置情報取得の精度を設定します。
Google ロケーション履歴	Googleアカウントに関連付けられた端末の最新の場所データなどをGoogleで定期的に保存し使用するかどうかを設定します。また、ロケーション履歴をGoogleで保存するかどうかを設定します。設定する場合は、Googleアカウントの設定が必要です。詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。
au位置情報サービス	auの位置情報サービスにアクセスするアプリを設定します。

■ 位置情報の精度を向上させる

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[位置情報]

2 [ ]→[スキャン]

3

Wi-Fiのスキャン	位置情報の精度向上のためにWi-Fi®ネットワークをスキャンするかどうかを設定します。
Bluetoothのスキャン	位置情報の精度向上のために、Bluetooth®ネットワークをスキャンするかどうかを設定します。

◎ ステータスパネルを表示→機能ボタンの「位置情報」をタップしても位置情報を設定できます。
◎ 最近の位置情報リクエストが表示されている場合は、タップするとアプリ情報を確認できます。

GPS機能について
◎ 電池の消耗を抑える場合は、「モード」を「バッテリー節約」に設定してください。GPS機能が無効になります。
◎ 電波が良好な場所でご利用ください。

Wi-Fiのスキャン、Bluetoothのスキャンについて
◎ ONにすると、Wi-Fi®機能やBluetooth®機能がOFFの場合でもスキャンします。

ロックとセキュリティに関する設定をする

ロックとセキュリティの設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ロックとセキュリティ]

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

画面ロック	ロック画面の解除方法を設定します。
パターンを表示する	ロックを解除するときに指の軌跡を線で表示するかどうかを設定します。
自動ロック	画面消灯後、「画面ロック」で設定した解除方法が必要になるまでの時間を設定します。
電源キーですぐにロックする	「自動ロック」の設定にかかわらず(⏻)を押して画面を消灯した場合に、すぐに画面をロックするかどうかを設定します。
ロック画面メッセージ	ロック画面に表示するメッセージを登録します。
見るだけ解除	▶P.86「見るだけ解除を設定する」
Smart Lock	※「Smart Lock」を利用するには、「画面ロック」を「なし」/「スワイプ」以外に設定する必要があります。 **持ち運び検知機能** 画面ロックを解除した後、本製品を持ち運んでいる間は、画面ロックを解除したままにします。 **信頼できる場所** 自宅などの信頼できる場所を登録しておくと、その場所の付近にいるときだけ画面ロックを解除します。 **信頼できる端末** 信頼できる機器を登録しておくと、車や時計などのBluetooth®を搭載した機器と接続されているときや、NFCタグをかざしたときに画面ロックを解除します。 **認識済みの顔** 顔認証を利用して画面ロックを解除するように設定します。 **信頼できる音声** 登録した音声を認識して画面ロックを解除するように設定します。
セキュリティキー設定	セキュリティキーを変更します。
シークレット設定	▶P.86「シークレット設定をする」
SIMカードロック設定	**SIMカードをロック** 起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **SIM PINの変更** PINコードを変更します。 ・SIM PINを変更する場合は、「SIMカードをロック」を有効に設定してください。 ・画面に従って設定されているPINコードを解除し、新しいPINコードを登録します。
スマートフォンの暗号化	本製品が暗号化されていることを確認できます。
パスワードを表示	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理アプリ	アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
提供元不明のアプリ	提供元が不明なアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。
ストレージのタイプ	ストレージの方式が表示されます。
信頼できる認証情報	安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。
証明書をインストール	暗号化された証明書を認証情報ストレージにインストールします。 ・画面に従って証明書のパスワードを入力し、証明書名を指定してください。 ・証明書をインストールする場合は、「画面ロック」を設定する必要があります。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージの内容を消去します。
信頼できるエージェント	画面ロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
画面の固定	表示中の画面を固定するように設定します。
使用履歴にアクセスできるアプリ	アプリ使用履歴データにアクセスできるアプリを設定します。

画面ロックについて

◎ ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)への電話はかけられます。

◎ 画面ロックの解除方法として設定した「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」をお忘れになった場合は、auお客さまセンターにご連絡ください。なお、解除の際に設定やデータはすべて初期化されてしまう場合がありますので、ご了承ください。

見るだけ解除を設定する

見るだけ解除はお客様の目の特徴を識別し、画面ロックを解除する機能です。目の登録/認証は、インカメラを利用します。

・見るだけ解除を利用するには、あらかじめ「画面ロック」を「なし」/「スワイプ」以外に設定する必要があります。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ロックとセキュリティ]→[見るだけ解除]

2 ロックを解除

■目が未登録の場合

3 画面の指示に従って目を登録

「[?]」をタップすると、目の登録時の注意事項を表示できます。

4 利用タイミングを選択→[OK]

■目を登録済みの場合

3

利用タイミング	**ロック画面** ロック画面で目の認識を行います。 ・「🔒」を画面上部にスライド後も目の認識を行うことができます。 ・エモパーの「お話し中の表現」が一部制限されます。 **ロック解除アイコン操作後** ロック画面で「🔒」を画面上部にスライド後に目の認識を行います。
再登録	登録済みの目を削除し、再登録を行います。
登録データの削除	登録済みの目を削除します。
使い方のヒント	目の認識時の注意事項を表示します。

■見るだけ解除を利用する

1 目の認識枠に目を映す

「利用タイミング」で設定した画面に目の認識枠が表示されます。

■見るだけ解除について

・本製品の「見るだけ解除」は、目の特徴を識別しロック解除を快適に行うための機能であり、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本製品を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・より高い安全性を希望する場合は、パスワードをお使いください。

・「見るだけ解除」を設定中、ロック画面の壁紙は固定のものになります。

・Smart Lockを設定している場合は「見るだけ解除」はご利用できません。

・「利用タイミング」を「ロック画面」に設定した場合は、エモパーの「お話し中の表現」が一部制限されます。

◎ 見るだけ解除を正しく動作させるために、目の登録/認識をするときは次の内容にご注意ください。
- 本製品と顔の距離は20cm～30cmにしてください。
- 両目を認識枠内におさまるように映してください。
- 本製品や顔が揺れないようにしてください。
- 屋内で登録してください。インカメラに直接光が入らないようにしてください。
- 暗い場所では認識できない場合があります。
- 眼鏡をかけている場合は、顔を傾け眼鏡に光が反射しないようにし、眼鏡のフレームで目や目の周りが隠れないようにしてください。
- コンタクトレンズの種類によっては、認識できない場合があります。
- 身体を横にしていると認識できない場合があります。姿勢を起こしてご利用ください。
- インカメラのレンズ部に指紋や油脂などが付くと、目の登録/認識ができない場合があります。柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。

◎ 認識性能はお客様の使用状況により異なります。登録時に比べ、化粧などで目や目の周りの特徴が異なると、認識が困難になったり、認識性能が低下する場合があります。

◎ 本体の温度が上昇するなどカメラが使用できない場合は、見るだけ解除を起動できないことがあります。その場合は、設定しているロック画面の解除方法で解除してください。

◎ 認識が成功しない場合や、時間がかかる場合は再度登録をしてください。

シークレット設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ロックとセキュリティ]→[シークレット設定]→ロックを解除

2

連絡先シークレット設定	連絡先シークレットについて設定します。
シークレットモード一時解除の設定	**セキュリティキー変更** シークレットモードを一時解除するときに用いるセキュリティキーを設定します。

使い方ガイド	**シークレットモード一時解除の仕方** シークレットモードを一時解除する方法を表示します。 **連絡先のシークレット機能** シークレット設定をした連絡先データや、バックアップなどの動作について表示します。

使用する言語や文字入力の設定をする

1 **ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[言語と入力]**
言語と入力画面が表示されます。

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

言語	日本語と英語の表示を切り替えます。
現在のキーボード	キーボードと入力方法を選択します。
Googleキーボード	※「現在のキーボード」で設定を変更すると表示されます。 ▶ P.87「Googleキーボードの設定をする」
S-Shoin	S-Shoinでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。 • 詳しくは、「S-Shoinの設定を行う」(▶P.31)をご参照ください。
Google音声入力	**言語** 音声入力する言語を設定します。 **「OK Google」の検出** 本製品に向かって「Ok Google」と発声することで音声検索を開始する場合の設定を行います。 **ハンズフリー** 画面ロック時に、ハンズフリー機器からのリクエストを許可するかどうかを設定します。 **音声出力** 検索結果の音声出力方法について設定します。 **オフラインの音声認識** 音声認識する言語を管理します。 **不適切な語句をブロック** 音声認識した語句の中で、不適切なものを非表示にするかどうかを設定します。 **Bluetoothヘッドセット** Bluetooth®ヘッドセット経由で音声検索を使用するか設定します。
テキスト読み上げの出力	※下記以外にデフォルトの言語のステータスで優先するエンジンのサポート状況を確認できます。 **Googleテキスト読み上げエンジン** テキスト読み上げエンジンの設定ができます。 **音声の速度** テキストを読み上げる速度を設定します。 **サンプルを再生** 音声合成の短いサンプルを再生します。
スペルチェック	Googleキーボード利用時に入力された文字列のスペルをチェックするかどうかを設定します。
単語リスト	Googleキーボード利用時に使用する単語リストを表示します。 • 「＋」をタップして単語などを入力すると、単語を登録できます。 • 登録した単語をタップすると編集できます。「🗑」をタップすると削除できます。
ポインタの速度	ポインタの速度を調整できます。

◎ 音声入力する言語により、「不適切な語句をブロック」が利用できない場合があります。
◎ microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェア更新などを実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

■ Googleキーボードの設定をする

1 **言語と入力画面→[Googleキーボード]**

2

言語	入力言語を設定します。
設定	**片手モード** ソフトウェアキーボードを右寄せ／左寄せするかどうかを設定します。 **カスタム入力スタイル** 言語にあわせたカスタムキーボードを作成できます。 **長押しで記号表示** 英字入力時にキーに対応した記号を長押しにより入力するかどうかを設定します。 **キーボードの高さ** ソフトウェアキーボードの高さを変更します。 **キー操作音** キーをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。 **キー操作の音量** キーをタップしたときの音量を設定します。 **キー操作バイブ** キーをタップしたときにバイブレータを振動させるかどうかを設定します。 **キー操作バイブの強さ** キーをタップしたときのバイブレータの強さを設定します。 **キー押下時にポップアップ** タップしたキーを拡大表示させるかどうかを設定します。 **音声入力キー** 🎤を表示するかどうかを設定します。 **キーの長押し時間** ロングタッチを検出する時間を設定します。 **記号キーボードに絵文字を表示** 記号キーボードを表示中に最近使用した絵文字を表示するかどうかを設定します。
テーマ	キーボードのテーマを変更できます。
テキストの修正	テキスト入力時に入力候補の予測や自動修正などをするかどうかを設定します。
ジェスチャー入力	**ジェスチャー入力を有効化** 文字間をスライドして単語を入力するかどうかを設定します。 **ジェスチャー トレイルを表示** ジェスチャーの軌跡を線で表示するかどうかを設定します。 **ジェスチャー削除を有効化** ジェスチャーによるテキストの削除を利用するかどうかを設定します。 **ジェスチャー カーソル操作を有効化** ジェスチャーによるカーソルの移動を利用するかどうかを設定します。
単語リスト	Googleキーボード利用時に使用する単語リストについて設定します。
詳細設定	上級ユーザー向けのオプションを設定します。

バックアップとリセットの設定をする

バックアップの設定をする

アプリのデータ、Wi-Fi®のパスワード、その他の設定をGoogleサーバーにバックアップするかどうかの設定をします。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[バックアップとリセット]

2

データのバックアップ	データをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	データをGoogleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元	アプリを再インストールする際に、バックアップしてある設定とデータを復元するかどうかを設定します。
データ引継	▶P.19「データを引き継ぐ」
ネットワーク設定のリセット	ネットワークに関する設定をすべてリセットします。
オールリセット	▶P.88「本製品を初期化する」

本製品を初期化する

本体メモリをお買い上げ時の状態に戻します(リセット)。この操作を行うと、ご購入後に本体メモリにお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[バックアップとリセット]→[オールリセット]

2 [携帯端末をリセット]
「microSD内データも消去する」をタップするとmicroSDメモリカード内のデータも消去できます。

3 ロックを解除→[すべて消去]

◎ オールリセットを実行する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
◎ 著作権保護されたデータによってはオールリセットを実行すると、利用できなくなる場合があります。
◎「SIMカードロック設定」は、オールリセットを実行してもリセットされません。
◎ オールリセットを実行すると一部のプリインストールされているアプリケーションとショートカットが削除されます。
お買い上げ時にインストールされているアプリケーションやウィジェットのダウンロードについては、次のサポートページをご参照ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/a/shv37/
◎ 電池残量が少ないときはオールリセットできません。

アカウントを設定する

アカウントを追加する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アカウント]→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種類を選択

3 画面に従って操作

データを同期する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アカウント]→アカウントを選択

2 アカウント名を選択

3 同期する項目を選択
有効に設定しているすべての項目を同期する場合は、[⋮]→[今すぐ同期]と操作します。
同期を停止する場合は、[⋮]→[同期をキャンセル]と操作します。

アカウントを削除する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[アカウント]→アカウントを選択

2 [⋮]→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

◎ auアカウントは削除できません。削除するには、「オールリセット」が必要です。

日付と時刻の設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[日付と時刻]

2

日付と時刻の自動設定	ネットワークから提供される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。
タイムゾーンの自動設定	ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用するかどうかを設定します。
日付設定	日付を設定します。
時刻設定	時刻を設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。

ユーザー補助の設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ユーザー補助]

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

字幕	字幕を表示するかどうかを設定します。
拡大操作	画面の同じ位置を3回連続でタップして、表示を拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。
大きい文字サイズ	大きい文字サイズにするかどうかを設定します。
高コントラストテキスト	文字を従来よりはっきりと表示させるかどうかを設定します。
電源キーで通話を終了	[⏻]を押して通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
パスワードの音声出力	パスワードを音声出力するかどうかを設定します。
ユーザー補助のショートカット	ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするかどうかを設定します。
テキスト読み上げの出力	※下記以外にデフォルトの言語のステータスで優先するエンジンのサポート状況を確認できます。 **Googleテキスト読み上げエンジン** 優先するエンジンを「Googleテキスト読み上げエンジン」に設定します。 **音声の速度** テキストを読み上げる速度を設定します。 **サンプルを再生** 音声合成の短いサンプルを再生します。
押し続ける時間	ロングタッチを検出する間隔を設定します。
色反転	画面に表示されている色を反転するかどうか設定します。
色補正	画面に表示されている色の補正について設定します。

印刷の設定をする

印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応するアプリで印刷することができます。
- あらかじめ、利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておく必要があります。

以下の操作で、印刷用アプリ(プラグイン)の設定が変更できます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[印刷]

2 印刷サービスを選択→プリンターを選択→画面の指示に従って操作

端末情報の設定をする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]

2 ※下記以外にビルド番号やモデル番号、Androidセキュリティパッチの配信日、ソフトウェアのバージョンなどが確認できます。

端末の状態	内蔵電池の充電能力や電池残量、電話番号などを確認できます。
センサー感度補正	モーションセンサー、地磁気センサーの補正を行います。 本体をしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。 補正が完了して正解音が鳴るまで、繰り返し実施してください。
アプリケーション更新	アプリケーションの更新確認の実行や、更新通知の表示設定を行います。
システムアップデート	▶P.108「ソフトウェアを更新する」
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
認証	本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号を含む)を表示します。

ファイル管理

本製品の保存領域について 90
ストレージとUSBに関する設定をする 90
パソコンと接続する 90
USBホスト機能を利用する 90

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

◎ アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。
◎ 本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータは、コンテンツマネージャーを利用したり、「ファイル転送」モードでパソコンと接続すると、確認や移動などを行うことができます。ただし、アプリケーションなど、一部のデータは確認や移動することはできません。

ストレージとUSBに関する設定をする

ストレージとUSBを確認する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ストレージとUSB]

ストレージとUSB画面が表示されます。
microSDメモリカード、またはUSBメモリを本製品に取り付けていない場合は、内部ストレージ画面が表示されます。

2 ※下記以外に本体メモリやmicroSDメモリカード、USBメモリの使用容量／合計容量などが確認できます。

内部ストレージ	内部ストレージ画面が表示されます。 • 本体メモリの使用容量の詳細を確認できます。 • 「フォルダー一覧」をタップすると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
microSD	microSDメモリカードに保存されているデータの一覧が表示されます。
USBメモリ名	※USBメモリ（市販品）を接続している場合に表示されます。 USBメモリに保存されているデータの一覧が表示されます。

microSDメモリカードやUSBメモリカードのマウントを解除する

1 ストレージとUSB画面→microSDメモリカード／USBメモリ名の[⏏]

マウントを解除したmicroSDメモリカードやUSBメモリカードを再度マウントする場合は、ストレージとUSB画面→[microSD]／USBメモリ名をタップ→[マウント]と操作します。

メモリ容量について
◎ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。
microSDのマウント解除について
◎ データが壊れる（消去される）ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。
USBメモリの取り外しについて
◎ USBメモリをマウント解除してから行ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

microSDメモリカード／USBメモリをフォーマットする

フォーマットを行うと、microSDメモリカード／USBメモリに保存されているデータがすべて消去されます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ストレージとUSB]
2 microSDカード／USBメモリを選択
3 [⋮]→[設定]
4 [フォーマット]→[消去してフォーマット]
5 ロックを解除→[完了]

◎ フォーマットは、充電しながら行うか、電池残量が十分ある状態で行ってください。

本体のデータをmicroSDにエクスポートする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ストレージとUSB]
2 [microSD]
3 [⋮]→[設定]
4 [microSDにエクスポート]
ファイル管理画面が表示されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
5 画面の指示に従って操作

◎ エクスポートは、充電しながら行うか、電池残量が十分ある状態で行ってください。

microSDのデータを本体にインポートする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[ストレージとUSB]
2 [microSD]
3 [⋮]→[設定]
4 [本体にインポート]
ファイル管理画面が表示されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
5 画面の指示に従って操作

◎ インポートは、充電しながら行うか、電池残量が十分ある状態で行ってください。

パソコンと接続する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続して、本製品とパソコン間の高速データ転送が利用できます。また、音楽／動画データの転送も可能です。
• パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」（▶P.18）をご参照ください。

1 パソコンと本製品を接続

2

充電	充電のみを行います。
ファイル転送	MTPに対応したパソコンのデータと本体メモリやmicroSDメモリカードの間でデータを転送する場合に設定します。
写真の転送（PTP）	MTPに対応していないパソコンと接続する場合に設定します。 • パソコンと本体メモリの間で画像などを転送することができます。
MIDI	本製品をMIDI入力に使用します。

3 充電や転送終了後、microUSBケーブル01（別売）を本製品から取り外す
microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

◎ Windows Vista／Windows 7／Windows 8.1／Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。
◎ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
◎ パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブル01（別売）を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。

USBホスト機能を利用する

本製品にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル（市販品）を外部接続端子に接続することで、USB機器（市販品）を利用することができます。
• USBホスト機能を使用する前に本製品を充電してください。
• 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、本製品の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に本製品の電源が切れることがあります。
• USBメモリを取り付けた場合の操作については、「ストレージとUSBを確認する」（▶P.90）をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子に周辺機器接続用USBケーブル（市販品）のmicroUSBプラグを差し込む
2 周辺機器接続用USBケーブル（市販品）にUSB機器を接続する

◎ 本製品の外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込む場合は、突起部を下にしてまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本製品の外部接続端子が破損することがあります。
◎ すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。

データ通信

無線LAN(Wi-Fi®)機能 92
無線LAN(Wi-Fi®)機能について 92
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する 92
アクセスポイントを登録する 92
Wi-Fi Direct®を利用する 92
テザリング機能 93
テザリングについて 93
USBテザリング機能を利用する 93
Wi-Fi®テザリング機能を利用する 93
Bluetooth®テザリング機能を利用する 93
Bluetooth®機能 94
Bluetooth®機能の利用について 94
Bluetooth®を利用する 94
Bluetooth®でデータを送受信する 94
おサイフケータイ® 95
おサイフケータイ®について 95
NFCを利用する 96
おサイフケータイ アプリを利用する 96

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
Wi-Fi®を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。



◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント(無線LAN(Wi-Fi®)親機)をご用意ください。
◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[Wi-Fi]
Wi-Fi®設定画面が表示されます。

2 「OFF」をタップして「ON」に切り替える

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[Wi-Fi]
Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi®設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 アクセスポイントを選択

3 パスワードを入力→[接続]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

◎ アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用になれない場合があります。
◎ インターネットへ接続されていないWi-Fi®アクセスポイントへ接続すると「 」が表示され、Wi-Fi®ではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。

アクセスポイントとの接続を切る

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[Wi-Fi]

2 接続中のアクセスポイントを選択→[切断]

◎ アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®設定画面のメニューを利用する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[Wi-Fi]

2 [⋮]

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ネットワークを追加	▶ P.92「アクセスポイントを手動で登録する」
簡単設定	▶ P.92「アクセスポイントを自動で登録する」
保存済みネットワーク	接続したことのあるアクセスポイントを表示します。
更新	接続可能なアクセスポイントを再検索し表示します。
詳細設定	※下記以外にMACアドレスやIPアドレスが確認できます。 **ネットワークの通知** オープンネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。 **Wi-Fiのスリープ設定** Wi-Fi®機能をスリープに切り替えるタイミングを設定します。 **ハンドオーバー** 場所を移動しながら本製品を利用している場合に、利用するアクセスポイントを自動的に切り替えるかどうかを設定します。 **証明書のインストール** Wi-Fi®の認証時に必要な証明書をインストールします。 **Wi-Fi Direct** ▶ P.92「Wi-Fi Direct®を利用する」

アクセスポイントを登録する

アクセスポイントを自動で登録する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[Wi-Fi]

2 [⋮]→[簡単設定]

3

WPSプッシュボタン	WPSプッシュボタン方式で設定します。 • アクセスポイントのWPSボタンを押してください。自動的にアクセスポイントを検出し登録が開始されます。
WPS PIN入力	WPS PIN方式で設定します。 • 画面に表示されるPINをアクセスポイントに入力してください。

◎ アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。

アクセスポイントを手動で登録する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[Wi-Fi]

2 [⋮]→[ネットワークを追加]

3 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

■ セキュリティを「なし」に設定した場合

4 [保存]

■ セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2 PSK」に設定した場合

4 パスワードを入力→[保存]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「802.1x EAP」に設定した場合

4 必要な項目を設定/入力→[保存]

◎ 「詳細設定項目」をタップすると、「プロキシ設定」「IP設定」「キャッシュ設定」を手動で設定できます。
◎ 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめアクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)のネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi Direct®を利用する

Wi-Fi Direct®を利用すると、アクセスポイントやインターネットを経由せずに、他のWi-Fi Direct®規格対応機器と、簡単にWi-Fi®接続することができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[Wi-Fi]→[⋮]→[詳細設定]→[Wi-Fi Direct]
検出したWi-Fi Direct®規格対応機器が表示されます。目的の機器が表示されないときは、「デバイスの検索」をタップし、再検索をしてください。
[デバイス名を変更]→デバイス名を入力→[OK]と操作すると、他のWi-Fi Direct®規格対応機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。

2 接続するWi-Fi Direct®規格対応機器を選択

3 画面に従って操作

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、4G(LTE／WiMAX 2+)パケット通信や無線LAN(Wi-Fi®)通信、Bluetooth®通信を通じて無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、USB対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。

- あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P. 18)をご参照ください。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[テザリング]

2 [USBテザリング]

テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ Windows Vista／Windows 7／Windows 8.1／Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるよう設定します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]

テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、Wi-Fi®接続でインターネットに接続できません。
◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。

■ Wi-Fi®テザリング機能の設定をする

無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリングを設定]

3

ネットワーク名	他の無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から検索された場合に表示される名前(ネットワークSSID)を編集できます。
セキュリティ	セキュリティを設定します。
パスワード	セキュリティのパスワードを設定します。
接続待ち時間	接続待ち時間を設定します。

4 [保存]

◎ セキュリティを「なし」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。
◎「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ かんたんにWi-Fi®テザリング機能の設定をする

WPSやWPS PINに対応した無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から本製品にかんたんに接続するための設定を行います。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング簡単接続]

3

WPSプッシュボタン	WPSプッシュボタン方式で接続します。 ・WPSに対応した機器のWPSボタンを押してください。自動的に登録が開始されます。
WPS PIN入力	WPS PINコード方式で接続します。 ・WPS PIN方式に対応した機器に表示されるPINコードを入力してください。

◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器の操作については、無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器の取扱説明書をご確認ください。

Bluetooth®テザリング機能を利用する

本製品とパソコンなどをBluetooth®機能で接続し、本製品を介してインターネットに接続することができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[テザリング]

2 [Bluetoothテザリング]

テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能の利用について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎ microUSBケーブル01（別売）などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

■ Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

1. 本製品と他のBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN（Wi-Fi®）との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®を利用する

Bluetooth®を起動する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[Bluetooth]
Bluetooth®画面が表示されます。

2 「OFF」をタップして「ON」に切り替える
検出したBluetooth®機器が表示されます。

■ Bluetooth®画面のメニューを利用する

1 Bluetooth®画面→[⋮]

2

更新	▶P.94「Bluetooth®機器と接続する」
この端末の名前を変更	他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。
Qualcomm® aptX™	Qualcomm aptX audioを利用するかどうか設定します。
受信済みファイルを表示	受信履歴画面を表示します。

Bluetooth®機器と接続する

本製品からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器とペア設定を行います。Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[Bluetooth]

2 [⋮]→[更新]
検出したBluetooth®機器一覧画面が表示されます。
Bluetooth®機器の種類に応じて、アイコンが表示されます。

3 接続するBluetooth®機器を選択

4 画面に従って操作し、Bluetooth®機器を認証
同じパスキーが表示されていることを確認する旨のメッセージが表示された場合、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることをご確認ください。
パスキー入力画面が表示された場合、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー（1～16桁の数字）を入力します。ペア設定が完了するとBluetooth®機器に接続されます。

◎ オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、通話中はオーディオ出力の音が自動的に流れなくなります。
◎ ペア設定をしたBluetooth®機器がHSP、HFP、A2DP、HID、HOGPのいずれのプロファイルにも対応していない場合、接続が行われません。
◎ Bluetooth®機器が検索拒否する設定になっている場合は検出されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。

■ ペア設定したBluetooth®機器のメニューを利用する

1 Bluetooth®機器一覧画面→[⚙]

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

名前	検出したBluetooth®機器の表示名を編集できます。
電話の音声	通話をするときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
メディアの音声	音楽や動画を視聴するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
入力デバイス	HID機器を接続して入力するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
インターネットアクセス	ネットワーク機器と接続するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
連絡先の共有	選択したBluetooth®機器が本製品の連絡先や通話履歴へアクセスすることを許可するかどうかを設定します。
削除	Bluetooth®機器とペア設定を解除します。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを受信する

本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手機器（送信側）のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法について詳しくは、「Bluetooth®を起動する」（▶P.94）をご参照ください。

1 相手機器からデータ送信

2 受信通知後、ステータスバーを下にスライド

3 ファイル着信の通知をタップ

4 [承諾]

5 受信完了後、ステータスバーを下にスライド

6 受信したファイルの通知をタップ

7 受信したデータを選択
再生／表示／登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択するとアプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

◎ 他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。

Bluetooth®でデータを送信する

■ データを選んで送信する

例：静止画の場合

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[コンテンツマネージャー]→[Photo]

2 送信する静止画をロングタッチ→[共有]→[Bluetooth]

3 相手機器を選択

■ データを一括して送信する

例：電話帳の場合

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話帳]

2 [⋮]→[送信]→[Bluetooth送信]→[全件送信]

3 [送信する（無画像）]／[送信する（画像付）]
送信するデータに顔写真が登録されていない場合は「はい」をタップしてください。

4 ロックを解除→アカウントを選択

5 相手機器を選択

おサイフケータイ®

おサイフケータイ®について

おサイフケータイ®とは

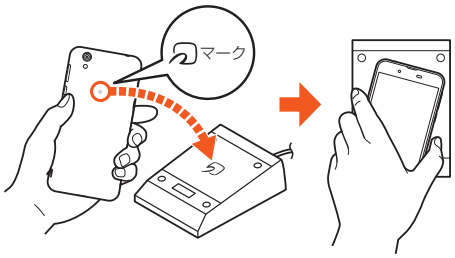
おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。
NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCa®を含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R/W）機能、機器間通信機能などが本製品でご利用いただけます。
おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。
おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップまたはau Nano IC Card 04（以下、au ICカードといいます）へ、サービスのご利用に必要となるデータを書き込む場合があります。
なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意」（▶P.113）をあわせてご参照ください。

おサイフケータイ®のご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけないことがあります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 次の場合は、おサイフケータイ®の一部機能を利用できません。
  - 機内モード中
  - 充電中、またはmicroUSBケーブル01（別売）接続中、イヤホンなどのケーブル類を接続中で、一度も電波を受けていない場合
  - au ICカードが挿入されていない場合

リーダー／ライターとデータをやりとりする

マークをリーダー／ライターにかざすだけでFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのやりとりができます。



- マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

◎ おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
◎ 本製品の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本製品の電源を入れることでご利用になれます。
◎ 「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定している場合は、ご利用いただけません。

おサイフケータイ®を設定する

1 **ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]**

2 **[NFC／おサイフケータイ 設定]**

3

NFC／おサイフケータイロック	▶P.96「おサイフケータイ®の機能をロックする」
Reader/Writer, P2P	▶P.96「NFC機能を有効にする」
Android Beam	Androidビーム（Reader/Writer, P2P）を利用したデータ通信ができます。 • Androidビームについて詳しくは、「Androidビームでデータを送受信する」（▶P.96）をご参照ください。
タップ&ペイ	おサイフケータイ®対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効を設定します。
ロックNo.変更	「NFC／おサイフケータイ ロック」のロックNo.を変更します。 • ロックNo.を入力→[OK]→新しいロックNo.を入力→[OK]→もう一度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると変更できます。
ロックNo.初期化	「NFC／おサイフケータイ ロック」のロックNo.を忘れた場合は、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。 • PINロック解除コードを入力→[OK]→新しいロックNo.を入力→[OK]→もう一度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると再設定できます。

ロックNo.初期化について
◎ PINロック解除コードについて詳しくは、「PINコードについて」（▶P.12）をご参照ください。

おサイフケータイ®の機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定すると、おサイフケータイ®対応サービスの利用を制限できます。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」は、画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]

2 [NFC／おサイフケータイ 設定]→[NFC／おサイフケータイ ロック]

3 [次へ]→ロックNo.を入力→[OK]→[OK]
おサイフケータイ®の機能がロック／解除されます。
- おサイフケータイ®をロックすると、ステータスバーに が表示されます。

◎「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除してください。
◎「NFC／おサイフケータイ ロック」のロックNo.とFeliCaチップ内のデータは、本製品を初期化しても削除されません。
◎ ロックNo.はau ICカードに保存され、本製品から取り外してもau ICカード内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「各種暗証番号について」(▶P. 12)をご参照ください。
◎ 本製品を紛失してしまった場合は、「Lookout for au」により、遠隔操作でロックをかけることができます。詳しくは、「Lookout for auについて」(▶P. 71)をご参照ください。

NFCを利用する

NFC機能を有効にする

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]

2 [NFC／おサイフケータイ 設定]→[Reader/Writer, P2P]
「Reader/Writer, P2P」の有効／無効を切り替えることができます。
- 「Reader/Writer, P2P」を有効に設定すると、ステータスバーに が表示されます。

◎「Reader/Writer, P2P」を有効にすると「Android Beam」が有効になります。「Android Beam」を有効にすると、NFC搭載機器との間で、ウェブページやYouTubeのURL、連絡先などを共有することができます。
◎ 非接触ICカード機能は、「Reader/Writer, P2P」の有効／無効にかかわらず利用できます。
◎「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定中は、「Reader/Writer, P2P」を有効にできません。

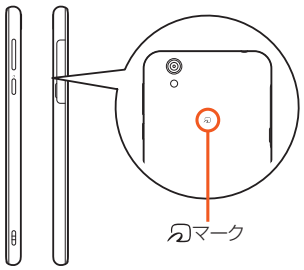
Androidビームでデータを送受信する

NFCを搭載したAndroid機器との間でAndroidビームを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本製品で撮影した静止画や動画を送ったり受け取ったりすることができます。
- データを送受信するにはあらかじめ「Reader/Writer, P2P」を有効にし、「Android Beam」を「ON」に設定しておいてください。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■ データを受信する

1 相手機器からデータ送信

2 相手機器と、マークを向かい合わせる
データを受信すると、受信データに対応するアプリが起動します。
静止画や動画、音楽などのデータを受信した場合は、ステータスバーに が表示されることがあります。ステータスバーを下にスライドし、「ビーム完了」をタップすると、受信データに対応したアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。



■ データを送信する

例：電話帳を送信する場合

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[電話帳]→送信する連絡先を選択

2 相手機器と、マークを向かい合わせる

3 送信するデータをタップ

◎ アプリケーションによってはAndroidビームをご利用になれません。
◎ 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度かざしてください。

NFCメニューを利用する

NFCサービスに対応したアプリの一覧表示や、NFCロックなど、各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[NFCメニュー]
NFCメニュー画面が表示されます。
初めて起動したときは、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 アプリを選択
アプリによっては、ダウンロードや初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。

◎ 決済するカードを選択するには、NFCメニュー画面→[ ]→[決済カード選択]と操作し、画面の指示に従い設定します。

おサイフケータイ アプリを利用する

おサイフケータイ アプリから対応サービスを利用できます。
利用方法などの詳細については、おサイフケータイ アプリで[ ]→[サポートメニュー]→[操作ガイド]と操作しておサイフケータイ アプリの操作ガイドをご参照ください。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[おサイフケータイ]
おサイフケータイ アプリが起動し、サービス一覧画面が表示されます。
初期設定画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスを選択
サービスに対応したアプリをダウンロードしてから、またはサービス紹介サイトから、画面の指示に従って操作してください。

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する 98
auのネットワークサービスについて 98
着信お知らせサービスを利用する（標準サービス） 98
着信転送サービスを利用する（標準サービス） 98
発信番号表示サービスを利用する（標準サービス） 99
番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス） 99
お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス） 99
三者通話サービスを利用する（オプションサービス） 101
割込通話サービスを利用する（オプションサービス） 102
迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス） 102
通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス） 102

海外利用 103
au世界サービスについて 103
海外でご利用になるときは 103
海外利用に関する設定を行う 103
データサービス・メッセージサービスの通信料 103
渡航先で電話をかける 103
渡航先で電話を受ける 103
お問い合わせ方法 104
サービスエリアと海外での通話料 104
海外で安心してご利用いただくために 104
海外でのご利用上のご注意 104

auのネットワークサービスを利用する

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

標準サービス	SMS(▶P.55) 着信お知らせサービス(▶P.98) 着信転送サービス(▶P.98) 発信番号表示サービス(▶P.99) 番号通知リクエストサービス(▶P.99)
有料オプションサービス※	お留守番サービスEX(▶P.99) 三者通話サービス(▶P.101) 割込通話サービス(▶P.102) 迷惑電話撃退サービス(▶P.102) 通話明細分計サービス(▶P.102)

※有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

■着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

◎「着信お知らせサービス」を利用するには、あらかじめお留守番サービスEXの圏外転送を設定してください。(▶P.100)
有料オプションサービスをご契約していない場合も設定を行ってください。
◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.99)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎すぐにお知らせできない場合はお留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

着信転送サービスについて

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

◎緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ・電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ・お客様のご負担となります。 ・海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]

2 [転送設定]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。

3 転送先番号や転送までの時間を設定→[OK]
転送までの時間は5秒～55秒の間で設定できます。

◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。このとき「伝言メモを利用する」(▶P.38)が同時に設定されている場合は、応答時間の短い方が優先されます。
◎国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]

2 [転送設定]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。

3 転送先番号を設定→[OK]

◎話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
◎国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに電話を転送します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]

2 [転送設定]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。

3 転送先番号を設定→[OK]

◎国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[選択転送]

2 [転送設定]

3 転送先番号を設定→[OK]

◎かかってきた電話に出ず、登録した転送先に手動で転送する方法については、「着信中のメニューを利用する」(▶P.37)をご参照ください。
◎国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]

2 [転送設定]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。

3 転送先番号を設定→[OK]

◎フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける
上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

2 本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.12)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

発信番号表示サービスについて

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様の端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

◎ 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[発信者番号通知]

◎ 電話をかけるとき、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」を有効にしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
◎ 「発信者番号通知」を無効に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。
◎ 国際ローミング中は、電話番号が通知されない場合があります。
◎ 国際ローミング中は、「発信者番号通知」の機能は無効になります。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

番号通知リクエストサービスについて

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービスのそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信拒否]

2 ロックを解除→[番号通知リクエストサービス]

3 [番号通知リクエストサービス設定]→[ON]

◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外(国際ローミングエリア)へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信拒否]

2 ロックを解除→[番号通知リクエストサービス]

3 [番号通知リクエストサービス設定]→[OFF]

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.85)を有効にしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.99)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.100)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 • お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 ホーム画面→[📞]→「141」を入力→[発信]

2 ガイダンスに従って操作

◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]

2 [転送設定]→[留守番]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。

3 転送までの時間を設定→[OK]
転送までの時間は5秒～55秒の間で設定できます。

◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]

2 [転送設定]→[留守番]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。

3 [OK]

◎ 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに、電話を留守番電話サービスに転送します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]

2 [転送設定]→[留守番]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。

3 [OK]

◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で留守番電話サービスに転送します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[選択転送]

2 [転送設定]→[留守番]

3 [OK]

◎ かかってきた電話に出ず、留守番電話サービスに手動で転送する方法については、「着信中のメニューを利用する」(▶P.37)をご参照ください。
◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]

2 [転送設定]→[留守番]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。

3 [OK]

◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答
かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.101「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)。
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)手順2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音
録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了
録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。
「1」:録音した伝言を再生して、内容を確認する
「2」:録音した伝言を「至急扱い」にする
「9」:録音した伝言を消去して、取り消す
「✱」:録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面→[📞]→「1612」+相手の方のau電話番号を入力→[発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

◎ 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面→[📞]→「1」をロングタッチ
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[留守伝言再生]→[はい]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
ホーム画面→[📞]→「1417」を入力→[発信]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

2 ガイダンスに従ってキー操作
画面に数字キーが表示されていない場合は、「数字キー」をタップして表示します。
「1」:同じ伝言をもう一度聞く
「4」:5秒間巻き戻して聞き直す
「5」:伝言を一時停止(20秒間)※
「6」:5秒間早送りして聞く
「7」:再生済みの伝言を全て消去
「9」:伝言を消去
「0」:伝言再生中の操作方法を聞く
「#」:次の伝言を聞く
「✱」:前の伝言を聞く
※「通話終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [通話終了]

◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメールも同じものとして扱われます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
詳しくは「応答メッセージの録音／確認／変更をする」(▶P.101)をご参照ください。

1 ホーム画面→[📞]→「1610」を入力→[発信]

2 ガイダンスを確認→[通話終了]

◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

伝言の蓄積停止を解除する

1 ホーム画面→[📞]→「1611」を入力→[発信]

2 ガイダンスを確認→[通話終了]

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容を確認／変更や、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信転送・お留守番サービス]→[応答内容変更]→[はい]
ホーム画面→[📞]→「1414」を入力→[発信]と操作しても設定できます。

■すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（個人メッセージ）

2 「1」を入力→「1」を入力→3分以内で応答メッセージを録音→「#」を入力→「#」を入力→[通話終了]
画面に数字キーが表示されていない場合は、「数字キー」をタップして表示します。

■電話番号の代わりに読み上げるお客様のお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（名前指定メッセージ）

2 「1」を入力→「2」を入力→10秒以内で名前を録音→「#」を入力→「#」を入力→[通話終了]
画面に数字キーが表示されていない場合は、「数字キー」をタップして表示します。

■設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 「3」を入力→応答メッセージを確認→[通話終了]
画面に数字キーが表示されていない場合は、「数字キー」をタップして表示します。

■蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 「1」を入力→「3」を入力→3分以内で応答メッセージを録音→「#」を入力→「#」を入力→[通話終了]
画面に数字キーが表示されていない場合は、「数字キー」をタップして表示します。

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定で、スキップができないように設定することができます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「2」→「1」と入力すると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「1」→「4」と入力すると標準メッセージに戻すことができます。
◎国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける
上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定（無条件）開始	1418
留守番転送設定（無条件）停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

2 本製品の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力
暗証番号については「各種暗証番号について」（▶P.12）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[ガイド言語設定]→[英語ガイダンス]→[はい]
ホーム画面→[📞]→「14191」を入力→[発信]と操作しても切り替えることができます。
英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [通話終了]

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[ガイド言語設定]→[日本語ガイダンス]→[はい]
ホーム画面→[📞]→「14190」を入力→[発信]と操作しても切り替えることができます。
日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [通話終了]

◎国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に[メニュー]→[通話を追加]→Bさんの電話番号を入力
通話中に電話帳や発着信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [発信]
通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話
Bさんが電話に出ないときは、「通話終了」をタップするとAさんとの通話に戻ります。
「相手切替」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、「通話終了」をタップすると、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。

4 [メニュー]→[三者通話]
3人で通話できます。
「通話終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
◎国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

割込通話サービスについて

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。
◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Nano IC Card 04を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[割込通話設定]→[割込通話]→[ON]
ホーム画面→[📞]→「1451」を入力→[発信]と操作しても開始できます。

◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[割込通話設定]→[割込通話]→[OFF]
ホーム画面→[📞]→「1450」を入力→[発信]と操作しても開始できます。

◎ 4G(LTE/WiMAX 2+)パケット通信中は、割込通話サービスを停止しても着信します。
◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

割込通話を受ける

例: Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 「📞」を右にスライド
Bさんの電話番号、または名前が表示されているポップアップの「受話」/「スピーカー受話」をタップしても電話を受けることができます。
Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「相手切替」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、「通話終了」をタップすると、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
・「相手切替」が表示されていないときは、「⠿」をタップし通話中画面を表示してから行ってください。

◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、「保留解除」をタップすると、保留中の相手の方と通話できます。
◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話撃退サービスについて

迷惑電話やいたずら電話がかかってきた後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面→[📞]→「1442」を入力→[発信]
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信拒否]→ロックを解除→[迷惑電話撃退サービス]→[新規登録]→[最終着信の相手を追加]→[はい]でも同様に操作できます。

■ 指定の電話番号を登録する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信拒否]

2 ロックを解除→[迷惑電話撃退サービス]

3 [新規登録]→撃退する電話番号を設定

◎ 登録できる電話番号は30件までです。
◎ 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみ、受信拒否リストへの登録ができます。登録した相手の方でも国際ローミング中は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となる場合があります。
◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
・SMS

登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面→[📞]→「1449」を入力→[発信]

■ 指定の電話番号を削除/編集する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[通話]→[着信拒否]

2 ロックを解除→[迷惑電話撃退サービス]

3 削除/編集する電話番号を選択→[変更]/[1件削除]/[全件削除]→[はい]
編集する場合は、電話番号を設定してください。

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

1 ホーム画面→[📞]→「131」+相手先電話番号を入力→[発信]

2 [通話終了]

◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎ 発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。
◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。
◎ 国際ローミング中は、VoLTEローミング対応エリアでのみご利用いただけます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM／UMTS／LTEネットワークのいずれでもご利用いただけます。

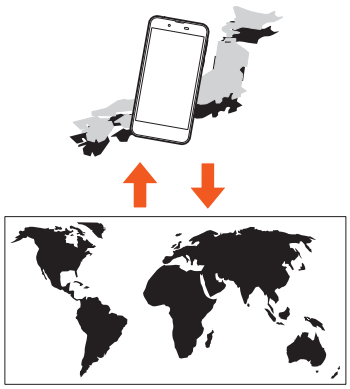
- いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ ご利用イメージ

1 日本国内では、auのネットワークでご利用になれます

2 海外で電源を入れると、海外の事業者のネットワークで電話とSMSがご利用いただけます

3 データ通信を行う場合は「データローミング」(▶P.103)を有効に設定します



◎ お買い上げ時は、海外で通話およびSMSのみご利用可能な設定になっています。海外でデータ通信もご利用になる場合は「データ通信を設定する」(▶P.103)に従い設定を行ってください。

海外でご利用になるときは

海外でご利用になるときは、海外利用に関する各種設定を行ってください。
新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外利用に関する設定	ネットワークモードの設定(▶P.103) データローミングの設定(▶P.103)

海外利用に関する設定を行う

ネットワークモードを設定する

本製品を使用するネットワークモードを設定します。

- 渡航先においては、Rの表示のある場合にデータ通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話(およびご利用の地域によってはSMS)のみご利用になれます。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]

2

日本(4G)	日本国内のみでご利用になる場合に設定します。
自動	日本国内／海外で利用できるネットワークを自動設定します。

◎「ネットワークモード」を「自動」に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。
◎ 日本国内で「自動」に設定し、「機内モード」が無効のまま、本製品の電源を入れた状態で渡航した場合は、海外のネットワークに接続できません。その場合は本製品の電源をいったん切り、再度起動してください。また、航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

データ通信を設定する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[もっと見る]→[モバイルネットワーク]→[VoLTEローミング設定]
設定変更後は、本製品を再起動してください。(▶P.19)

◎ LTE NETにご加入されていない場合は、VoLTEを利用できません。

データサービス・メッセージサービスの通信料

■ データサービス・メッセージサービスの通信料(免税)

データ通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■ 世界データ定額(免税)

定額対象の国・地域で定額料980円をお支払いいただくと日本でのデータ定額サービス等のデータ通信が24時間ご利用いただけます。世界データ定額ご利用の通信量は、各種データ定額サービスの月間容量やデータチャージのデータ容量購入分から消費します。
世界データ定額について詳しくはauホームページをご参照ください。
http://www.au.kddi.com/re/sekai-data/

◎ 海外でご利用になった場合の料金です。
◎ お客さまがご利用を開始してから24時間の通信に対する金額です。月額制の定額料ではありません。

■ 海外ダブル定額(免税)

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB(割引前通信料が40,000円分)まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。
海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/charge/packet-discount/kaigai-double-teigaku/lte/

◎ 海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したデータ量に応じて課金されます。
◎ 渡航先でのデータ通信料は、国内各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎ 1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日(0:00～23:59)の通信に対する金額です。月額制の定額料ではありません。

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

1 ホーム画面→[📞]

2 「0」をロングタッチ
「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 国番号を入力

4 地域番号(市外局番)を入力
地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

5 相手の方の電話番号を入力→[発信]

例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合
+81(国番号)-3(市外局番)-1234XXXX(相手の方の電話番号)

例: 渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合
+1(国番号)-123(市外局番)-456XXXX(相手の方の電話番号)

◎ 電話をかける相手の方が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
◎ 渡航先では、一部特番などかけられない電話番号があります。
◎ 国・地域、および最新情報についてはKDDI国際電話ホームページをご参照ください。
国番号
http://www.001.kddi.com/countrycode/

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料(▶P.104)がかかります。
◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

■本製品からのお問い合わせ方法（通話料無料）

受付時間 24時間

1 ホーム画面→[📞]

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→[発信]

■一般電話からのお問い合わせ方法

渡航先別電話番号等の詳しい情報はauホームページの「海外からの問い合わせ番号」をご参照ください。

http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/inquiry/

◎ ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
◎ 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
◎ 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国・地域や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

■アジア

国・地域名	音声通話	データ通信	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
中国	○	○	70	175	265	145
韓国	○	○	50	125	265	70
台湾	○	○	70	175	265	145
タイ	○	○	70	175	265	155
フィリピン	○	○	75	175	265	155
インドネシア	○	○	70	260	280	155
ベトナム	○	○	70	195	280	80
香港	○	○	70	175	265	145
シンガポール	○	○	75	175	265	155
インド	○	○	70	180	280	180
マレーシア	○	○	75	175	265	80
マカオ	○	○	70	175	265	145

※通話料は免税。単位は円／分。

■オセアニア

国・地域名	音声通話	データ通信	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
ハワイ	○	○	120	140	210	165
グアム	○	○	80	140	210	130
サイパン	○	○	80	140	210	130
オーストラリア	○	○	80	180	280	80

※通話料は免税。単位は円／分。

■北米・中南米

国・地域名	音声通話	データ通信	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アメリカ	○	○	120	140	210	165
カナダ	○	○	120	140	210	165
メキシコ	○	○	70	230	280	180
ブラジル	○	○	80	280	280	140

※通話料は免税。単位は円／分。

■ヨーロッパ・中東・アフリカ

国・地域名	音声通話	データ通信	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
フランス	○	○	80	180	280	110
ドイツ	○	○	80	180	280	110
イギリス	○	○	80	180	280	110
イタリア	○	○	80	280	280	110
スペイン	○	○	80	180	280	110
スイス	○	○	80	180	280	110
オランダ	○	○	80	180	280	110
トルコ	○	○	80	180	280	110
オーストリア	○	○	80	180	280	110
ベルギー	○	○	80	180	280	110
アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140
南アフリカ	○	○	80	180	280	160

※通話料は免税。単位は円／分。

◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎ 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎ 渡航先でコレクトコール・トールフリーナンバーなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
◎ 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって、相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
◎ 2016年9月現在の情報です。
◎ 記載のない国・地域および最新情報についてはauホームページをご参照ください。
http://www.au.kddi.com/re/au-sekai/

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「お問い合わせ方法」(▶P.104)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては、「SIMカードロック設定」(▶P.86)をご参照ください。

■海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料・データ通信料は、日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外でのご利用上のご注意

■渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、トールフリーナンバー、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、日本国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■渡航先でのデータ通信料に関するご注意

- 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 日本国内でデータ通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しデータ通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、海外でのご利用中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■ その他ご利用上のご注意

- 渡航先での通話料・データ通信料は、日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- 海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- au世界サービスは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 海外でのご利用中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、海外では使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をON／OFF（再起動）することでご利用可能となる場合があります。

付録・索引

付録 **108**
ソフトウェアを更新する 108
故障とお考えになる前に 108
アフターサービスについて 109
SIMロック解除について 110
周辺機器 110
主な仕様 111
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 111
CE Declaration of Conformity 112
FCC Notice 112
輸出管理規制 113
おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意 113
知的財産権について 114
索引 **116**

付録

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。
また、OSアップデートも、ソフトウェア更新の機能を利用して行うことが可能です。OSアップデートとは、本製品のOSのバージョンアップを含むソフトウェア更新です。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]→[システムアップデート]

ソフトウェア更新が必要かどうかの確認を開始します。「アップデートをチェック」をタップして確認します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードし、インストールすることができます。

- ステータスバーに が表示されている場合は、ステータスバーを下にスライドし、通知をタップして画面に従って操作してください。

2 [ダウンロード]→[再起動してインストール]

■ ご利用上の注意

- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157／通話料無料)までお問い合わせください。また、SHV37をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHV37をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新を実行すると、更新前と更新後に本製品を再起動します。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(電話帳、メール、静止画、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 国際ローミング中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- OSアップデートを行うと、以前のバージョンへ戻すことはできません。

ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください

- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに「故障受付を利用する」(▶P.71)にて「トラブル診断」を行ってください。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[故障受付]→[トラブル診断]

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	• (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？(▶P.25) • 内蔵電池が寿命となっていませんか？電池の状態を確認してください。(▶P.18) • 十分に充電されていますか？(▶P.18) • 使用していない機能を停止してください。(▶P.25) • 使用していないアプリケーションを終了してください。(▶P.26)
電話がかけられない	• au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.16) • 電話番号が間違っていませんか？(市外局番から入力していますか？)(▶P.34) • 「機内モード」が設定されていませんか？(▶P.85) • 「ネットワークモード」が間違っていませんか？(▶P.103) • 電源は入っていますか？(▶P.19) • 電話番号入力後、「発信」をタップしていますか？(▶P.34)
電話がかかってこない	• 電波は十分に届いていますか？(▶P.25) • サービスエリア外にいませんか？(▶P.25) • 「機内モード」が設定されていませんか？(▶P.85) • 「ネットワークモード」が間違っていませんか？(▶P.103) • 着信転送サービスが設定されていませんか？(▶P.98) • 電源は入っていますか？(▶P.19) • au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.16) • 「着信拒否」が設定されていませんか？(▶P.84)
Wi-Fi®がつながらない	• Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？(▶P.25) • Wi-Fi®の設定をしましたか？(▶P.92)
ディスプレイの照明が暗い	• 「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？(▶P.81) • 「のぞき見ブロック」が設定されていませんか？(▶P.81)
相手の方の声が聞こえない	• 通話音量が最小に設定されていませんか？(▶P.35) • 受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。
カメラが動作しない	• 電池残量が少なくなっていませんか？(▶P.18) • カメラの利用についてご確認ください。(▶P.62)
microSDメモリカードを認識しない／目的のデータが見つからない	• microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？(▶P.18) • microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？(▶P.90) • 本体メモリにデータを保存していませんか？microSDメモリカード以外に本体メモリにもデータを保存できます。
キー／タッチパネルの操作ができない	• 「画面ロック」が設定されていませんか？(▶P.86) • 電源を切り、電源を入れ直してみてください。 • 電源は入っていますか？(▶P.19) • チャイルドロックが有効になっていませんか？(▶P.26)
充電ができない	• 指定の充電用機器(別売)の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？(▶P.18)
電源が入らない	• 内蔵電池は充電されていますか？(▶P.18) • (⏻)を長押ししていますか？(▶P.19)
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	• (⏻)を8秒以上長押しし、バイブレータが振動した後、手を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。(▶P.19)
タッチパネルで意図した通りに操作できない	• 手袋などをしたままで操作していませんか？ • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ • タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。(▶P.22) • 再起動してください。(▶P.19)
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	• 本製品に大量のデータが保存されているときや、本体メモリとmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
au ICカード(SIM)エラーや挿入されていない旨のメッセージが表示される	• au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.16)

こんなときは	ご確認ください
おサイフケータイ®が使えない	• 電池が切れていませんか？(▶P.18) • おサイフケータイ®をロックしていませんか？(▶P.96) • 本製品のマークがある位置を読取機にかざしていますか？(▶P.95)
電源が勝手に切れる	• 電池が切れていませんか？(▶P.18)
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	• 電池が切れていませんか？(▶P.18)
(圏外)が表示される	• 電波は十分に届いていますか？(▶P.25) • サービスエリア外にいませんか？(▶P.25) • 内蔵アンテナ付近を手でおおっていませんか？(▶P.16) • au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.16) •「ネットワークモード」が間違っていませんか？(▶P.103)
ディスプレイ、充電／着信ランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	• マナーモードに設定されていませんか？(▶P.26)
充電してくださいなどと表示された	• 電池残量がほとんどありません。(▶P.18)
電話が勝手に応答する	• 伝言メモが設定されていませんか？(▶P.38) • マナーモードが設定されていませんか？(▶P.26)
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	• 電波は十分に届いていますか？(▶P.25) • サービスエリア外にいませんか？(▶P.25) • 無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。
ディスプレイの照明がすぐに消える	•「スリープ」が短く設定されていませんか？(▶P.81)
イヤホンマイクのマイクが使えない	• イヤホンプラグが正しく挿入されていますか？奥までしっかり挿入してください。
電話帳の個別の設定が動作しない	• 相手の方から電話番号の通知はありますか？通知がない場合は、電話帳の設定は有効になりません。 • 同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？(▶P.40) •「連絡先シークレット設定」が設定されていませんか？(▶P.86)
PCメールを作成できない	• PCメールのアカウントは追加しましたか？(▶P.57)
パソコンから本体メモリのデータを認識できない	• 本体メモリを使用する場合は「ファイル転送」で接続してください。(▶P.90)
パソコンからmicroSDメモリカードを認識できない	• microSDXCメモリカードを使用する場合は「ファイル転送」で接続してください。(▶P.90)

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauホームページのauお客さまサポート「トラブル診断」で症状をご確認ください。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/trouble/

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるとき

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
◎ 本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
◎ 本体以外の同梱品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSHV37本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)
   ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
   ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
   ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
   ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
   ⑤ 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

※本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容	安心ケータイ サポートプラスLTE 会員	安心ケータイ サポートプラスLTE 非会員
交換用携帯電話機お届けサービス（自然故障：1年目）	無料	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス（自然故障：2年目以降）	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」（会員）ご負担金の表を参照	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス（部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失）	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」（会員）ご負担金の表を参照	補償なし
預かり修理（自然故障：1年目）	無料	無料
預かり修理（自然故障：2年目以降）	無料（3年間保証）	実費負担
預かり修理（部分破損）	お客様負担額 上限5,000円	実費負担
預かり修理（水濡れ、全損）	お客様負担額 10,000円	実費負担
預かり修理（盗難、紛失）	補償なし	補償なし（機種変更対応）

※金額はすべて税抜

■「交換用携帯電話機お届けサービス」（会員）ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円／長期ご利用特典※1 3,000円	8,000円／長期ご利用特典※1 6,000円
「WEB割引」※2／「代用機なし割引」※3の両方を適用	4,000円／長期ご利用特典※1 2,000円	7,000円／長期ご利用特典※1 5,000円
「代用機なし割引」※3のみを適用	4,500円／長期ご利用特典※1 2,500円	7,500円／長期ご利用特典※1 5,500円

※金額はすべて税抜

※1 3年目（25カ月）以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割（WINシングルセット割、またはスマホセット割）に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合が対象です。

※2 WEB割引：auホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込む場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。
「WEB割引」の場合は代用機の貸出はできませんので、自動的に「代用機なし割引」があわせて適用されます。

※3 代用機なし割引：「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。
詳細はauホームページでご確認ください。

オンライン交換受付（24時間受付）

※パソコン、スマートフォンからのみ受付可能
https://cs.kddi.com/support/n_login.html

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色※）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
※ 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
※ 詳細はauホームページでご確認ください。

◎ 盗難、紛失など、本サービスのご利用と同時にau ICカードの再発行を伴う場合は、別途au ICカード再発行手数料1,900円が必要です。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

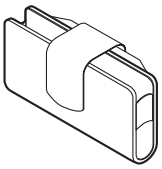
SIMロック解除について

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

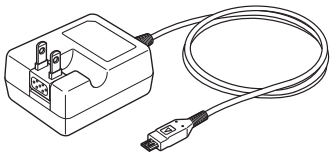
- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、ホーム画面に［アプリシート］を表示→［設定］→［端末情報］→［端末の状態］→［SIMのステータス］→［SIMロックの状態］から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。
https://cs.kddi.com/support/simcard/

周辺機器

■ auキャリングケースGブラック（0106FCA）（別売）



■ 共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
共通ACアダプタ05（0501PWA）（別売）
共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）（別売）



共通ACアダプタ05

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）
■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

◎ ポータブル充電器02（別売）では、本製品を十分に充電できない可能性があります。

◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

主な仕様

■本体(SHV37)

ディスプレイ	約5.0インチ、約1,677万色、IGZO、1,280×720(HD)
質量	約137g(内蔵電池含む)
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約71mm×143mm×8.3mm(最厚部:約8.4mm)
メモリ(内蔵)	RAM:約2GB Internal Storage:約16GB
連続通話時間(国内)	約1,440分
連続通話時間(海外(GSM))	約1,070分
連続待受時間(国内)	約950時間
連続待受時間(海外(GSM))	約1,070時間
連続テザリング時間	約900分
Wi-Fi®テザリング最大接続数	10台
充電時間	共通ACアダプタ05(別売)使用時:約140分
撮影素子	**アウトカメラ** CMOSイメージセンサー **インカメラ** CMOSイメージセンサー
有効画素数	**アウトカメラ** 約1,310万画素 **インカメラ** 約500万画素
Bluetooth®機能	通信方式:Bluetooth®標準規格Ver.4.2 出力:Bluetooth®標準規格Power Class1 通信距離※1:見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル※2:GATT、HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP※3、HID、PAN、PAN NAP、PANU、aptX、HOGP※4、DUN※5 使用周波数帯:2.4GHz帯
ネットワーク環境	IEEE802.11b/g/n(2.4GHz)準拠
インターフェース	microUSB端子、3.5φ(4極)イヤホンマイク端子(対応イヤホン:3極ヘッドホン(Lch/Rch/GND)、4極マイク付きイヤホン(Lch/Rch/GND/MIC))

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。
※4 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。
※5 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHV37】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.555W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.568W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
○ シャープのホームページ:
http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/
○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/

CE Declaration of Conformity

CE

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SHV37 is in compliance with Directive 2014/53/EU.
The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Manufacturer's Address:
Sharp Corporation, IoT Communication BU
2-13-1 Iida Hachihonmatsu
Higashihiroshima-City
Hiroshima,
739-0192
Japan

• Description of accessories

Headset, Handsfree	φ3.5 audio jack, Bluetooth.
microUSB cable	For Charging, Peripherals, etc.
microSD memory card	microSD/microSDHC/microSDXC
nano UIM card	au Nano IC Card/non-au Nano IC Cards non-au Nano IC Cards can be used after SIM-unlocking the handset.

• Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (Bandwidth: 20 MHz only)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
GPS	Rx L1 (1575.42 MHz)

• Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+4.3 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+11.0 dBm
NFC	-10 dBμA/m at 10 m

Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.
Be especially careful not to shoot small children from a very close distance. Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

Battery - CAUTION

Use specified Charger only.
Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

Volume Level Caution



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 119.0 mV.

Stand-by Mark

⏻ : This symbol means the stand-by on/off.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.510 W/kg※ and when worn on the body is 1.340 W/kg※.
For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & the Authentication under the Settings menu.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

■ FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHV37
FCC ID	APYHRO00243
At the Ear	0.69 W/kg
On the Body	0.94 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意

■ ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ®対応サービスについて

1. おサイフケータイ®対応サービスとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用い、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはTypeA/B方式に対応した、2章2項に定めるau ICカード内データを保存できるau ICカード各種(以下、au ICカードといいます)を利用したサービスです。NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター(R/W)機能、機器間通信(P2P)機能がご利用いただけます。
2. おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCaチップ内及びau ICカード内のデータの取り扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップまたはau ICカードへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます)及びau ICカードに保存されたデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、au ICカード内データといいます)の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内データまたはau ICカード内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内またはau ICカード内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内またはau ICカード内データの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップまたは他のau ICカードへの移し替え等を行うことはできません。
7. その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3. FeliCaチップまたはau ICカードの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードを特定するために、当該FeliCaチップ及びau ICカード固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ及びau ICカード固有の番号と、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップまたはau ICカードの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
3. auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客さまの電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内またはau ICカード内データについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

5. その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他のau電話におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身でのFeliCaチップ内またはau ICカード内データの削除ができなくなることがあります。なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内またはau ICカード内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。
4. 機内モード設定中は、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected Setupロゴ、Wi-Fi Direct®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- Google™、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google Play™、Google Play ロゴ、Google+™、Gmail™、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube™、YouTube ロゴ、Google ドライブ™、Google ドライブ ロゴ、Google™ 検索、Google 検索 ロゴ、Google Now™、Google フォト™およびハングアウト™は、Google Inc. の商標です。
- Instagramは米国およびその他の国におけるInstagram, LLCの商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

- 「AQUOS／アクオス」「AQUOS」ロゴ「AQUOS U」ロゴ「Feel Home」「でかレシーバー」「Bright Keep」「NightCatch／ナイトキャッチ」「フレーミングアドバイザー／FramingAdviser」「ワンタッチシャッター」「おすすめオート」「おすすめプラス」「あとからキャプチャー」「「書」メモ」「エモパー／emopa」「エモパーメモ」「エモパーヘルスケア」「エモパーク／emopark」「エスショイン／S-Shoin」「PrintSmash」「クリップナウ／Clip Now」「ヒカリエモーション」「ツイストマジック」「スクロールオート」「長エネスイッチ」「リラックスビュー／Relax View」「リラックスオート」「見るだけ解除」「からだメイト」「体験しよう！」「LCフォント／LCFONT」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の商標または登録商標です。

- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved.
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2016 All Rights Reserved.
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd.
  Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- 本製品の音声合成ソフトウェアにはHOYAサービス株式会社のVoiceTextを使用しています。VoiceTextは、Voiceware社の登録商標です。
- 見るだけ解除は米国EyeVerify社が開発したEyeprint ID™技術を使用しています。
  Eyeprint ID™は、米国EyeVerify社の商標です。

- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術はFraunhofer IIS及びThomsonから実施許諾されています。

■ オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面に「アプリシート」を表示→［設定］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License（MPL）に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10（Home、Pro、Enterprise、Education）の略です。
- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See http://www.mpegla.com for additional details.

索引

数字／アルファベット

12キーボード……30
1件削除
　指定電話番号削除／編集……102
　ユーザー辞書単語一覧画面のメニュー……32
1件詳細表示設定……41
24時間表示……88
Android Beam……95
au ID……80
au Nano IC Card 04……16
au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバー……16
au Nano IC Card 04トレイスロット……16
au WALLET･ポイント……70
au Wi-Fi接続ツール
　au Wi-Fi接続ツール……70
　au設定メニュー……80
auアプリ……72
au位置情報サービス
　au設定メニュー……80
　位置情報設定……85
auお客さまサポート……70
auかんたん設定……80
au国際電話サービス
　au国際電話サービス……36
　差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URL……48
au災害対策･緊急速報メール……80
auスマートサポート……70
auスマートパス……72
au世界サービス……103
au通信品質レポート機能……80
Bluetooth……94
Bluetooth OFF……35
Bluetooth ON……35
Bluetooth送信……94
Bluetoothテザリング……93
Bluetoothのスキャン……85
Chrome……60
Clip Now……83
Clip Now ON／OFF設定……83
D絵文字……47
Eメール……44
Eメールアドレスの変更へ……53
Eメール作成……48
Eメール情報……52
Eメール設定……52
FAQ……83
FCC Notice……112
Feel Home……22
Gmail……58
Google音声入力……87
Googleキーボード……87
Google ロケーション履歴……85
GPSアンテナ……16
HDR……63
IMAPパスのプレフィックス……57
IMEIトレイ……16
ISO感度……63
LED
　SMS設定……56
　個別通知設定……53
　通知設定……52
　フォルダ着信通知……50
Lookout for au……71
microSD……90
microSDと端末容量……67
microSDにエクスポート……90
microSDにデータ保存……19
microSDメモリカード……17
microSDメモリカードスロット……16
MIDI……90
Music Store……81
NFC／おサイフケータイ 設定……95
NFC／おサイフケータイ ロック……96
NFCメニュー……96
NightCatch
　静止画撮影……63
　動画撮影……63
PC版サイトを見る……60
PCメール……57
PHOTOSHOW（Webページ）……63
PINコード……12
Play ストア……70
P付加……34
Qualcomm® aptX™……94
QWERTYキーボード……30
Reader/Writer, P2P……96
SATCH……70
SIMカードロック設定……86
SIMロック解除……110
Smart Lock……86
SMS……55
SMS作成
　差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URL……48
　ダイヤル画面のメニュー……34
SMTPサーバー……57
S-Shoin……87
.txtに変換……75
URLをコピー……48
USBテザリング……93
USBホスト機能……90
VoLTEローミング設定……103
VPN……85
Wi-Fi®……92
Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ……16
Wi-Fi Direct……92
Wi-Fiテザリング……93
Wi-Fiテザリング簡単接続……93
Wi-Fiテザリングを設定……93
Wi-Fiのスキャン……85
WPS PIN入力
　Wi-Fi®テザリング機能設定……93
　アクセスポイント自動登録……92
WPSプッシュボタン
　Wi-Fi®テザリング機能設定……93
　アクセスポイント自動登録……92

あ

アイコン……25
相手切替……35
アウトカメラ……16
アカウント間コピー……41
アカウント名……57
アカウントを削除
　アカウント削除……88
　アカウント設定変更……57
アカウントを追加……88
明るさのレベル……81
新しいシークレットタブ……60
新しいタブ……60
宛先候補表示……52
アドレスコピー……48
アドレス帳引用
　フォルダモードEメール送信……46
　本文入力中……47
アドレス帳グループ引用……46
アドレス帳登録……48
アドレス帳登録外
　受信フィルター設定……56
　フォルダ振分条件……51
アドレス帳登録名表示……52
アドレス帳への登録……56
あなたについて……83
アプリ……84
アプリケーション更新……88
アプリケーション設定……67
アプリ使用履歴……26
アプリ初回起動時の確認画面……27
アプリに必要な許可……27
アプリの権限……27
アプリの通知……81
アプリ非表示……23
アプリ表示設定……22
アプリリンク……84
アプリ連携･引用（マッシュルーム）……32
アプリを探す（auスマートパス）……22
アプリを削除……23
アラーム……76
アラームの音量
　アラーム……76
　音と通知の設定……81
アラームのみ……26
歩きスマホ注意アプリ……80
アルバム……64
暗証番号……12
安心アクセス……71
位置情報……85
位置情報付加……63
一覧表示内容……41
移動
　Eメール一覧画面のメニュー……49

Eメール個別操作 49
Eメール詳細表示画面のメニュー 50
移動・コピー
コンテンツ表示画面のメニュー 67
データ個別操作 66
イベントに振り分け
アルバムのメニュー 64
データ／フォルダ／イベント個別操作 64
イベント振り分け 64
イベント名変更
アルバムのメニュー 64
データ／フォルダ／イベント個別操作 64
イベントを新規作成
アルバムのメニュー 64
イベントごとに振り分け 65
データ／フォルダ／イベント個別操作 64
イヤホンマイク端子 16
色反転 88
色補正 88
インカメラ 16
インカメラ美肌調整 63
インカメラレンズ補正 63
印刷 88
印刷... 60
インターネットアクセス 94
ウィジェットを貼付け 23
英語ガイダンス 101
絵文字
絵文字／記号／顔文字入力 31
データ検索 66
エモパー 83
エモパー設定 83
エモパー選択 83
エモパーの音量 81
エモパーの記憶 83
エモパーの話題 83
エモパーヘルスケア 83
エモパーメモ 83
遠隔操作サービス
お留守番サービス 101
着信転送サービス 98
応答 36
応答時間設定 38
応答内容変更 101
応答メッセージ設定 38
大きい文字サイズ 88
オープンソースライセンス 38
オールリセット 88
お買い物 72
お気に入り 36
お気に入りからコンテンツを探す 47
おサイフケータイ 96
おサイフケータイ® 95
押し続ける時間 88
お知らせ通知 81
お知らせパネル 25
おすすめアプリ(SHSHOW) 22
おすすめオート 63
おすすめサービス 72
オススメ設定をする 54
オススメの設定はこちら 54
おすすめプラス 63
オプションサービス申込 84
お留守番サービスEX 99
お留守番サービス総合案内 99
音声・伝言メモ 84
音声入力 31
音声発信 48
音声メモ 35
音声メモリスト 84
オンライン交換受付 71
音量 35
音量UP／DOWNキー 16

か

解除 49
改善情報取得・auアプリサイドメニュー連携設定 52
ガイド言語設定 84
ガイドタブ表示設定 23
外部画像表示アドレス 52
外部接続端子 16
顔文字 31
各種変更・お手続き 70
拡大操作 88
「書」メモ 74
画質モード 81
画像サイズで絞り込む 66
画像の表示／非表示 64
画像編集
アルバムのメニュー 64
画像編集 67
データ個別操作 66
データ／フォルダ／イベント個別操作 64
画像保存 51
画像を登録
アルバムのメニュー 64
データ／フォルダ／イベント個別操作 64
壁紙 81
壁紙設定 22
カメラ(静止画) 47
カメラ(動画) 47
画面の明るさを落とす時 81
画面の固定 86
画面の自動回転 88
画面ロック 86
からだメイト 77
カレンダー 76
簡単設定 92
管理者情報 72
管理者ページ 72
記号 31
既定のアプリ 84
機内モード 85
機能紹介
静止画／動画撮影 63
データ引継 19
基本通知設定 52
基本動作について 83
ギャラリー(静止画) 47
ギャラリー(動画) 47
強制的に電源を切る 19
共有
Eメール詳細表示画面のメニュー 50
Eメールのスレッド個別操作 51
データ個別操作 66
共有... 60
共有メニューの表示 83
拒否 37
拒否リスト登録
Eメール個別操作 49
差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URL 48
拒否リストに登録する 54
切替 44
切替条件設定 74
切り取り 31
近接センサー 16
銀残し 63
クイック返信
アカウント設定変更 57
着信を拒否してメッセージ(SMS)送信 37
通話設定 84
クイック返信を挿入 57
クライアント証明書 57
グリッド／リスト切替 67
グループ削除
グループ編集 40
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のメニュー 41
グループ追加・編集 40
グループ編集
グループ編集 40
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のメニュー 41
携帯／PHS以外からのメールを拒否する 54
圏外転送
お留守番サービスEX 100
着信転送サービス 98
言語 87
言語と入力 87
現在のキーボード 87
検索
Eメール一覧画面のメニュー 49
アルバムのメニュー 64
カレンダー画面のメニュー 76
スレッド内容表示画面のメニュー 51
データ検索 66
本文入力中 47
検索設定 41
件名 51
件名を非表示 51
件名を表示 51
高校生向け 71
高コントラストテキスト 88
公衆電話 84
更新
Bluetooth®機器接続 94
Wi-Fi®設定画面のメニュー 92

国際発信設定 84
ご契約内容の確認 70
故障受付 71
故障相談受付 71
ご請求金額 70
このイベントからはずす
アルバムのメニュー 64
データ／フォルダ／イベント個別操作 64
このイベントを削除
アルバムのメニュー 64
データ／フォルダ／イベント個別操作 64
この端末の名前を変更 94
コピー
Eメールのスレッド個別操作 51
切り取り／コピーして貼付 31
コピー編集 49
個別通知設定 53
困った時・わからない時 70
ご利用料金 70
今月のデータ通信量 70
コンテンツ一覧へ切替 67
コンテンツマネージャー 66

さ

サーバー 57
サーバーからメールを削除 57
サービスTOP 72
再起動 19
最近1週間のファイル 66
最近使ったタブ 60
サイズ変更 23
再生 75
再生プレーヤー一覧 67
再生プレーヤー変更 66
再登録 86
再振分け 50
サイレント
着信中のメニュー 37
マナーモード設定 26
削除
Bluetooth®機器のメニュー 94
Eメール一覧画面のメニュー 49
Eメール個別操作 49
Eメール詳細表示画面のメニュー 50
Eメールのスレッド個別操作 51
グループ設定 40
スレッド一覧画面のメニュー 51
スレッド内容表示画面のメニュー 51
データ個別操作 66
データ／フォルダ／イベント個別操作 64
伝言メモ／音声メモ再生 84
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のメニュー 41
本文入力中 47
メモ削除 75
差出人名称 52
三者通話 35
三者通話サービス 101
シークレット設定 86
シークレットモード一時解除の設定 86
ジーニアス英和辞典MX 増補版 78
ジーニアス和英辞典MX 第2版 78
ジェスチャー入力 87
時間設定 81
時刻設定 88
システムアップデート 108
システム設定の変更 84
下書きを保存 57
指定番号
受信フィルター設定 56
着信拒否設定 84
指定番号リスト 56
自動再送信 52
自動転送先の設定へ 53
自動復元 88
自動ロック 86
絞り込み表示しない 66
字幕 88
写真サイズ 63
写真の転送(PTP) 90
写真を送る
アルバムのメニュー 64
データ／フォルダ／イベント個別操作 64
シャッターモード 63
就寝時に暗くする 81
充電 90
充電開始時 81
充電中 81
充電ランプ 16
終話時 81
受信済みファイルを表示 94
受信設定 57
受信フィルター 56
受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする 54
受話 36
受話口 16
消音 35
消音解除 35
小学生向け 71
詳細情報 66
詳細設定
Googleキーボード設定 87
Wi-Fi®設定画面のメニュー 92
長エネスイッチ 74
詳細表示 51
証明書をインストール 86
使用履歴にアクセスできるアプリ 86
ショートカットを貼付け
アプリケーション／ウィジェット／ショートカット／フォルダのメニュー 23
ウィジェット／ショートカット貼り付け 23
初期設定 83
署名
SMS設定 56
アカウント設定変更 57
送信・作成設定 52
署名編集 56
白とび／黒つぶれ表示 63
新規作成
会話モードEメール送信 46
フォルダモードEメール送信 46
メモ帳登録 75
新規登録
指定電話番号登録 102
電話帳登録 40
ユーザー辞書単語一覧画面のメニュー 32
新規フォルダに入れる 23
シンクコール
au設定メニュー 80
シンクコール 37
シンクコール設定 38
シンクコールについて 38
シンクコールを有効にする 38
新着問合せ 48
信頼できるエージェント 86
信頼できる認証情報 86
水準器 63
数字キー 35
スクリーンショット 74
スクリーンセーバー 81
スクロールオート 82
スクロールオート ON／OFF設定 82
スケジュール 76
ステータスバー通知 52
ステータスバーの連絡先表示 80
ステータスバーへの通知 82
ステータスパネル 25
ストップウォッチ 77
ストラップ取付口 16
ストレージ 47
ストレージからインポート 41
ストレージとUSB 90
ストレージのタイプ 86
ストレージへエクスポート 41
ストレージへ保存 48
スピーカー
各部の名称と機能 16
通話中画面の操作 35
スピーカーOFF
通話中画面の操作 35
伝言メモ／音声メモ再生 84
スピーカーON 84
スピーカー受話 36
全ての設定を一括解除する 54
スペルチェック 87
スマートフォンから電話帳データを取り込む 20
スマートフォンの暗号化 86
スマホとタブレットを連携する 80
スライド 22
スライドショー
アルバムのメニュー 64
データ／フォルダ／イベント個別操作 64
スリープ 81
スワイプ 22
セーフモード 19
世界時計 76

セキュリティ……93
セキュリティキー設定……86
セキュリティの種類……57
接続……92
接続待ち時間……93
切断……92
設定
Chrome画面のメニュー……60
Googleキーボード設定……87
PCメール作成画面のメニュー……57
SMS設定……56
アカウント設定変更……57
アルバムのメニュー……64
お気に入り一覧画面のメニュー……36
カレンダー画面のメニュー……76
設定メニュー表示……80
ダイヤル画面のメニュー……34
発信履歴／着信履歴一覧画面のメニュー……35
設定･管理……41
設定更新……52
設定リセット……63
セルフチェック……82
全員に返信……49
全検索
Eメール検索……48
スレッド一覧画面のメニュー……51
全件削除
Clip Now……83
指定電話番号削除／編集……102
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のメニュー……41
発信履歴／着信履歴一覧画面のメニュー……35
ユーザー辞書単語一覧画面のメニュー……32
全件送信……94
センサー感度補正……88
選択削除
アルバムのメニュー……64
コンテンツ表示画面のメニュー……67
メモ選択削除……75
選択転送
お留守番サービスEX……100
着信転送サービス……98
装飾……47
装飾全解除……47
送信
Eメール個別操作……49
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のメニュー……41
メモ送信……75
送信･作成設定……52
送信時確認表示……52
送信失敗通知……52
送信失敗理由……49
送信設定……57
送信予約……46
送信予約解除
Eメール個別操作……49
Eメール詳細表示画面のメニュー……50
送信予約情報
Eメール個別操作……49
Eメール詳細表示画面のメニュー……50
送達確認……56
挿入
本文装飾……47
本文入力中……47
送話口……16
ソート……67
その他
auサービスTOP……72
データ添付……47
その他の詳細設定をする……54

た

対象アプリ設定……82
タイトルで絞り込む……66
タイマー
静止画／動画撮影……63
タイマー……77
タイムゾーンの自動設定……88
タイムゾーンの選択……88
タイムラプス……63
タッチパネル……16
タップ……22
タップ&ペイ……95
ダブルタップ……22
単語テスト……78
単語リスト
Googleキーボード設定……87
使用言語や文字入力設定……87
端末が回転したとき……81
端末がロックされているとき……81
端末管理アプリ……86
端末情報
安心アクセス for Android™……72
端末情報設定……88
端末の状態……88
着信お知らせサービス……98
着信音
SMS設定……56
音と通知の設定……81
個別通知設定……53
通知設定……52
フォルダ着信通知……50
着信音の音量……81
着信音鳴動時間
個別通知設定……53
通知設定……52
フォルダ着信通知……50
着信音を選択……57
着信拒否
着信拒否設定……84
着信を拒否……37
通話設定……84
着信拒否設定……84
着信時のバイブ……81
着信時のバイブパターン……81
着信転送……37
着信転送･お留守番サービス……84
着信転送サービス……98
着信ランプ……16
着信履歴……35
着信履歴保存……84
注意事項……83
中学生向け……71
長エネスイッチ……74
長エネスイッチの概要……74
直接入力……36
ちらつき防止……63
追加……40
ツイストマジック……82
ツイストマジック ON／OFF設定……82
通常マナー……26
通常マナー中の鳴動……76
通知設定
Eメール設定……52
SMS設定……56
通知不可能……84
通知へのアクセス……81
通知ポップアップ
個別通知設定……53
通知設定……52
フォルダ着信通知……50
通知を非表示……81
[通知を非表示]へのアクセス……81
ツール……26
通話……84
通話終了後のお知らせ……38
通話明細分計サービス……102
通話を追加……35
使い方ガイド
Clip Now……83
シークレット設定……87
使い方のヒント……86
提供元不明のアプリ……86
停止……84
ディスプレイ
各部の名称と機能……16
ディスプレイ設定……81
データ移行アプリ……71
データお預かり設定……80
データ取り込み……19
データのバックアップ……88
データ引継……19
データリセット……77
データローミング……103
データを移行する……80
テーマ……87
テーマカラー……56
テーマ設定
表示設定……52
ホーム画面アレンジ……23
手鏡……63
手書きシンクの自動保存……38
テキストの修正……87
テキスト読み上げの出力
使用言語や文字入力設定……87
ユーザー補助設定……88

テザリング
その他の設定(もっと見る)……85
テザリング……93
デジタルカメラ画像……66
デフォルトの通知音……81
電源キー……16
電源キー押下による着信音鳴動停止……52
電源キーですぐにロックする……86
電源キーで通話を終了……88
電源ボタンを2回押してカメラを起動……81
電源を入れる……19
電源を切る……19
伝言お知らせ……100
伝言メモ……37
伝言メモ設定……38
伝言メモリスト……84
電子書籍 GALAPAGOS……70
転送
Eメール個別操作……49
Eメール詳細表示画面のメニュー……50
Eメールのスレッド個別操作……51
電卓……77
電池残量%表示……81
電池残量で切替……74
電池の最適化……27
添付ファイルのダウンロード……57
電話着信中……81
電話着信パターン／カラー……81
電話帳……40
電話帳引用……36
電話帳参照……35
電話帳登録外……84
電話の音声……94
電話番号コピー……48
動画サイズ……63
動画を送る
アルバムのメニュー……64
データ／フォルダ／イベント個別操作……64
同期設定
スレッド一覧画面のメニュー……51
フォルダー一覧画面のメニュー……50
同期頻度……57
統合……40
動作制限設定……82
登録……66
登録先アカウント……41
登録データの削除……86
特番付加……34
特番付加184……48
特番付加186……48
ドック表示設定……23
ドメイン……51
ドラッグ……22
トラブル診断……71

な

内蔵アンテナ……16
内部ストレージ……90
なぞり動作設定……83
名前
Bluetooth®機器のメニュー……94
アカウント設定変更……57
並べ替え
アルバムのメニュー……64
グループ設定……40
日本語ガイダンス……101
入力デバイス……94
入力方式……32
認証……88
認証ストレージの消去……86
ネットワーク設定のリセット……88
ネットワーク名……93
ネットワークモード……103
ネットワークを追加……92
のぞき見ブロック……81

は

背景画像設定……52
背景色……47
バイブレーション
SMS設定……56
アカウント設定変更……57
個別通知設定……53
通知設定……52
フォルダ着信通知……50
はがす……23
破棄……57
場所設定……65
場所未設定一覧……64
パスワード
Wi-Fi®テザリング機能設定……93
アカウント登録……57
パスワードの音声出力……88
パスワードを表示……86
パターンを表示する……86
バックアップアカウント……88
バックアップとリセット……88
バックアップ・復元……52
発信者番号通知……99
発信番号表示サービス……99
発信履歴……35
花火撮影……63
貼り付け
切り取り／コピーして貼付……31
フォルダモードEメール送信……46
番号通知リクエストサービス……99
番号通知リクエストサービス設定
番号通知リクエストサービス開始……99
番号通知リクエストサービス停止……99
ヒカリエモーション……81
光センサー……16
非通知……84
日付設定……88
日付と時刻……88
日付と時刻の自動設定……88
日付変更
アルバムのメニュー……64
データ／フォルダ／イベント個別操作……64
非表示モードへ切替……64
百科事典……78
表示……48
表示している画面のまま受話する……38
表示するアカウント……41
表示設定……52
表示方法切替……41
表示モードへ切替……64
表示・レイアウト……31
開く……48
ピンチ……22
ファイル管理……66
ファイル転送……90
ファイルを添付……57
フィルタリング設定……72
フォーカス設定……63
フォーマット……90
フォルダー覧へ切替……67
フォルダ削除……50
フォルダ作成
フォルダ作成……23
フォルダ作成／編集……50
フォルダ表示形式……52
フォルダ別設定……50
フォルダ編集
Eメール一覧画面のメニュー……49
フォルダー一覧画面のメニュー……50
フォルダロック……50
複数削除時暗証番号……41
不在通知……100
不正なメールアドレス……51
ブックマーク……60
プライバシー設定……52
プライバシーポリシー
Eメール設定……52
シンクコール設定……38
フラグ
Eメール一覧画面のメニュー……49
Eメール個別操作……49
Eメールのスレッド個別操作……51
フラグ解除
Eメール個別操作……49
Eメールのスレッド個別操作……51
フリック……22
フリック設定・入力補助……31
フリップカバー使用時の表示……82
振分け条件追加……51
振分け条件に追加……48
プリントサービスで印刷……64
フル転送
お留守番サービスEX……100
着信転送サービス……98
フルマニュアル項目選択……63
フレーミングアドバイザー……63
プロキシ設定……85

プロパティ
アルバムのメニュー……64
データ／フォルダ／イベント個別操作……64
プロフィール
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のメニュー……41
プロフィール確認……38
プロフィールアイコン色のリセット……52
プロフィールアイコンを表示……52
プロフィール引用
フォルダモードEメール送信……46
本文入力中……47
分割……40
ページ内検索……60
ページ並替え……23
ヘルプ……63
ヘルプとフィードバック
Chrome画面のメニュー……60
カレンダー画面のメニュー……76
編集
Eメール個別操作……49
プロフィール編集……38
メモ編集……75
ユーザー辞書単語一覧画面のメニュー……32
返信……49
返信先アドレス……52
返信メール引用……52
便利機能……82
ボイスパーティー……36
ボイスメール……100
ボイスレコーダー……75
ポインタの速度……87
法的情報
au設定メニュー……80
端末情報設定……88
冒頭文……52
ポート……57
ホーム画面に追加……60
ホーム設定
アプリケーション／ウィジェット／ショートカット／フォルダのメニュー……23
ホーム画面アレンジ……23
ホームポジション設定……23
他のアプリの上に重ねて表示……84
他のイベントに移動
アルバムのメニュー……64
データ／フォルダ／イベント個別操作……64
保護
Eメール一覧画面のメニュー……49
Eメール個別操作……49
Eメールのスレッド個別操作……51
SMS保護／保護解除……55
保護／解除……84
保護解除
Eメール個別操作……49
Eメールのスレッド個別操作……51
SMS保護／保護解除……55
保存先設定……63
保存時期で絞り込む……66
保存済みネットワーク……92
保留……35
保留解除……35
本体にインポート……90
本文選択……50

ま

マイク……16
マイク設定……63
マガジンビュー……52
待ちうた……81
マナーモード……26
まるごと復元……53
見るだけ解除……86
無応答転送
お留守番サービスEX……100
着信転送サービス……98
明鏡国語辞典MX 第二版……78
迷惑電話撃退サービス……102
迷惑メールフィルターの設定／確認へ……54
迷惑メール報告
Eメール一覧画面のメニュー……49
Eメール個別操作……49
Eメール詳細表示画面のメニュー……50
Eメールのスレッド個別操作……51
差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URL……48
メールアドレス……51
メール受信時の画面点灯
個別通知設定……53
通知設定……52
フォルダ着信通知……50
メール受信履歴引用……46
メール送信履歴引用……46
メール着信通知……57
メールデータ復元……53
メール本文へ挿入……75
メディアの音声……94
メディアの音量……81
メニュー……35
メニューリストから探す……47
メモ検索……75
メモ帳……75
メモリ使用状況……65
メモリ登録件数……41
メンバー登録
グループ編集……40
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のメニュー……41
モーションでON／OFF……82
モード……85
文字位置／効果……47
文字コード
Eメール詳細表示画面のメニュー……50
Eメールのスレッド個別操作……51
文字サイズ
SMS設定……56
本文装飾……47
文字サイズ設定……75
文字色……47
文字フォント設定……81
持つと画面点灯……19
モノクロ……63
モバイルネットワーク……85
モバイルライト
各部の名称と機能……16
モバイルライト……74

や

ユーザー辞書……32
ユーザー情報……77
ユーザー補助……88
ユーザー補助のショートカット……88
ユーザー名……57
優先する通知のみ……26
用語の説明……77
読取カメラ……63

ら

リモートサポート……71
利用規約……38
利用タイミング……86
リラックス設定……81
履歴……60
履歴引用……36
留守伝言再生……100
レイアウト設定……23
レシーバー……16
レンズ部
アウトカメラ……16
インカメラ……16
連絡先シークレット設定……86
連絡先の共有……94
ログインが必要……57
ロックNo.初期化……95
ロックNo.変更……95
ロック解除時……81
ロック画面……19
ロック画面メッセージ……86
ロックとセキュリティ……86
ロングタッチ……22

わ

ワイヤレス出力……78
話中転送
お留守番サービスEX……100
着信転送サービス……98
割込通話
割込通話開始……102
割込通話停止……102
割込通話サービス……102
割込通話設定
通話設定……84
割込通話サービス……102
ワンタッチシャッター……63

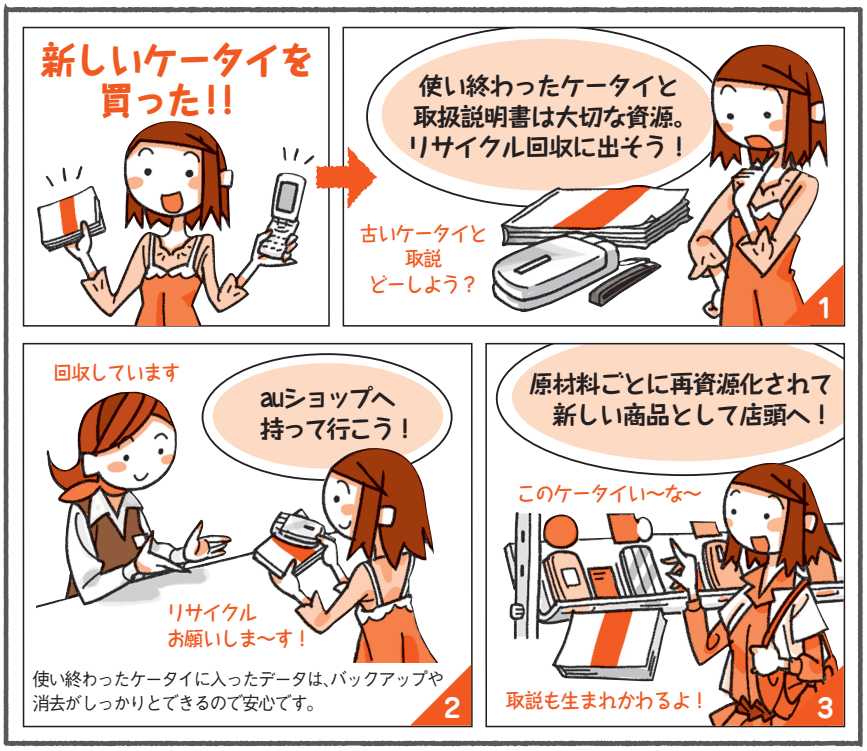
ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。



ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/mobile/recycle

au のお客さまサポート

料金・操作・設定などのご確認や各種お手続きができます。
スマートフォンをご利用ならアプリが便利です。

auお客さまサポート	パソコン・スマートフォン	3G ケータイ
WEB 版	https://cs.kddi.com	EZボタン>トップメニューまたは auポータルトップ>auお客さまサポート
アプリ版	au Market もしくは App Store から 「au お客さまサポート」で検索	ー

お客さまセンター（年中無休 / 通話料無料）	au 携帯電話（スマホ / ケータイ）	au 携帯電話以外 / 一般電話	左記番号がつながらない場合
総合案内（受付 9:00～20:00）	局番なし 157	フリーコール 0077-7-111	フリーコール 0120-977-033
盗難・紛失（24 時間受付）	局番なし 113	フリーコール 0077-7-113	[沖縄の方は] フリーコール 0120-977-699

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.
※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます（メンテナンス時を除く）。

安心ケータイサポートセンター（年中無休 / 通話料無料）	au 携帯電話（スマートフォン / ケータイ）/ 一般電話
盗難・紛失・故障（受付 9:00～20:00）	フリーコール 0120-925-919

※ 上記の電話番号がつながらない場合があります。

やめましょう、歩きスマホ。

有害サイトから子供を守る!

キケン! 水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず ♲ マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力をお願いします。
全国のauショップで、不要な取扱説明書や個装箱等を回収するリサイクル活動に取り組んでいます。

2016年11月第1版　発売元：KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社　製造元：シャープ株式会社